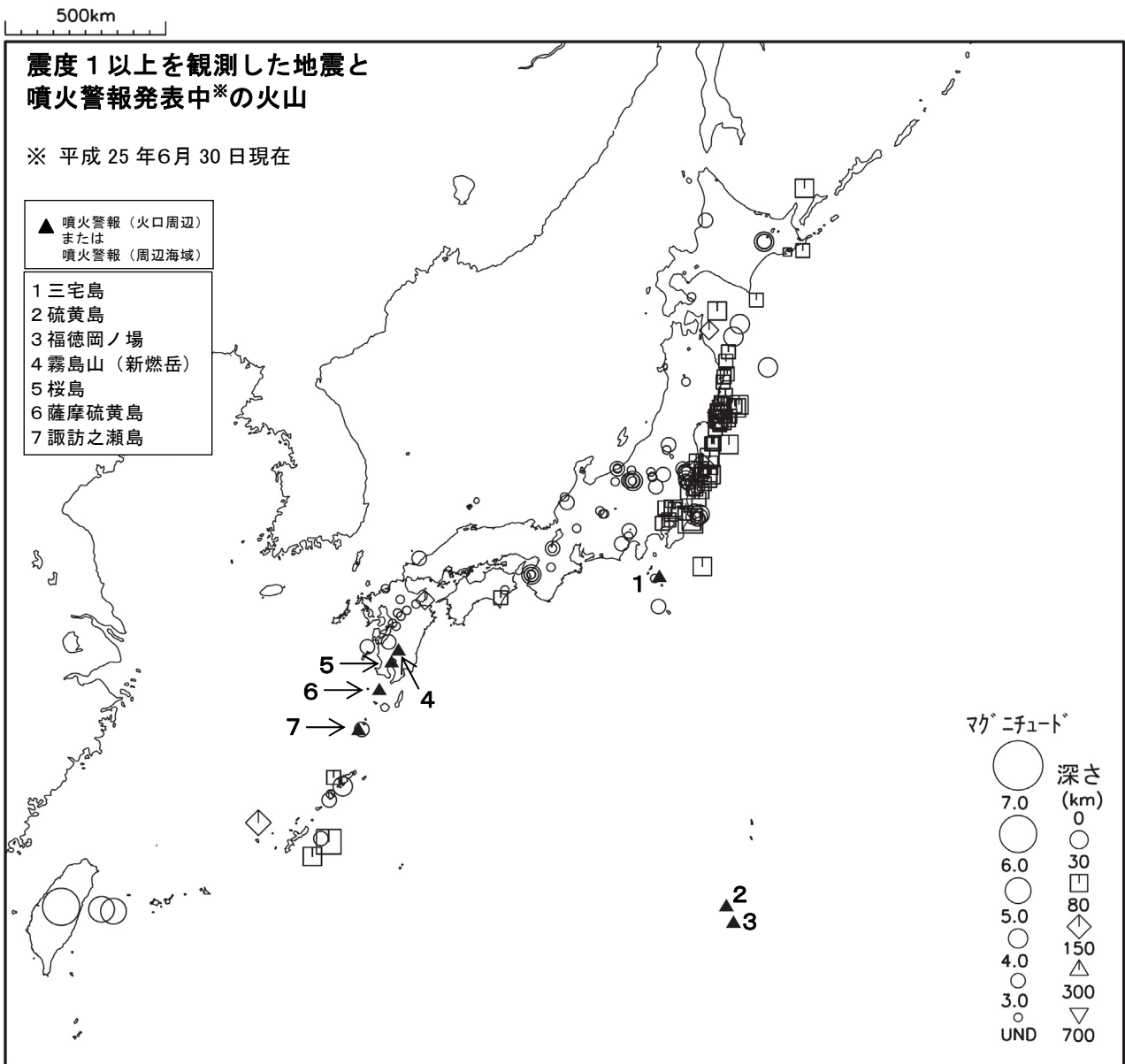


# 平成 25 年 6 月 地震・火山月報(防災編)

## Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

June 2013



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

## 利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年 11 月 10 日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体及び独立行政法人防災科学技術研究所\*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年 10 月 1 日より、大学や独立行政法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け\*\*、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注\* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上 1 府 8 県及び横浜市は平成 9 年 11 月 10 日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上 6 県は平成 10 年 6 月 15 日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上 1 府 11 県は平成 10 年 10 月 15 日から発表）、東京都、長野県（以上 1 都 1 県は平成 11 年 7 月 21 日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上 3 県及び名古屋市は平成 12 年 1 月 12 日から発表）、滋賀県（平成 12 年 3 月 28 日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上 3 県は平成 12 年 7 月 18 日から発表）、佐賀県（平成 13 年 3 月 22 日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上 1 県及び川崎市は平成 13 年 5 月 10 日から発表）、高知県（平成 13 年 7 月 19 日から発表）、福島県（平成 13 年 12 月 12 日から発表）、岩手県、宮城県、神奈川県、福岡県（以上 4 県は平成 14 年 3 月 20 日から発表）、北海道、長崎県（以上 1 道 1 県、平成 14 年 7 月 29 日から発表）、沖縄県（平成 15 年 3 月 10 日から発表）の 47 都道府県と独立行政法人防災科学技術研究所（平成 16 年 5 月 26 日から発表）。

注\*\*平成 25 年 6 月 30 日現在：独立行政法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人産業技術総合研究所、国土地理院、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び独立行政法人海洋研究開発機構による地震観測データを利用している。また、東北大学の臨時観測点（夏油、岩入、鶯沢）、IRIS の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。このほか、平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震大学合同観測グループの臨時観測点（滝沢村青少年交流の家、宮古茂市）のデータを利用している。

### □本書利用上の注意

#### ・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=XX：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）

#### ・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

#### ・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸）

T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

#### ・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

#### ・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

#### ・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

#### ・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

#### ・地震の震源要素等について

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については「地震・火山月報（カタログ編）」「地震年報（CD-ROM）」「地震年報（CD-ROM）」に掲載する。

#### ・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、「地震・火山月報（カタログ編）」（CD-ROM）「火山報告（CD-ROM）」に掲載する。

#### ・本書で使った地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。また、震央分布図等に表記した活断層のデータは、「新編日本の活断層」（東京大学出版会、1991）を使用した。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

## 目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	8
東北地方の地震活動	10
関東・中部地方の地震活動	15
近畿・中国・四国地方の地震活動	19
九州地方の地震活動	21
沖縄地方の地震活動	23
その他の地域の地震活動	27
● 東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動	28
● 日本の主な火山活動	35
北海道地方	37
東北地方	37
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島	37
九州地方及び南西諸島	39
● 世界の主な地震	49
● 世界の主な火山活動	50
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	51
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	68
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	69
4. 緊急地震速報の提供状況	70

## ●日本及びその周辺での主な地震活動

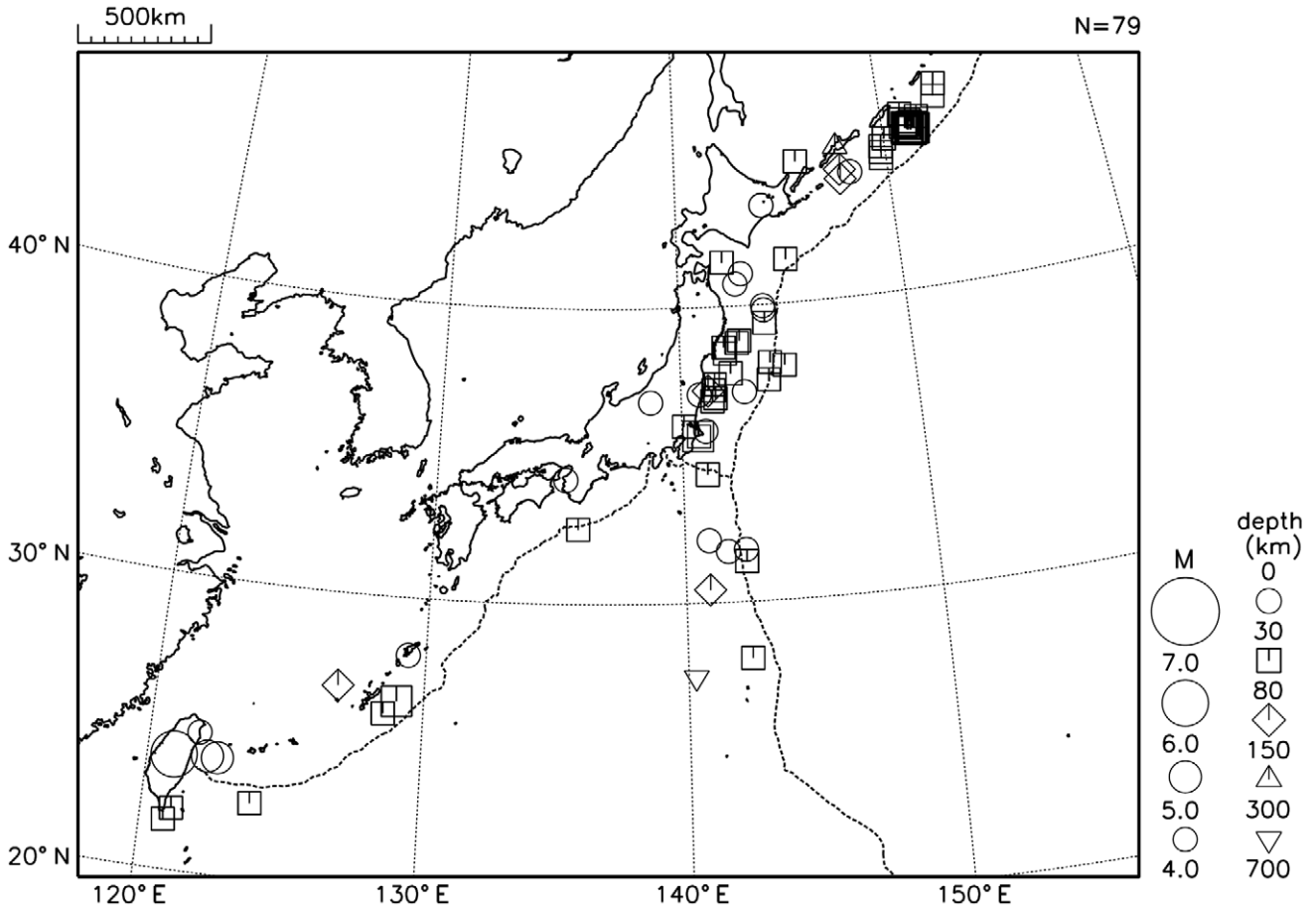


図 1 平成 25 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

平成 25 年 (2013 年) 6 月に日本国内で震度 1 以上を観測した地震の回数は 179 回 (5 月は 206 回)、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 79 回 (5 月は 84 回) であった。

6 月中に発生した主な地震を表 1 (次ページ) に示す。6 月中に震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった。(5 月は震度 5 弱以上を観測した地震が 1 回、津波を観測した地震はなかった)。

「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の余震活動は全体的に見て多少の増減を伴いつつ次第に低下してきており、6 月中に発生した M5.0 以上の地震の回数は 1 回 (5 月は 3 回) であった。

表 1 平成 25 年 6 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注 3)	M H S T (注 4)	最大震度・被害状況等（注 5）	掲載 ページ
1	6 1 16 54	釧路地方中南部	4.1	-	・ ・ ・ ・	3：北海道 足寄町上螺湾	4、9
2	6 2 14 43	台湾付近	6.3	6.3	M ・ ・ ・	1：沖縄県 竹富町黒島	4、24
3	6 4 17 33	福島県沖	4.7	4.6	・ ・ S ・	4：福島県 楢葉町北田*	4、13
4	6 5 09 36	福島県浜通り	4.4	-	・ ・ ・ ・	3：福島県 いわき市平梅本*、川内村上川内早渡*	5、14
5	6 6 12 28	千葉県東方沖	5.0	5.2	・ ・ ・ ・	3：千葉県 旭市南堀之内* など 2 県 23 地点	5、16
6	6 7 22 29	新潟県上中越沖（注 6）	3.8	-	・ ・ S ・	4：新潟県 上越市木田*	5、17
7	6 8 01 38	与那国島近海	5.8	5.7	・ ・ ・ ・	3：沖縄県 与那国町久部良、与那国町役場*	6、25
8	6 8 16 17	和歌山県北部	4.0	-	・ H S ・	4：和歌山県 和歌山市男野芝丁、和歌山市一番丁* 被害：和歌山城内の石積が一部崩れた（和歌山県による） （注 7）	6、20
9	6 8 20 39	和歌山県北部	3.9	-	・ H S ・	4：和歌山県 和歌山市男野芝丁、和歌山市一番丁* 被害：和歌山城内の石積が一部崩れた（和歌山県による） （注 7）	6、20
10	6 13 22 24	沖縄本島近海	5.8	5.7	・ ・ ・ ・	3：鹿児島県 与論町茶花*	6、26
11	6 21 16 31	奄美大島近海	4.6	-	・ ・ S ・	4：鹿児島県 瀬戸内町請島*	6、22
12	6 27 16 13	栃木県北部	3.9	-	・ ・ S ・	4：栃木県 那須塩原市塩原庁舎*	7、18

（注 1）主な地震とは、図 1 の領域内で発生した M6.0 以上、震度 4 以上、内陸 M4.0 以上かつ震度 3、海域 M5.0 以上かつ震度 3、その他注目した地震を指す。

（注 2）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。

（注 3）Mw 欄の「-」は Mw が求められていないことを示す。

（注 4）M H S T の各項目について、M：M6.0 以上の地震、H：被害を伴った地震、S：震度 4 以上を観測した地震、T：津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。

（注 5）最大震度の観測点名にある \* 印は地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。

（注 6）情報発表に用いた震央地名は「新潟県上越地方」である。

（注 7）被害については、16 時 17 分の地震と 20 時 39 分の地震の、どちらによるものか区別できない。

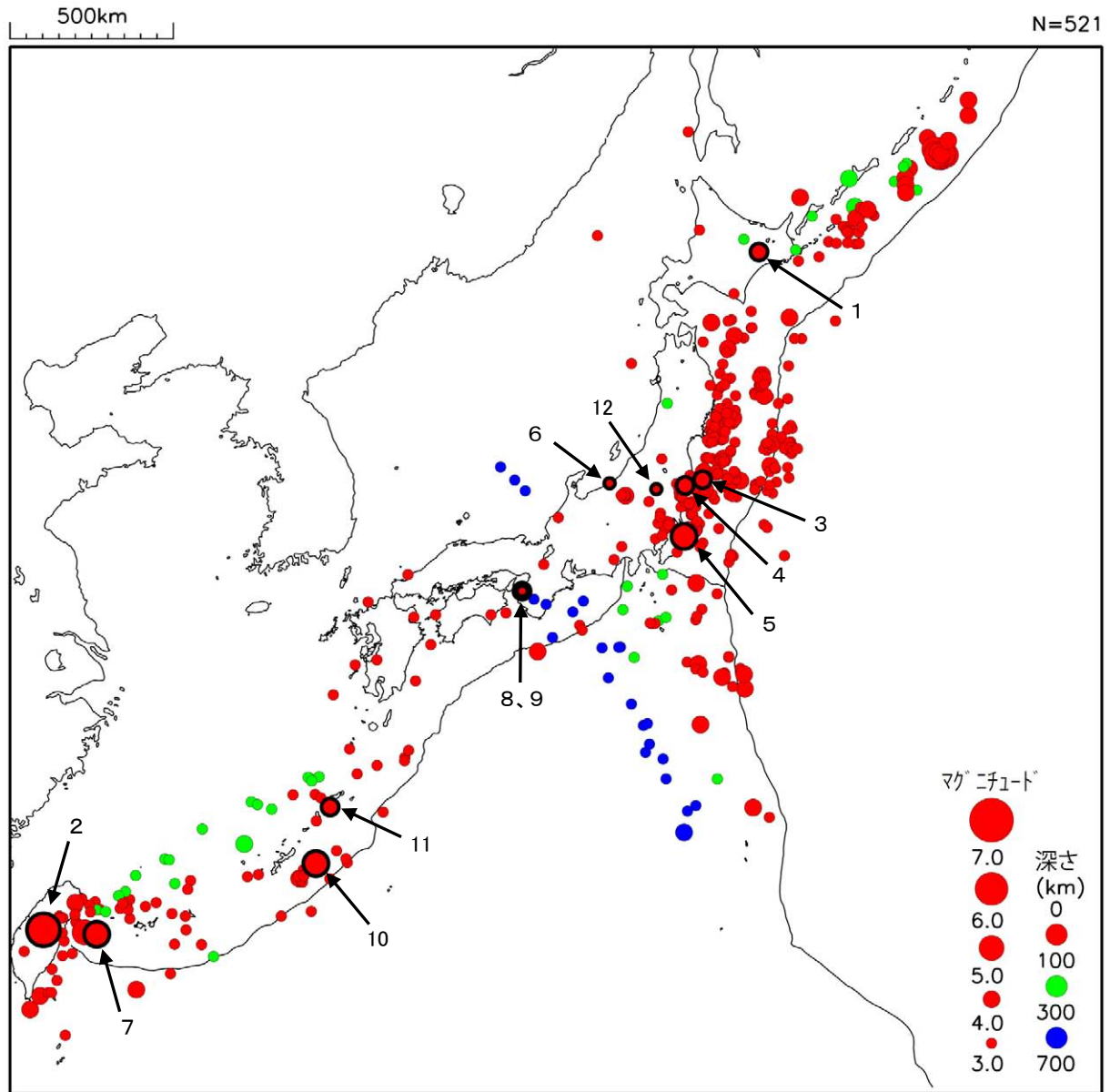
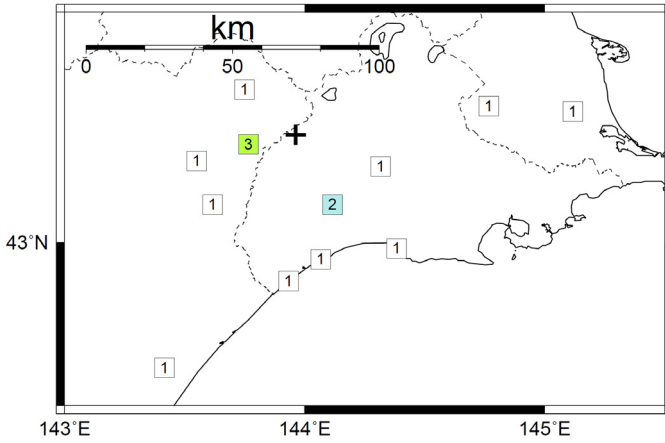
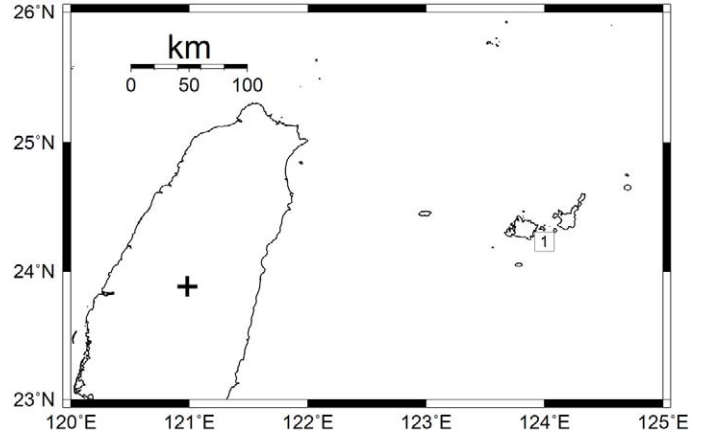


図2 平成 25 年 6 月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図  
(図中の数字は表 1 の番号に対応)

1 6月1日16時54分 釧路地方中南部  
(M4.1、深さ8km、最大震度3)



2 6月2日14時43分 台湾付近  
(M6.3、ごく浅い、最大震度1)



3 6月4日17時33分 福島県沖  
(M4.7、深さ48km、最大震度4)

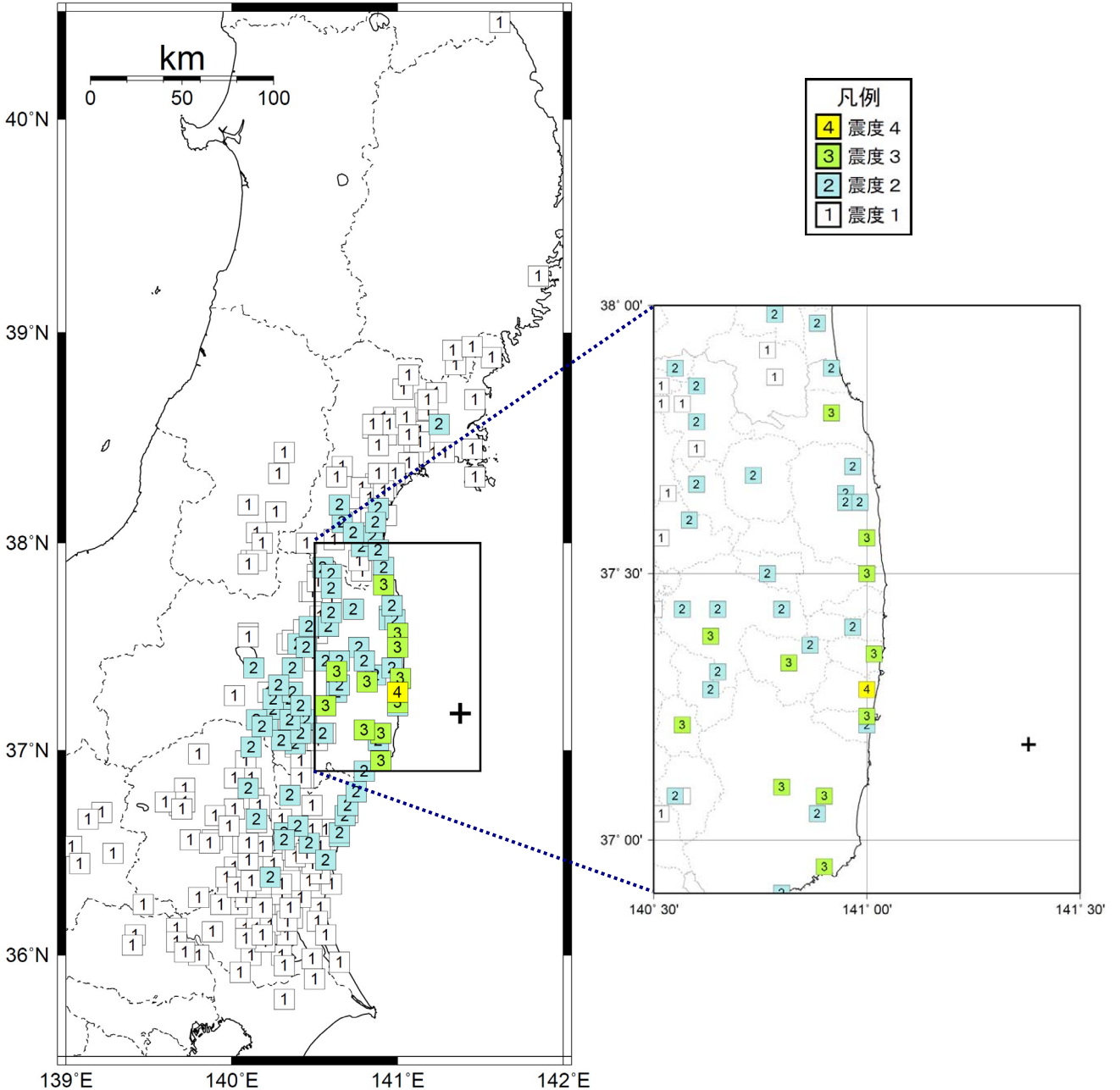
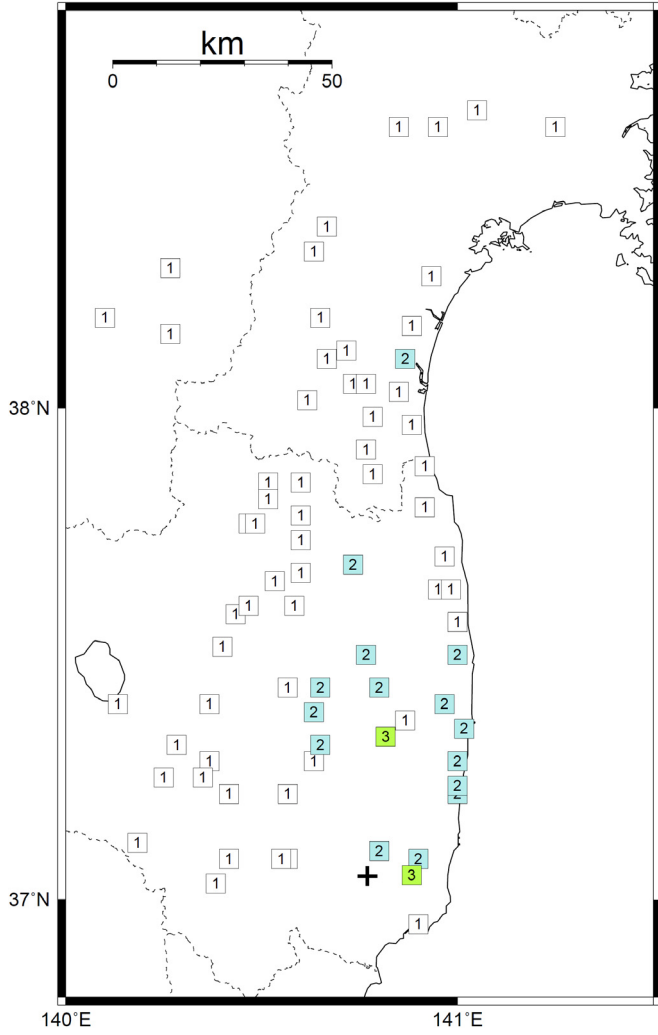
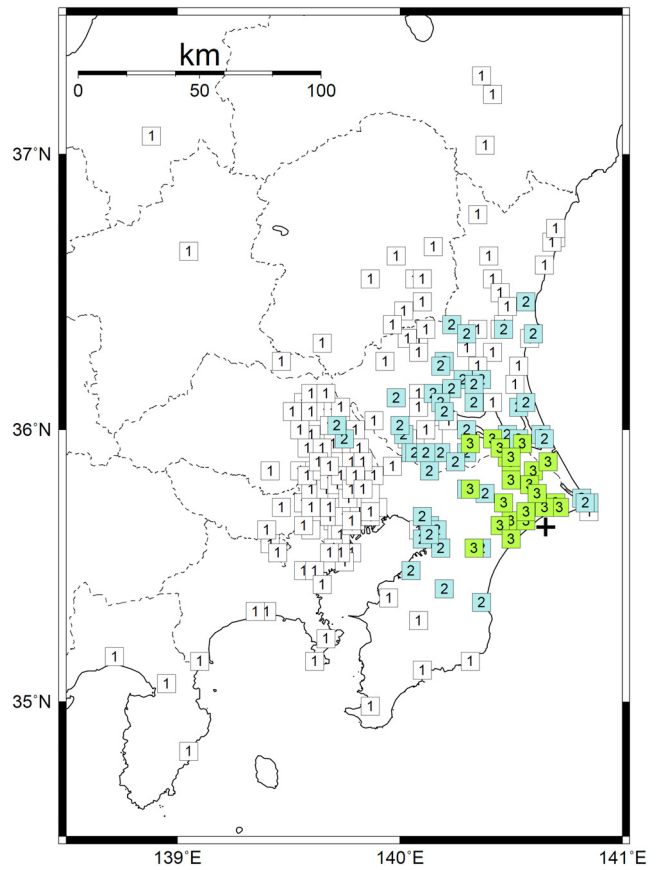


図3-1 震度分布図（各図の左上の数字は表1、図2の番号に対応する。+印は震央を示す。）

4 6月5日09時36分 福島県浜通り  
(M4.4、深さ11km、最大震度3)



5 6月6日12時28分 千葉県東方沖  
(M5.0、深さ50km、最大震度3)



6 6月7日22時29分 新潟県上中越沖※  
(M3.8、深さ11km、最大震度4)

※情報発表に用いた震央地名は「新潟県上越地方」

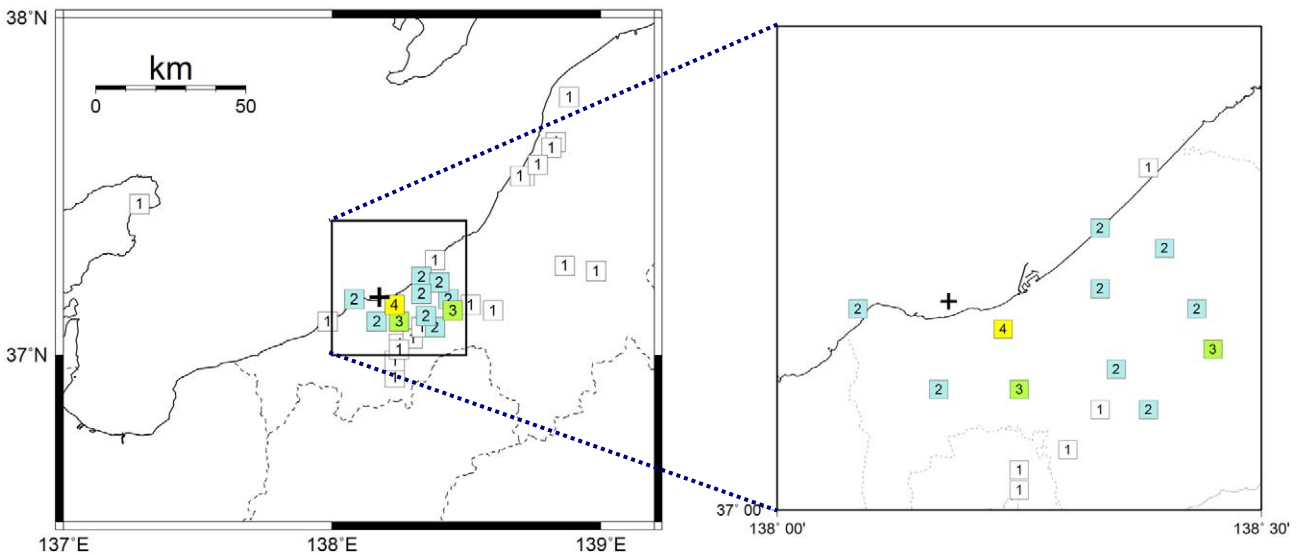
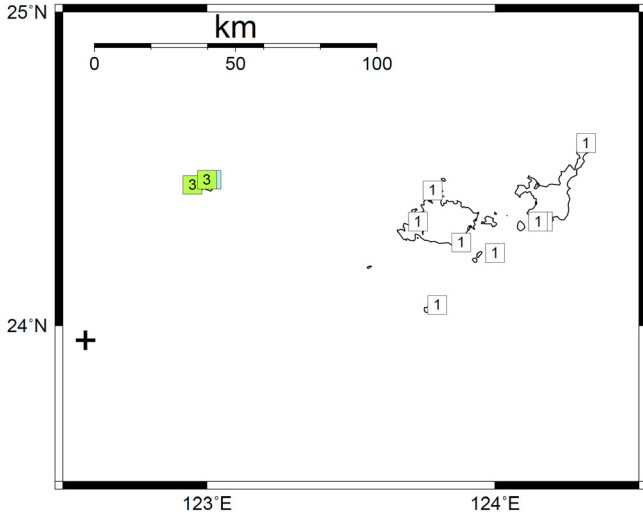


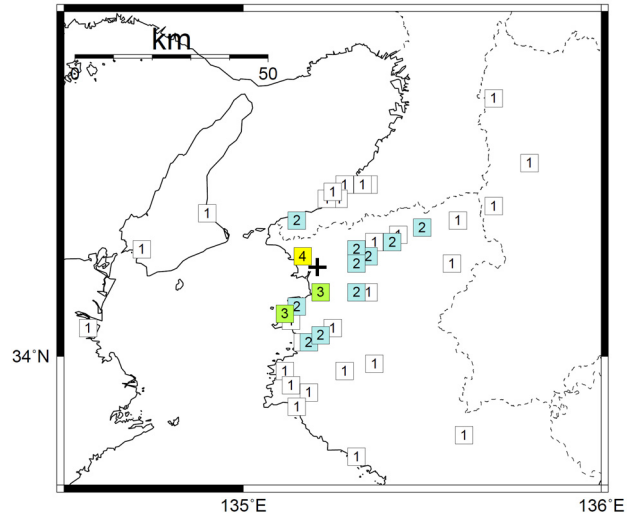
図 3-2 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）



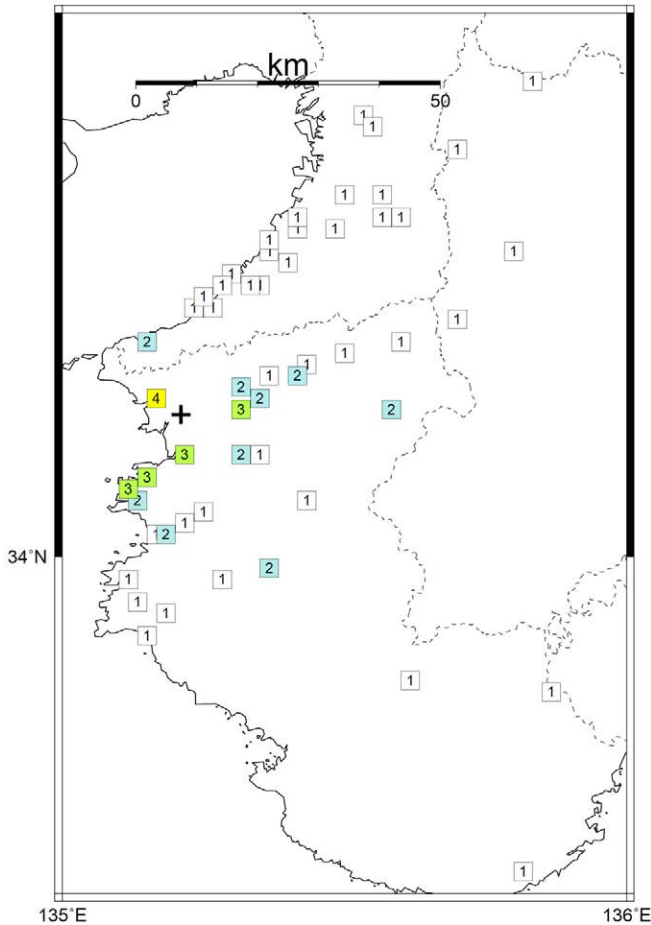
7 6月8日01時38分 与那国島近海  
(M5.8、深さ25km、最大震度3)



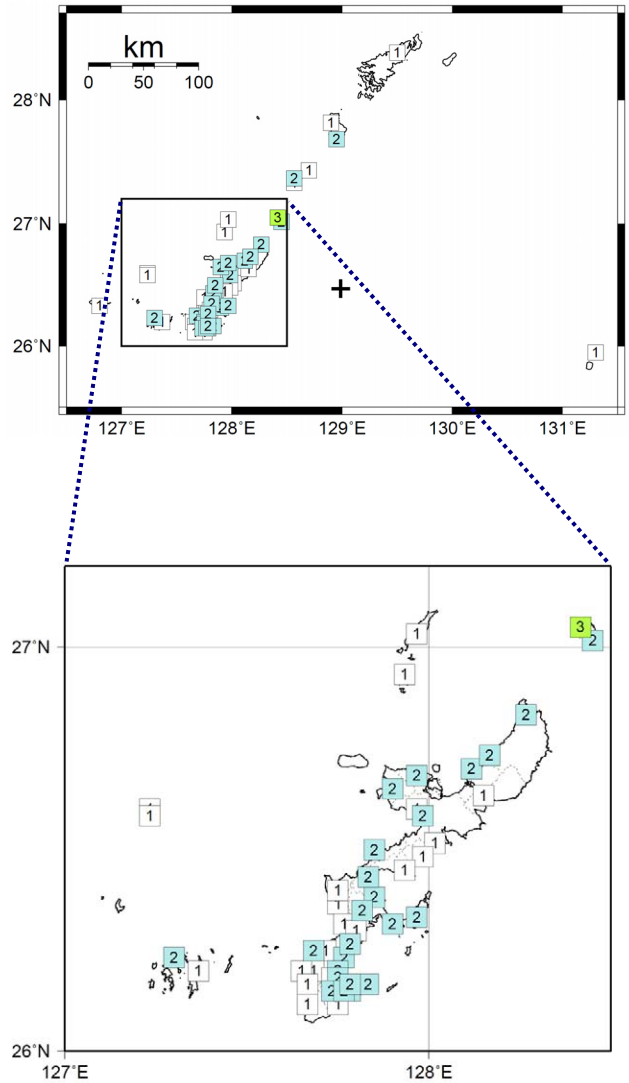
8 6月8日16時17分 和歌山県北部  
(M4.0、深さ4km、最大震度4)



9 6月8日20時39分 和歌山県北部  
(M3.9、深さ4km、最大震度4)



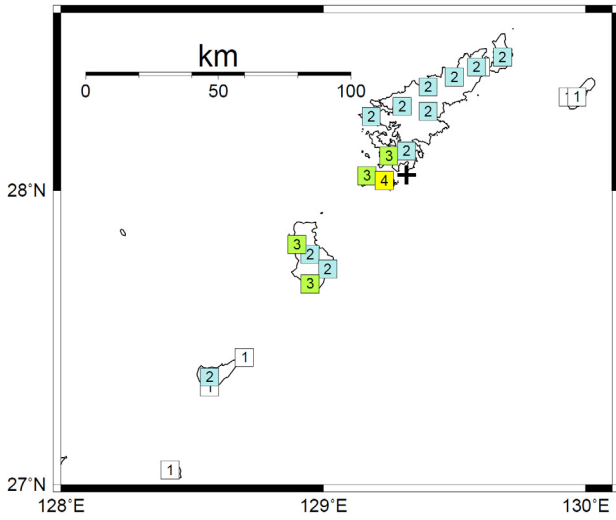
10 6月13日22時24分 沖縄本島近海  
(M5.8、深さ37km、最大震度3)



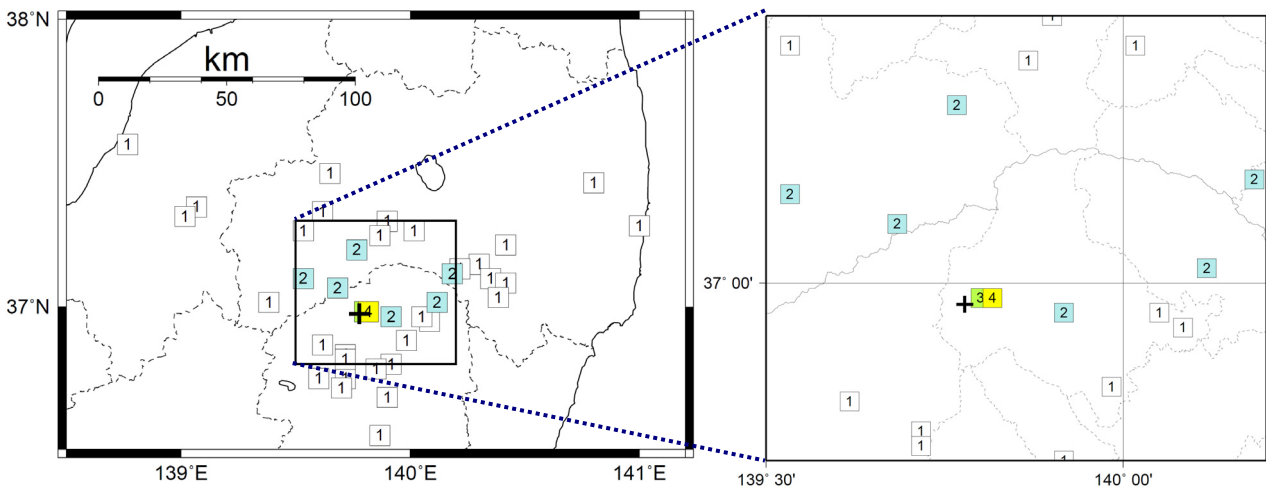
凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

図 3-3 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

11 6月21日16時31分 奄美大島近海  
(M4.6、深さ22km、最大震度4)



12 6月27日16時13分 栃木県北部  
(M3.9、深さ7km、最大震度4)



凡例	
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

図 3-4 震度分布図（各図の左上の数字は表 1、図 2 の番号に対応する。+印は震央を示す。）

## ○北海道地方の地震活動

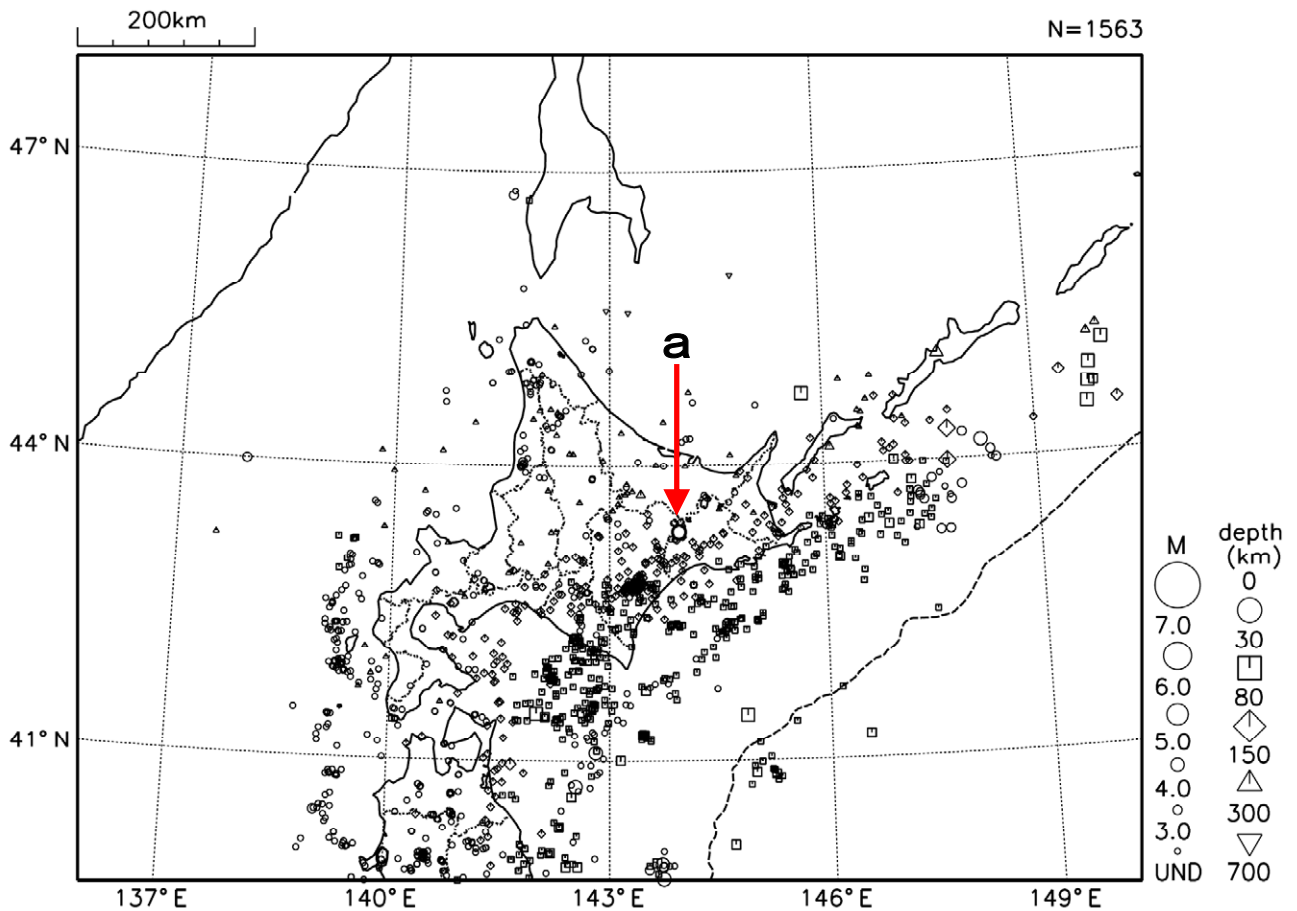


図4 北海道地方の震央分布図（2013年6月1日～6月30日）

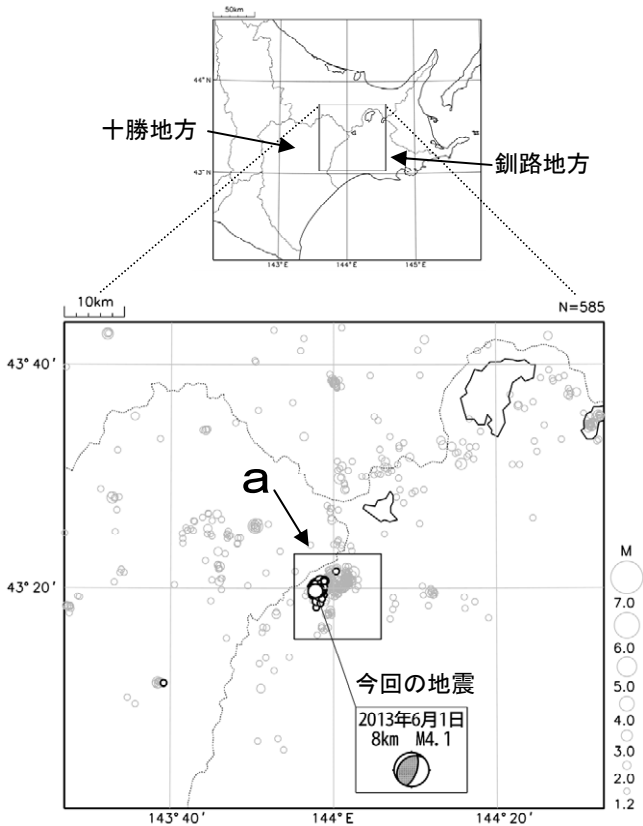
### [概況]

6月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は18回（5月は20回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

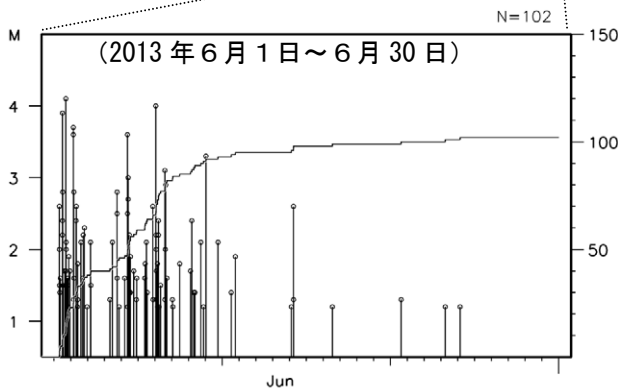
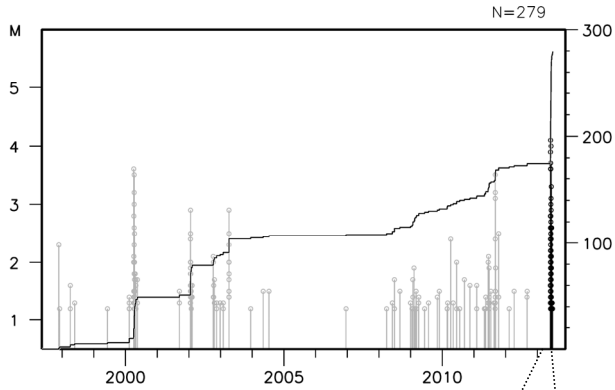
1日16時54分に釧路地方中南部の深さ8kmでM4.1の地震（図4中のa）が発生し、北海道足寄町で震度3を観測したほか、釧路・根室・十勝地方で震度2～1を観測した（p. 4、9参照）。

## 6 月 1 日 釧路地方中南部の地震

震央分布図（1997 年 10 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～15km、 $M \geq 1.2$ ）  
2013 年 6 月の地震を濃く表示



領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



2013 年 6 月 1 日 16 時 54 分に釧路地方中南部の深さ 8 km で M4.1 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は地殻内で発生し、発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

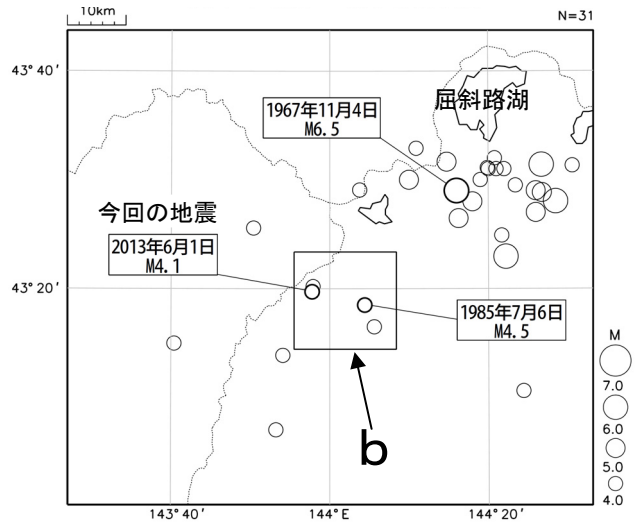
6 月上旬は震度 1 以上を 8 回観測するなど活動は活発であったが、これ以降、地震の発生回数は減っている。

1997 年 10 月以降の地震活動を見ると、今回の震央付近 (領域 a) では M3 クラスの地震が時々発生しており、一時的に活動が活発化する地域である。

1923 年 1 月以降の地震活動を見ると、今回の震央付近 (領域 b) では、1985 年 7 月 6 日に M4.5 の地震 (釧路市で最大震度 2) が発生している。

なお、今回の地震の震央から北東へ約 30 km 離れた屈斜路湖の南側では、過去に M6 クラスの被害地震が数回発生している。

震央分布図 (1923 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～50km、 $M \geq 4.0$ )



## ○東北地方の地震活動

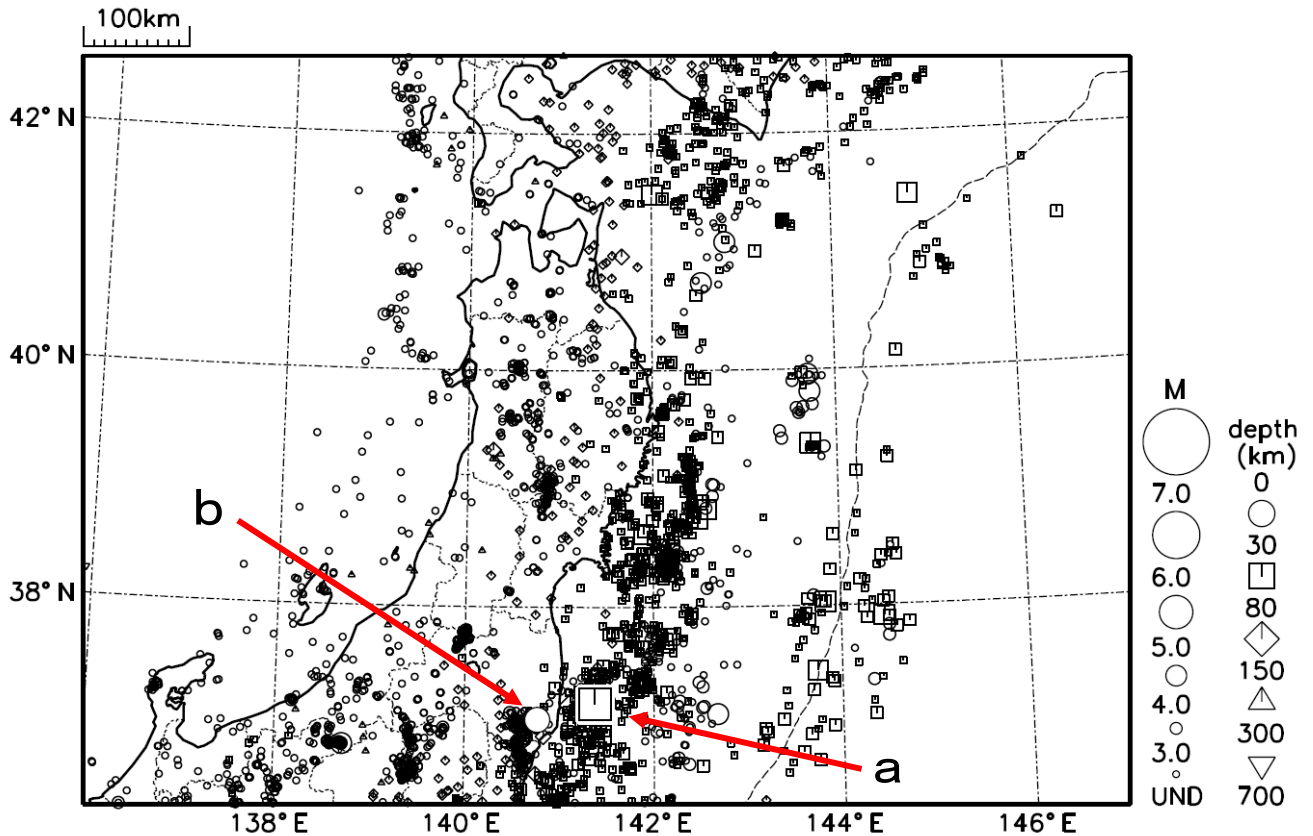


図5 東北地方の震央分布図（2013年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に東北地方で震度1以上を観測した地震は72回（5月は106回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

2011年3月11日に発生した「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の余震活動は、全体的には次第に低下しているが、本震発生以前に比べて依然として活発な地震活動が続いている（p. 11、12 参照）。

4日17時33分に福島県沖の深さ48kmでM4.7の地震（図5中のa）が発生し、福島県檜葉町で震度4を観測したほか、東北地方から関東地方にかけて震度3～1を観測した（p. 4、13 参照）。

5日09時36分に福島県浜通りの深さ11kmでM4.4の地震（図5中のb）が発生し、福島県いわき市、川内村で震度3を観測したほか、福島県、宮城県、山形県で震度2～1を観測した（p. 5、14 参照）。

## 平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の余震活動

2011 年 3 月 11 日に発生した「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の余震活動は、全体的には次第に低下しているが、本震発生以前に比べて依然として活発な地震活動が続いている。

2013 年 6 月は、領域 a（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」の震源域及び海溝軸の東側を含む震源域の外側）で M5.0 以上の地震が 1 回発生した。また、震度 4 以上を観測する地震は 1 回発生した。なお、領域 a では 2001 年から 2010 年の 10 年間に M5.0 以上の地震が 190 回、震度 4 以上を観測する地震が 98 回発生している。

領域 a で 2011 年 3 月以降に発生した M7.0 以上の地震、2013 年 6 月に発生した M5.0 以上の地震はそれぞれ以下の通り。

2011 年 3 月以降に領域 a 内で発生した M7.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）	発生場所
03月09日 11時45分	三陸沖	7.3	7.3	5弱	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 14時46分	三陸沖 <sup>※1</sup>	9.0 <sup>※2</sup>	9.0	7	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 15時08分	岩手県沖	7.4	7.4	5弱	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 15時15分	茨城県沖	7.6	7.7	6強	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートと陸のプレートの境界
03月11日 15時25分	三陸沖	7.5	7.5	4	西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型	太平洋プレート内
04月07日 23時32分	宮城県沖	7.2	7.1	6強	西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレート内
04月11日 17時16分	福島県浜通り	7.0	6.7	6弱	東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型	地殻内
07月10日 09時57分	三陸沖	7.3	7.0	4	西北西-東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型	太平洋プレート内
12月07日 17時18分	三陸沖	7.3	7.3	5弱	西北西-東南東方向に張力軸を持つ正断層型	太平洋プレート内

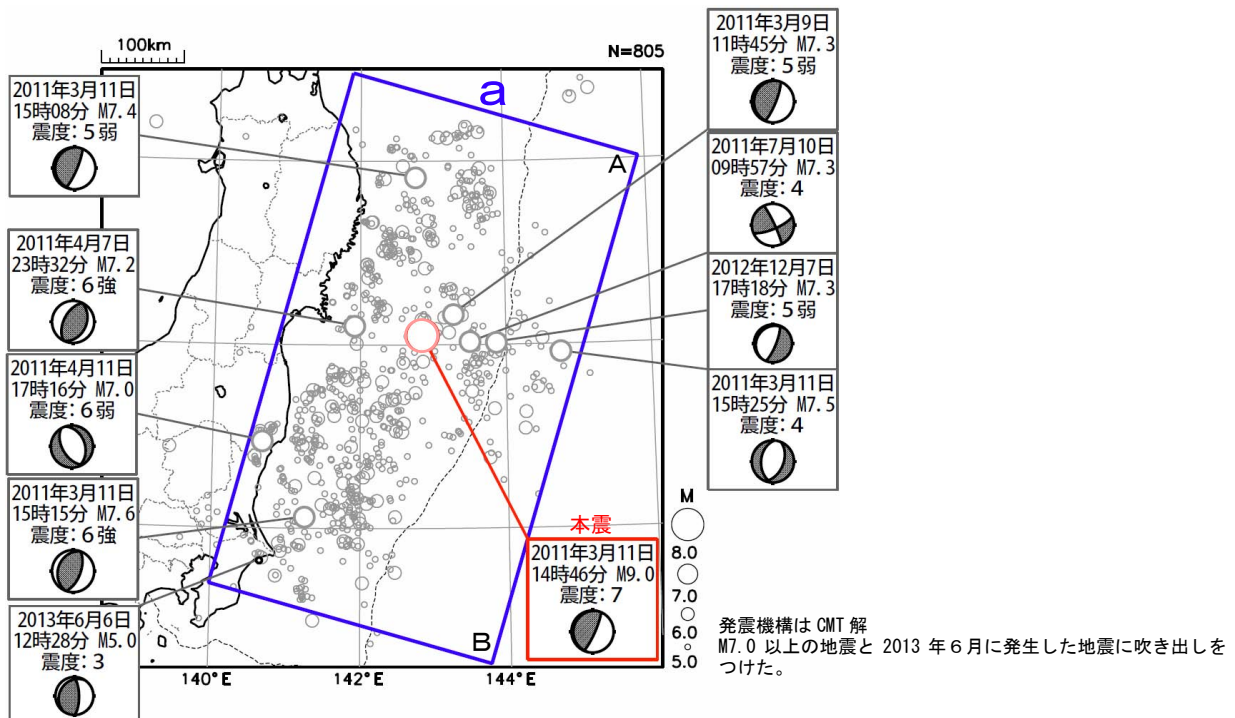
2013 年 6 月に領域 a 内で発生した M5.0 以上の地震

発生日時	震央地名	M	Mw	最大震度	発震機構（CMT解）	発生場所
06月06日 12時28分	千葉県東方沖	5.0	5.2	3	東西方向に圧力軸を持つ逆断層型	太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界

※1 「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」  
 ※2 この地震の M は Mw の値で、気象庁マグニチュードは 8.4

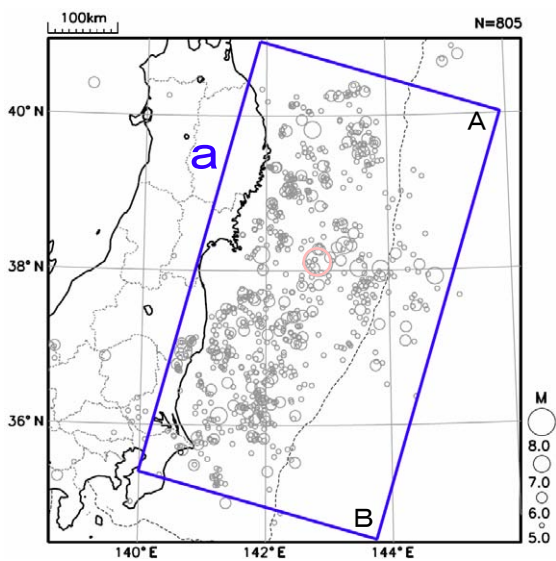
### 震央分布図

（2011 年 3 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、深さすべて、M≥5.0）  
 2013 年 6 月の地震を濃く表示



領域a内の地震回数

震央分布図  
(期間等は前ページと同じ)

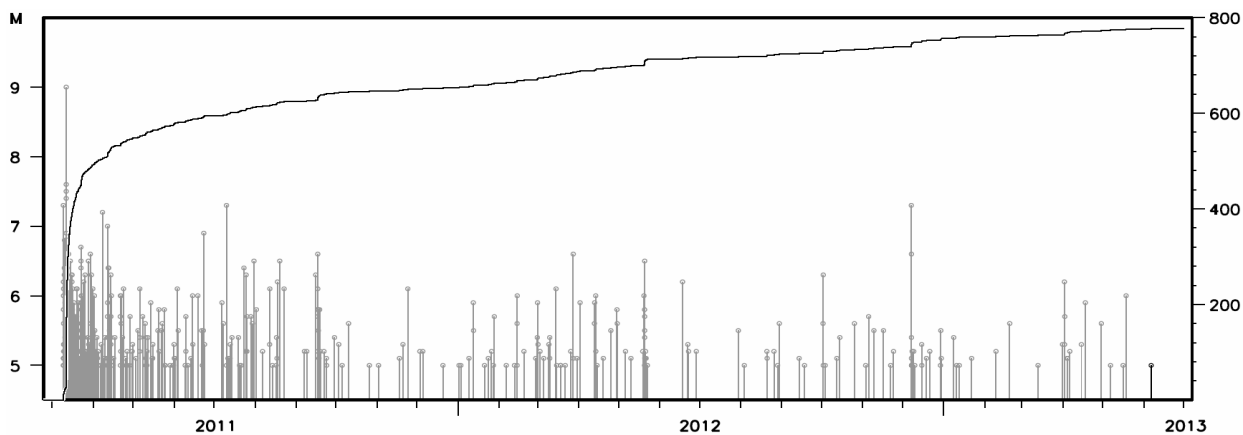
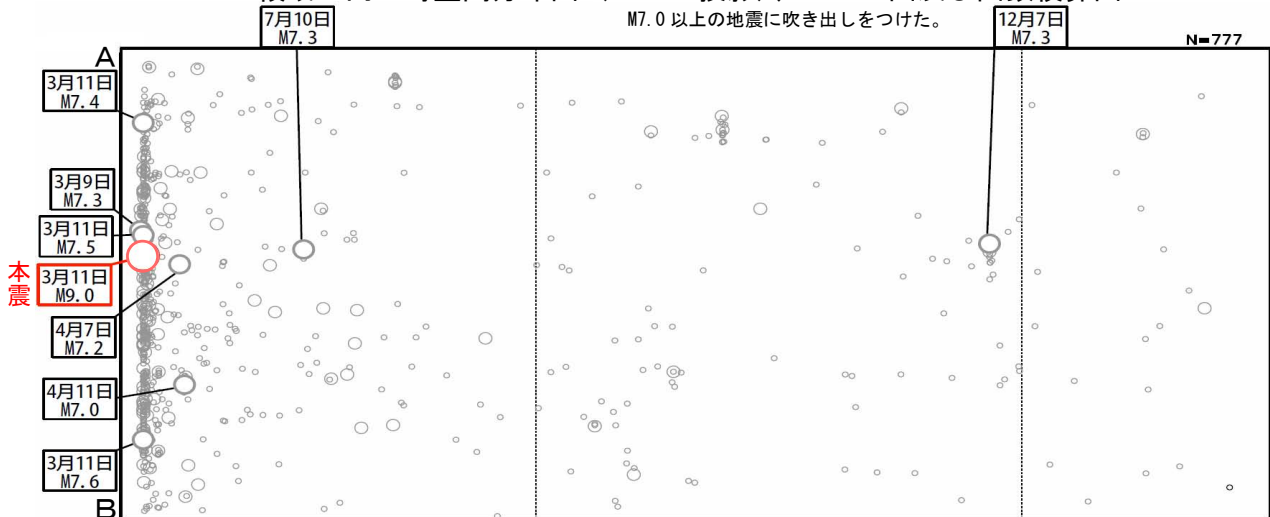


	M5.0 ~ M5.9	M6.0 ~ M6.9	M7.0 以上	計	最大震度					計		
					4	5弱	5強	6弱	6強			
2011年	3月	395	68	3	466	91	17	6		1	115	
	4月	46	8	2	56	41	8		2	1	52	
	5月	28	1		29	14	2				16	
	6月	13	4		17	7	2				9	
	7月	15	3	1	19	7	1	2			10	
	8月	7	4		11	9	2				11	
	9月	15	3		18	6	1	1			8	
	10月	4			4	2					2	
	11月	3	1		4	1		1			2	
	12月	3			3	2					2	
	2012年	1月	10			10	5	1				6
		2月	8	1		9	5	1				6
3月		13	2		15	2	3	1			6	
4月		9	1		10	6	2				8	
5月		14	2		16	1					1	
6月		3	1		4	3					3	
7月		1			1	2					2	
8月		6			6	2		1			3	
9月		2			2	1					1	
10月		6	1		7	4	1				5	
11月		6			6	5					5	
12月		15	1	1	17	5	1				6	
2013年	1月	4			4	3	2				5	
	2月	2			2	2					2	
	3月	2			2	2					2	
	4月	8	1		9	3	1				4	
	5月	2	1		3	1		1			2	
	6月	1			1	1					1	
計	641	103	7	751	233	45	13	2	2	295		

※ 2011年3月は本震発生後のみの回数(本震を含まない)

領域 a 内の時空間分布図 (A-B 投影)、M-T 図及び回数積算図

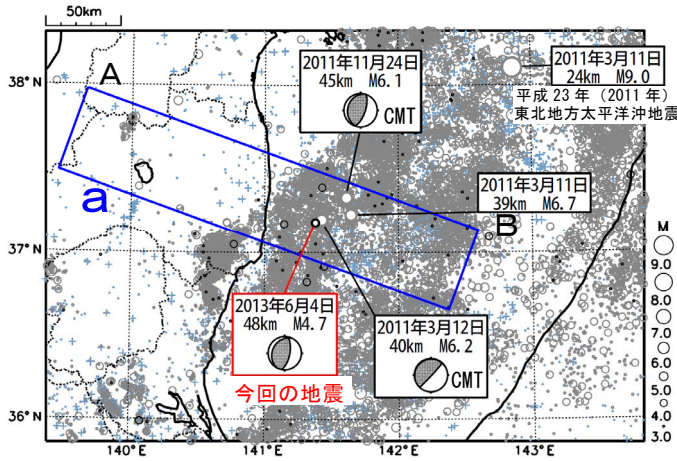
M7.0 以上の地震に吹き出しをつけた。



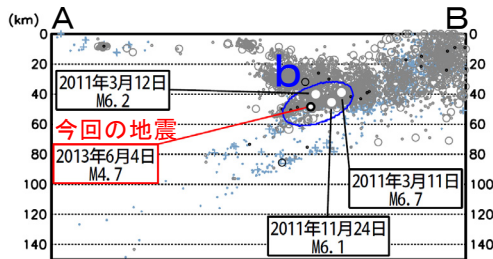
## 6 月 4 日 福島県沖の地震

震央分布図※  
 (1997 年 10 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～150km、 $M \geq 3.0$ )

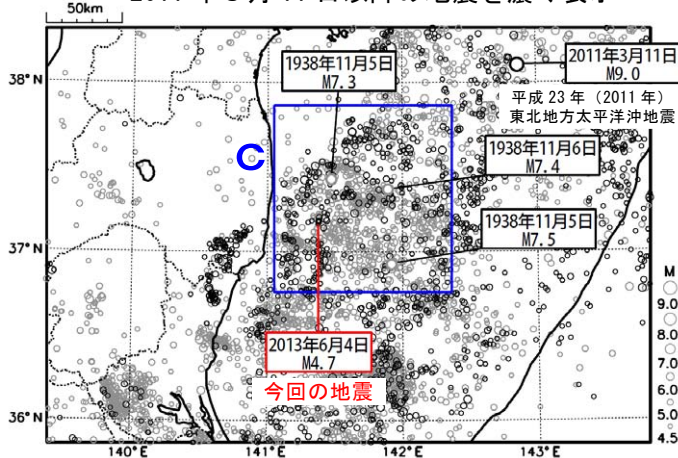
東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、2013 年 6 月の地震を濃い○で表示



領域 a 内の断面図※ (A-B 投影)



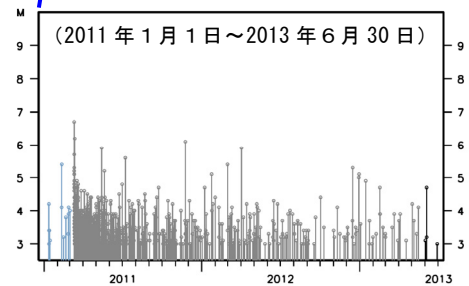
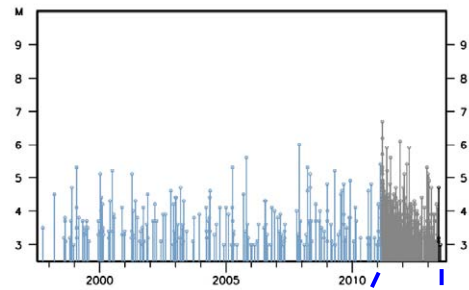
震央分布図※  
 (1923 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～150km、 $M \geq 4.5$ )  
 2011 年 3 月 11 日以降の地震を濃く表示



2013 年 6 月 4 日 17 時 33 分に福島県沖の深さ 48km で  $M 4.7$  の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

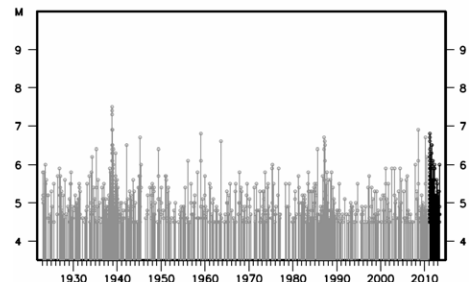
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、 $M 5.0$  以上の地震が時々発生していたが、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」の発生以降、2011 年 3 月 11 日に  $M 6.7$  の地震 (最大震度 5 弱) が発生するなど、地震活動が活発になっている。

領域 b 内の M-T 図※



1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、1938 年 11 月 5 日に  $M 7.5$  の地震が発生し、宮城県の花淵で 113cm (全振幅) の津波が観測された。また、死者 1 人、負傷者 9 人、住家全壊 4 棟、半壊 29 棟などの被害が生じた (「最新版 日本被害地震総覧」による)。この地震では本震と同程度の規模 ( $M 7$  クラス) の地震を含め活発な余震活動を伴った。

領域 c 内の M-T 図※

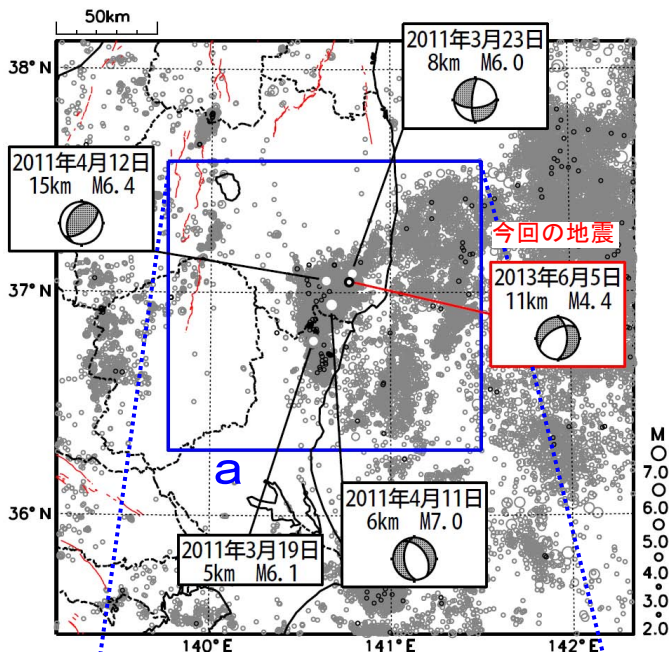


※2011 年 3 月 13 日～5 月 30 日に未処理のデータがある。

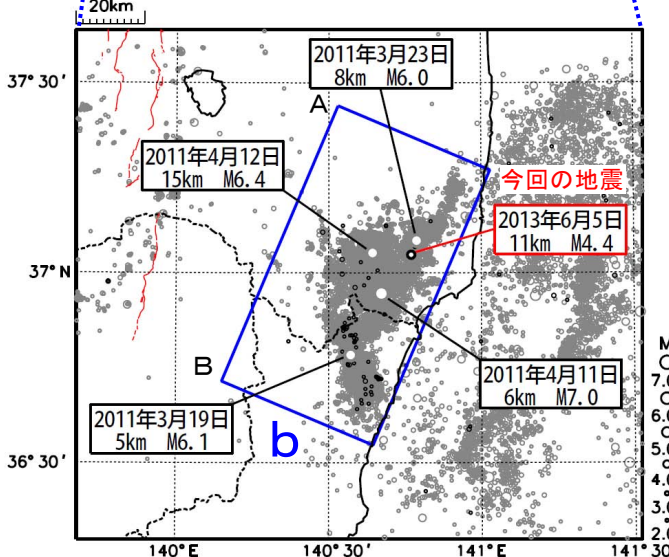


## 6 月 5 日 福島県浜通りの地震

震央分布図※  
 (1997 年 10 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2013 年 6 月の地震を濃く表示



領域 a の拡大図  
 2013 年 6 月の地震を濃く表示



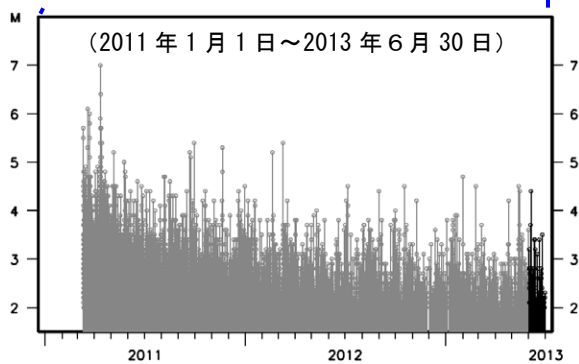
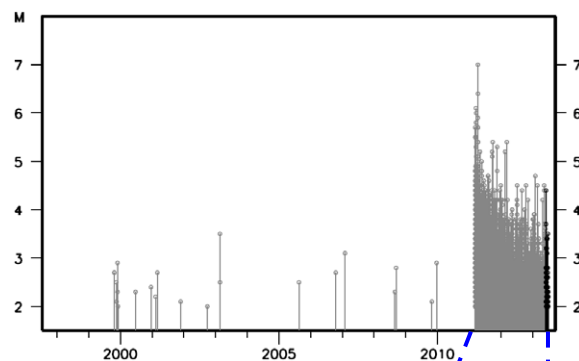
震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による  
 主要活断層帯を示す

※2011 年 3 月 13 日～5 月 30 日に未処理のデータがある。

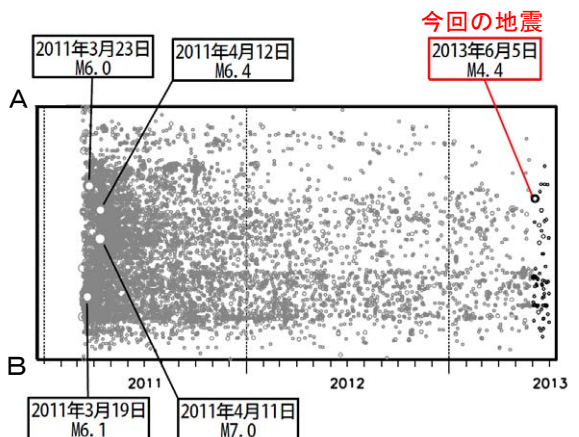
2013 年 6 月 5 日 09 時 36 分に福島県浜  
 通りの深さ 11km で  $M4.4$  の地震（最大震度  
 3）が発生した。この地震は地殻内で発生  
 したもので、発震機構は、西北西－東南東  
 方向に張力軸を持つ正断層型である。

福島県浜通りから茨城県北部にかけて  
 の地殻内（領域 b）では、「平成 23 年（2011  
 年）東北地方太平洋沖地震」の発生後、地  
 震活動が活発化した。地震活動は、領域 b  
 の南側を中心に継続しているが、全体とし  
 て低下してきている。

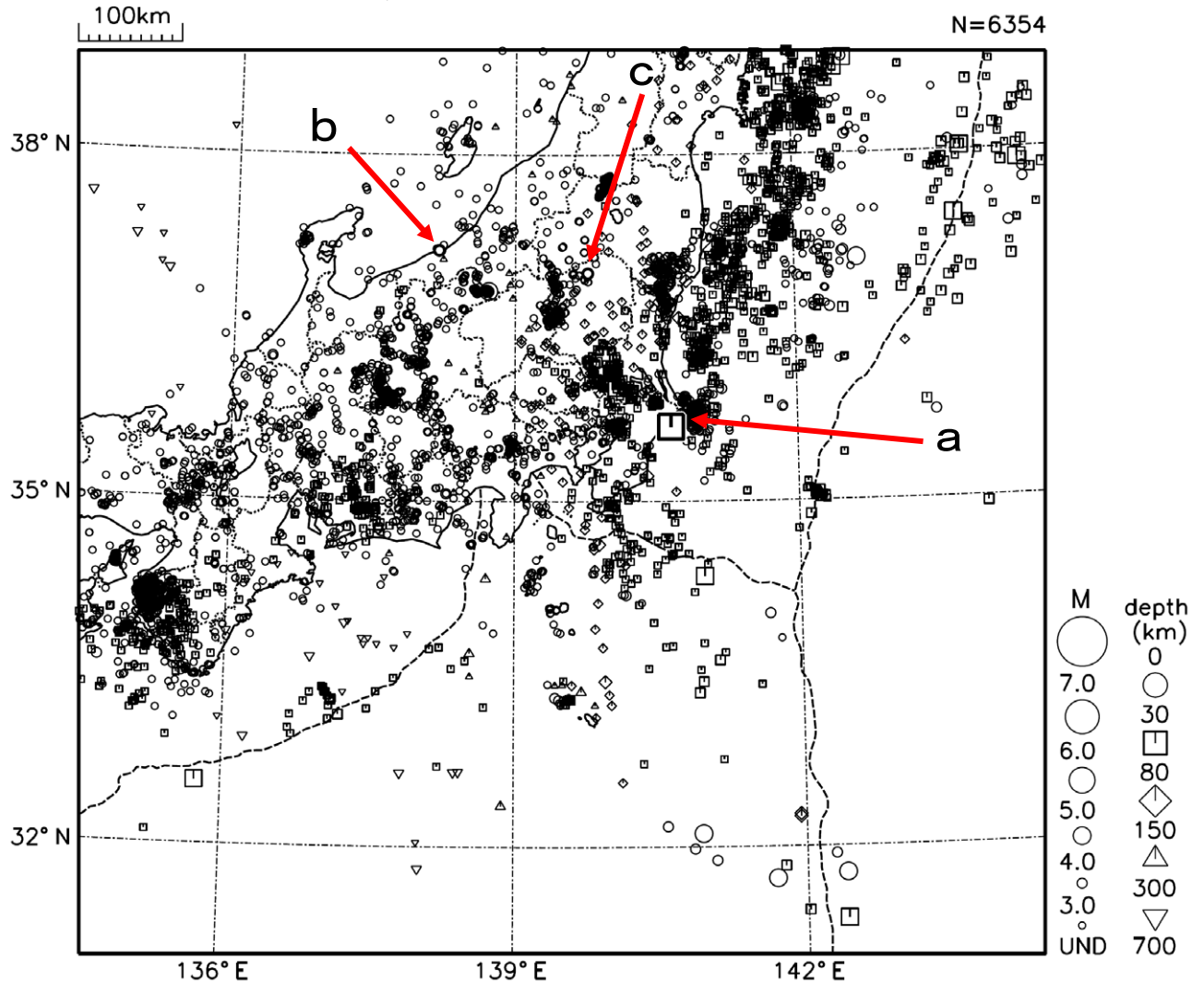
領域 b 内の M-T 図※



領域 b 内の時空間分布図（A-B 投影）※



## ○関東・中部地方の地震活動



[概況] 図6 関東・中部地方の震央分布図（2013年6月1日～6月30日）

6月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は68回（5月は74回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

6日12時28分に千葉県東方沖の深さ50kmでM5.0の地震（図6中のa）が発生し、千葉県と茨城県で震度3を観測したほか、関東地方と福島県、新潟県、静岡県で震度2～1を観測した（p. 5、16参照）。

7日22時29分に新潟県上中越沖の深さ11kmでM3.8の地震（図6中のb）が発生し、新潟県上越市で震度4を観測したほか、新潟県と石川県で震度1を観測した（p. 5、17参照）。

この地震について、情報発表に用いた震央地名は〔新潟県上越地方〕である。

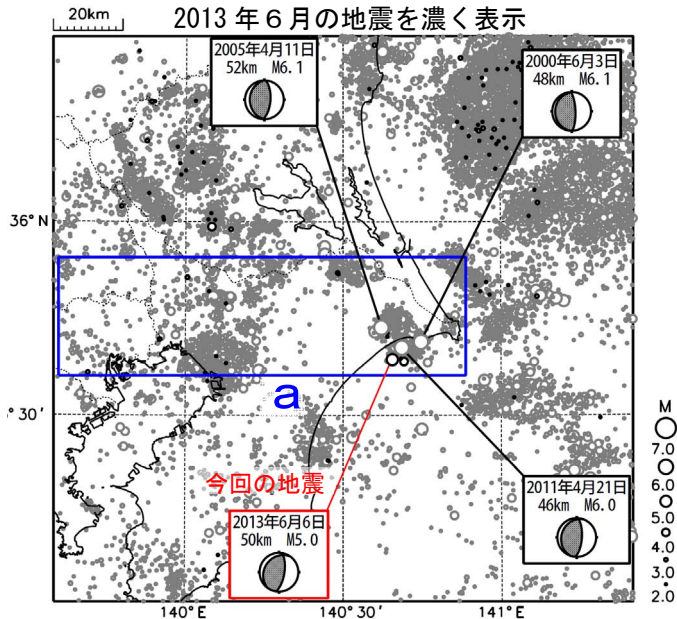
27日16時13分に栃木県北部の深さ7kmでM3.9の地震（図6中のc）が発生し、栃木県那須塩原市で震度4を観測したほか、栃木県、福島県、新潟県で震度2～1を観測した（p. 7、18参照）。

# 6月6日 千葉県東方沖の地震

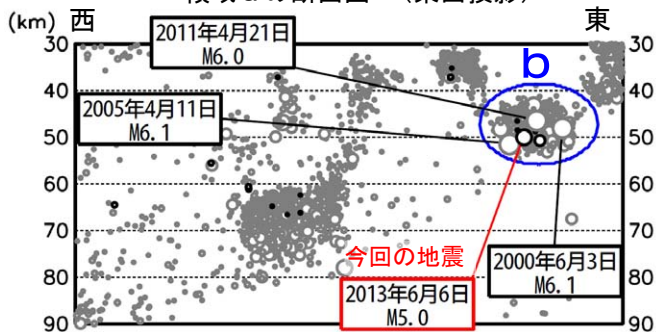
震央分布図\*

(1997年10月1日~2013年6月30日、  
深さ30~90km、 $M \geq 2.0$ )

2013年6月の地震を濃く表示

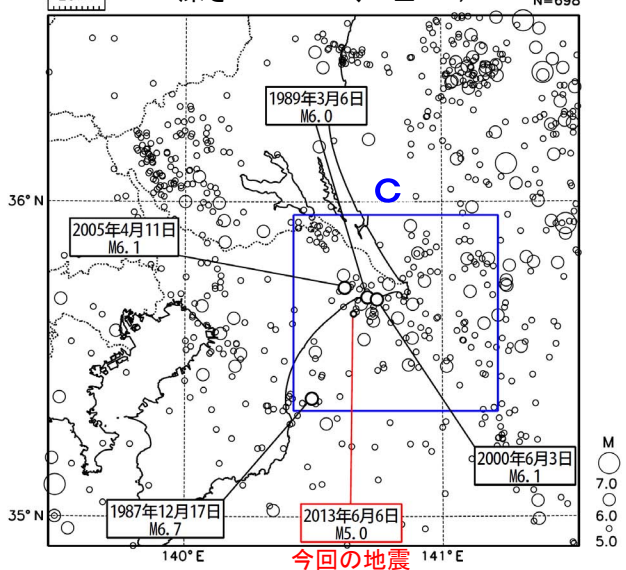


領域 a の断面図\* (東西投影)



震央分布図

(1923年1月1日~2013年6月30日、  
深さ0~150km、 $M \geq 5.0$ )

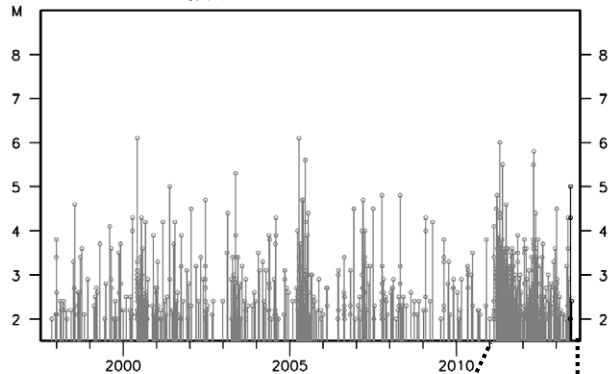


2013年6月6日12時28分に、千葉県東方沖の深さ50kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとフィリピン海プレートの境界で発生した地震である。

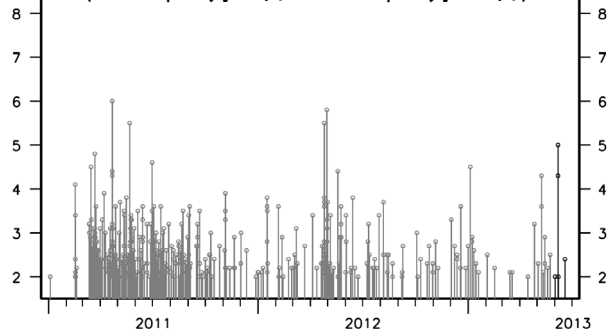
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域b)では、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生前から地震活動があり、東北地方太平洋沖地震の発生後に、地震活動がより活発になっている。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)ではM6.0以上の地震が時々発生しており、そのうち、1987年12月17日に発生したM6.7の地震では死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、一部破損7万棟余などの被害が生じた(「理科年表」による)。

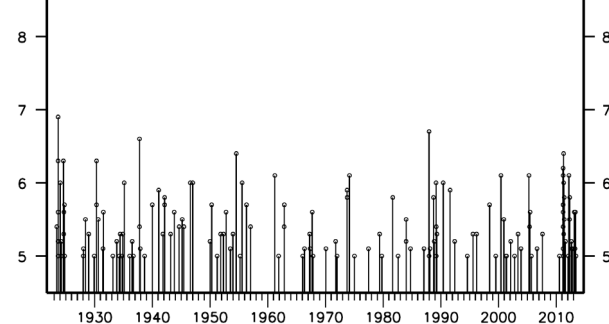
領域 b 内の M-T 図\*



(2011年1月1日~2013年6月30日)



領域 c 内の M-T 図



\*2011年3月13日~5月30日に未処理のデータがある。

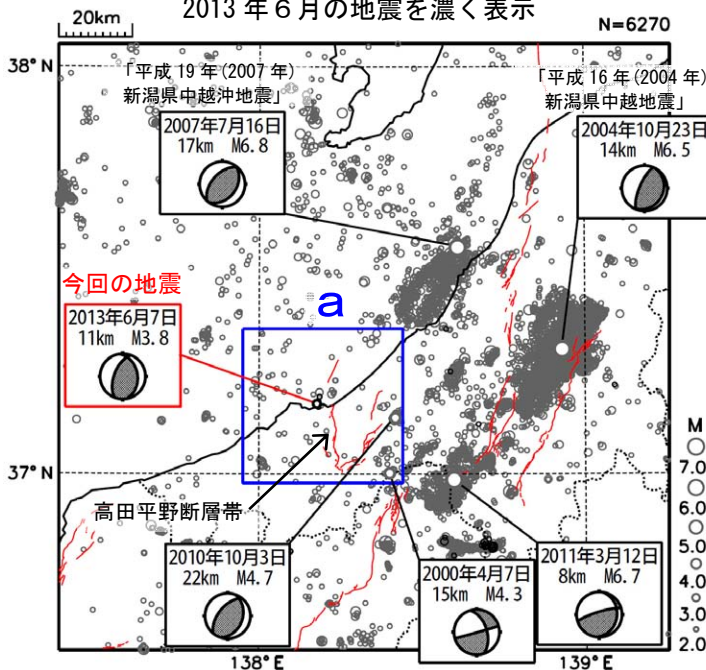
# 6 月 7 日 新潟県上中越沖の地震

情報発表に用いた震央地名は〔新潟県上越地方〕である。

## 震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$ )

2013 年 6 月の地震を濃く表示



震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

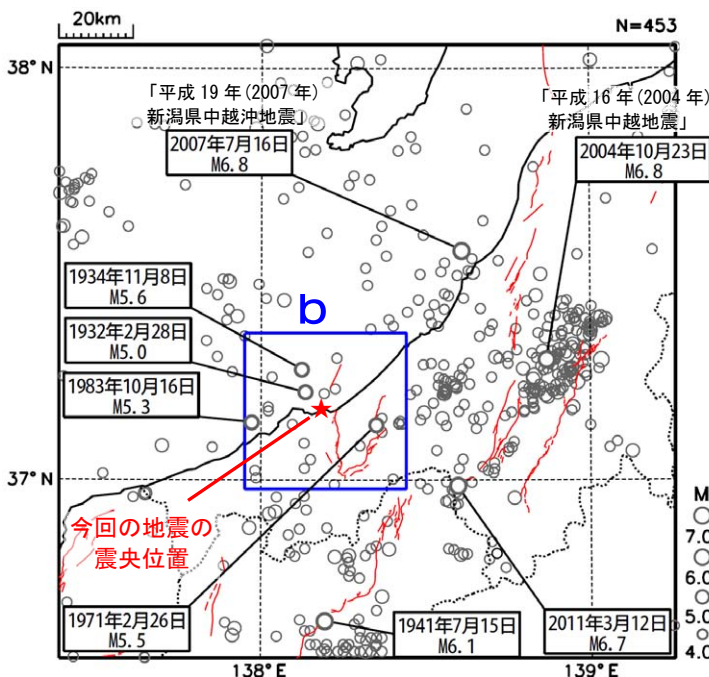
2013 年 6 月 7 日 22 時 29 分に、新潟県上中越沖の深さ 11km で M3.8 の地震 (最大震度 4) が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 a) では、2000 年 4 月 7 日の M4.3 の地震 (最大震度 4) と、2010 年 10 月 2 日から 3 日にかけての地震活動 (最大規模 M4.7、最大震度 5 弱) 以外に、M4.0 以上の地震は発生していない。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 b) では、M5.0 以上の地震が 4 回発生しており、そのうち 1971 年 2 月 26 日の M5.5 の地震では、負傷者 13 人などの被害が生じた (『最新版日本被害地震総覧』による)。

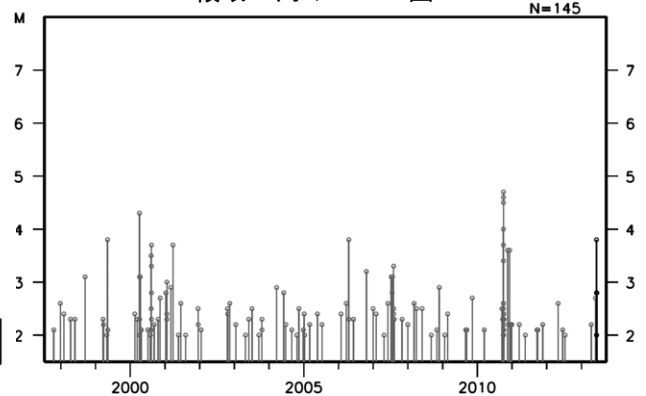
## 震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～50km、 $M \geq 4.0$ )

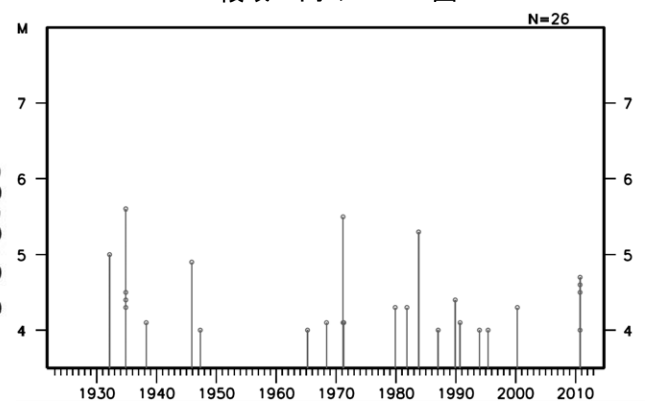


震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による主要活断層帯を示す

## 領域 a 内の M-T 図



## 領域 b 内の M-T 図

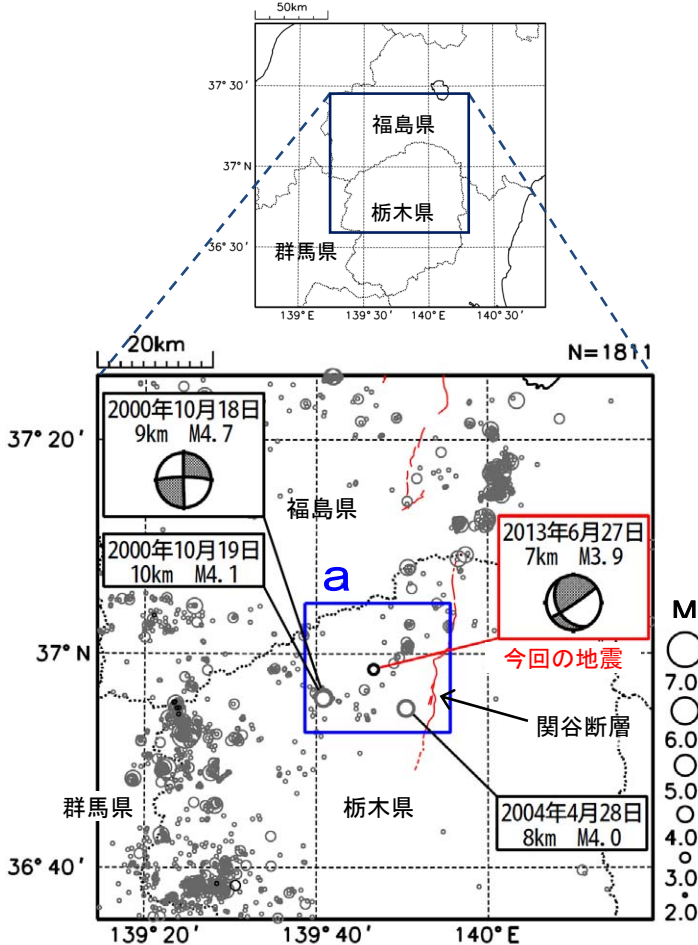


# 6月27日 栃木県北部の地震

## 震央分布図

(1997年10月1日～2013年6月30日、  
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$ )

2013年6月の地震を濃く表示



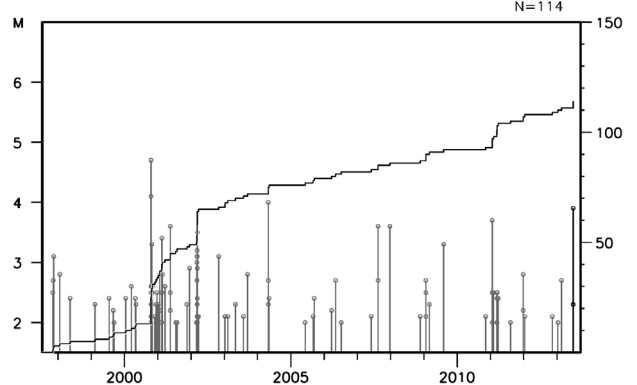
震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による  
主要活断層帯を示す

2013年6月27日16時13分に栃木県北部の深さ7kmでM3.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域a)で発生したM4.0以上の地震は、2000年10月18日(M4.7)、19日(M4.1)、2004年4月28日(M4.0)の3回である。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、1949年12月26日に今市地震(M6.4、M6.2)が発生しており、死者10人、負傷者163人、住家全壊290棟などの被害が生じた(「最新版 日本被害地震総覧」による)。

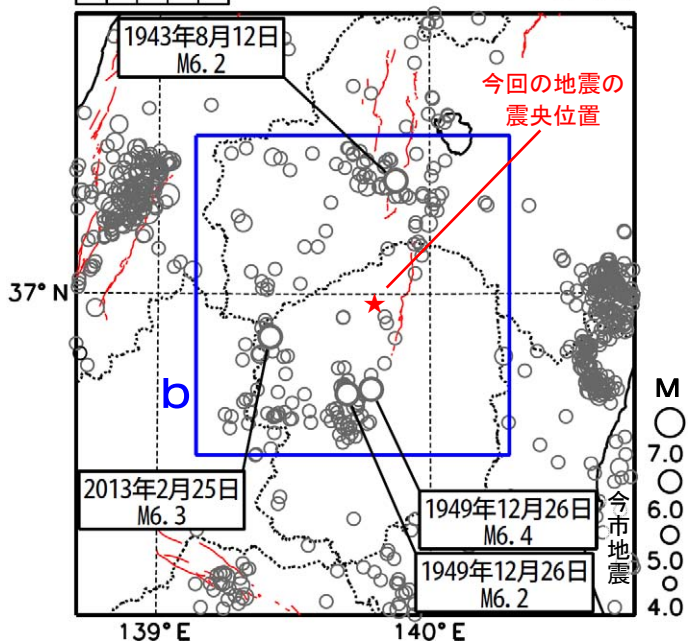
## 領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



## 震央分布図

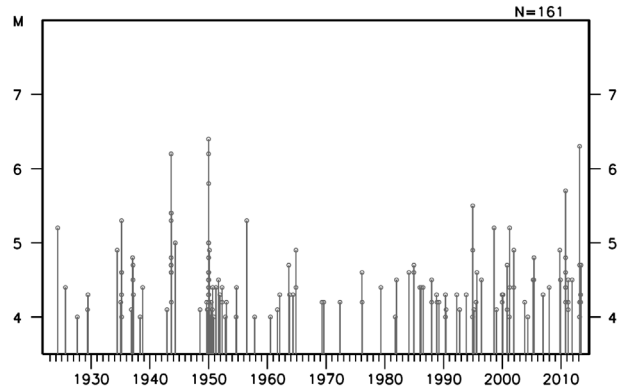
(1923年1月1日～2013年6月30日、  
深さ0～40km、 $M \geq 4.0$ )

N=645



震央分布図中の細線は地震調査研究推進本部による  
主要活断層帯を示す

## 領域 b 内の M-T 図



## ○近畿・中国・四国地方の地震活動

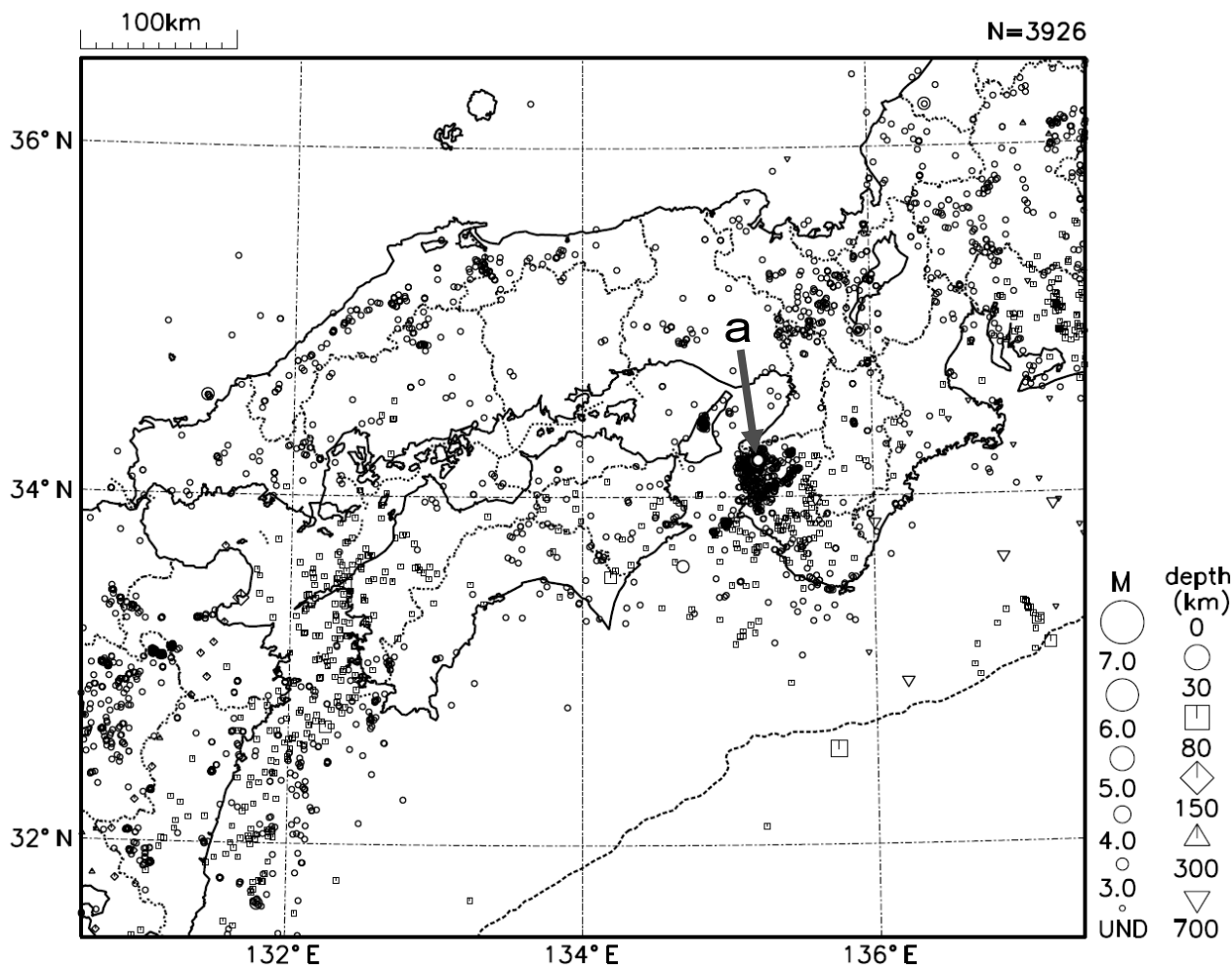


図7 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2013年6月1日～6月30日）

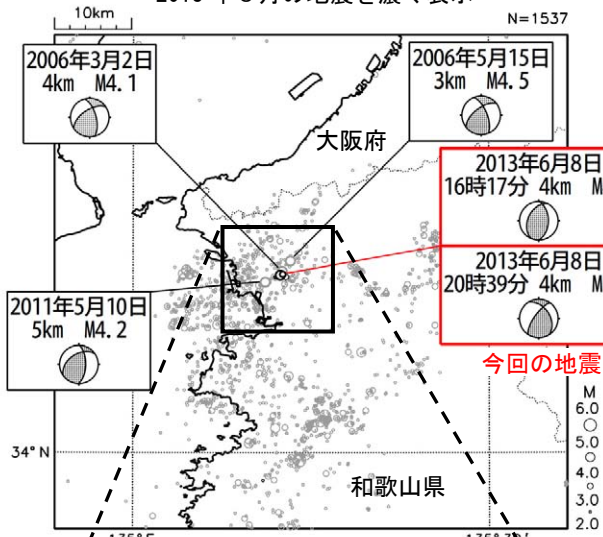
### [概況]

6月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は16回（5月は19回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

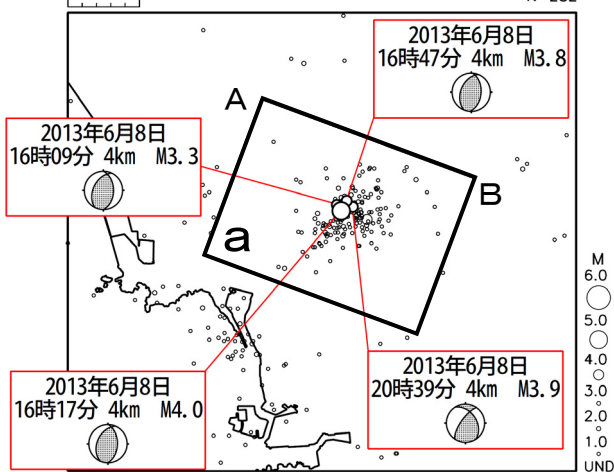
8日16時17分に和歌山県北部の深さ4kmでM4.0の地震（図7中のa）が発生し、和歌山県和歌山市で震度4を観測したほか、近畿地方と徳島県で震度3～1を観測した。また同日20時39分にほぼ同じ場所でM3.9の地震が発生し、和歌山県和歌山市で震度4を観測したほか、和歌山県、大阪府、奈良県で震度3～1を観測した（p. 6、20参照）。

## 6 月 8 日 和歌山県北部の地震

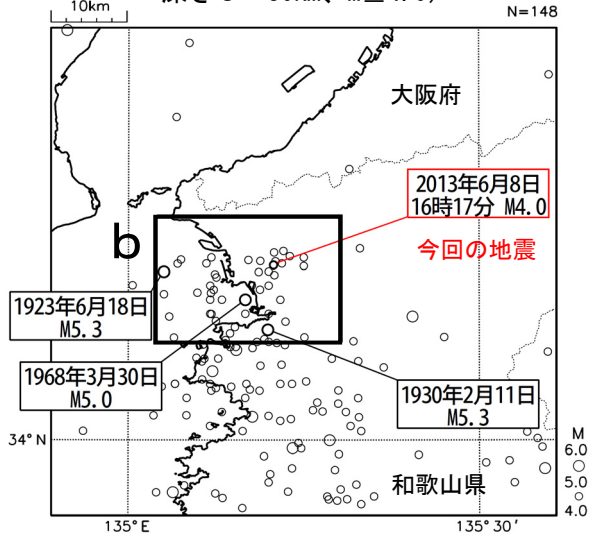
震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～20km、 $M \geq 2.0$ )  
 2013 年 6 月の地震を濃く表示



震央分布図  
 (2013 年 6 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～10km、 $M$  すべて)



震央分布図  
 (1923 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～30km、 $M \geq 4.0$ )

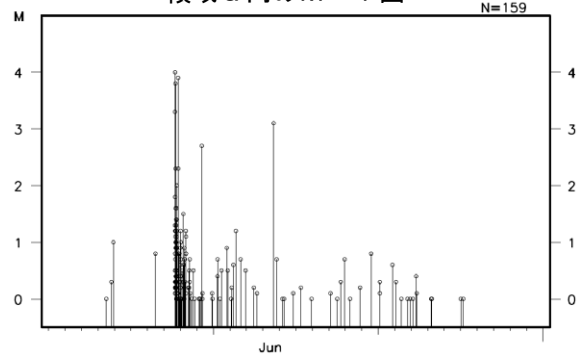


2013 年 6 月 8 日 16 時 17 分に和歌山県北部の深さ 4 km で  $M4.0$  の地震 (最大震度 4) が、また、同日 20 時 39 分にほぼ同じ場所で  $M3.9$  の地震 (最大震度 4) が発生した。今回の地震の震央付近 (領域 a) では、今回の地震を含め、14 日にかけて震度 1 以上を観測する地震が 9 回発生し、いずれも地殻内で発生した。今回の地震活動の主な発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、その震源分布は概ね西方向に傾斜しているように見える。

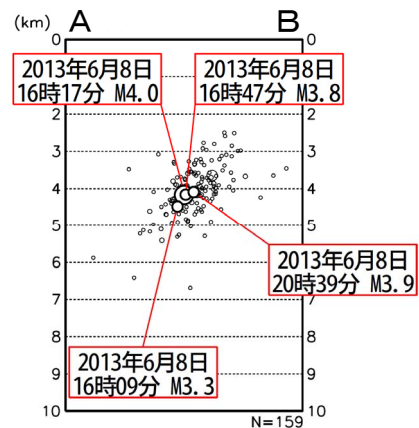
なお、今回の地震により和歌山城内の石積が一部崩れる被害が生じた (和歌山県による)。

1923 年 1 月以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 b) は活動が活発な領域であり、 $M4.0$  以上の地震がしばしば発生しているが、 $M6.0$  以上の地震は発生していない。

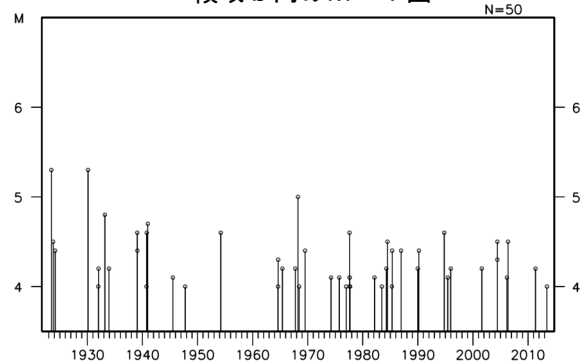
領域 a 内の M-T 図



領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



## ○九州地方の地震活動

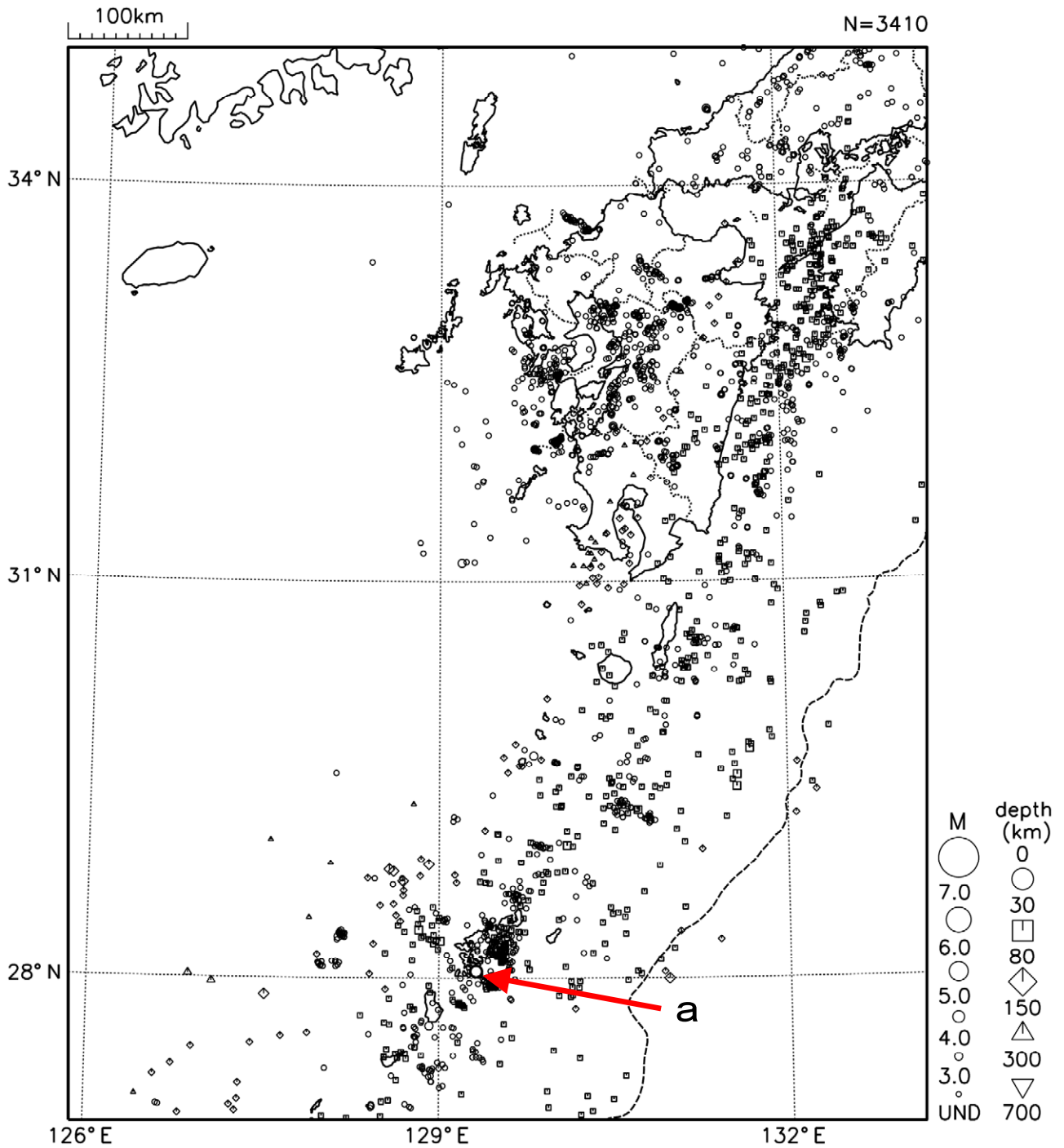


図 8 九州地方の震央分布図（2013 年 6 月 1 日～6 月 30 日）

### [概況]

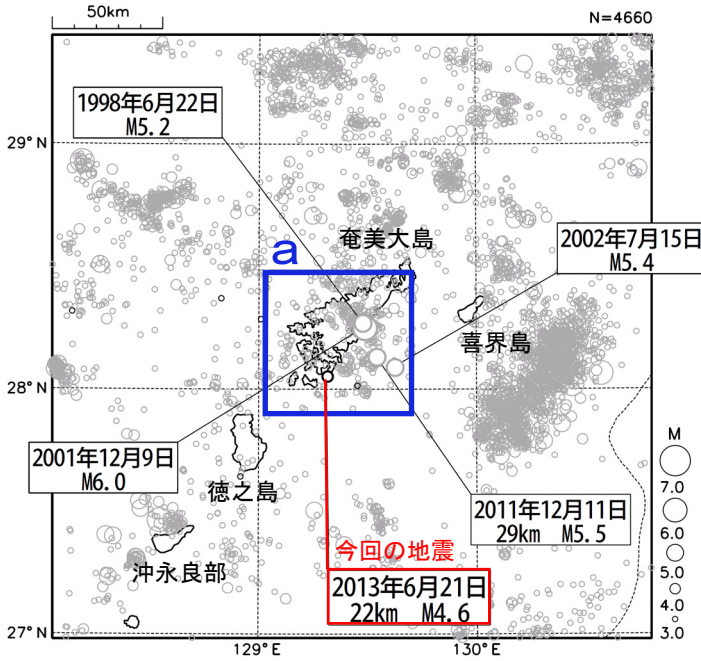
6 月に九州地方で震度 1 以上を観測した地震は 19 回（5 月は 17 回）であった。

21 日 16 時 31 分に奄美大島近海の深さ 22km で M4.6 の地震（図 8 中の a）が発生し、鹿児島県瀬戸内町（請島）で震度 4 を観測したほか、奄美群島で震度 3～1 を観測した（p. 6、22 参照）。



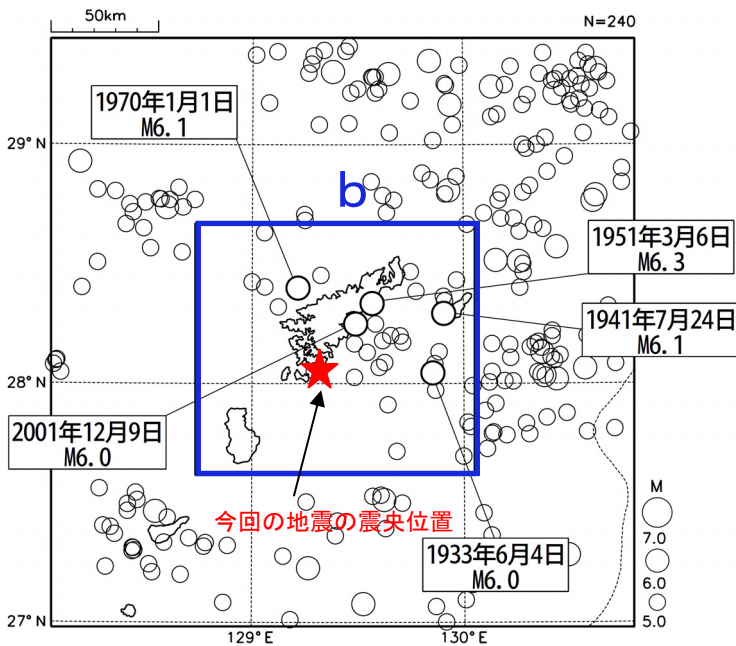
## 6 月 21 日 奄美大島近海の地震

震央分布図  
 (1994 年 10 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～60km、 $M \geq 3.0$ )  
 2013 年 6 月の地震を濃く表示



領域 a 内の  $M 5.0$  以上の地震と今回の地震に吹き出しをつけた

震央分布図  
 (1923 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
 深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )



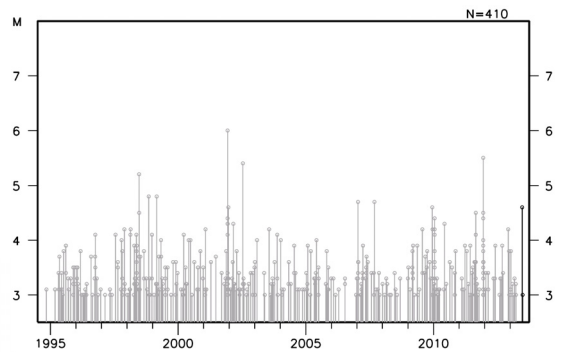
領域 b 内の  $M 6.0$  以上の地震に吹き出しをつけた

2013 年 6 月 21 日 16 時 31 分に奄美大島近海の深さ 22km で  $M 4.6$  の地震（最大震度 4）が発生した。

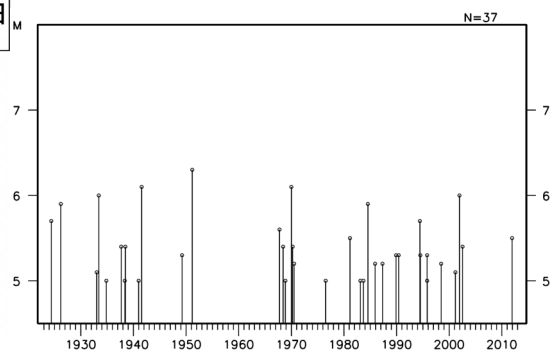
1994 年 10 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）は、地震活動が活発な領域で、 $M 4.0$  以上の地震がしばしば発生している。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、 $M 6.0$  以上の地震が 5 回発生している。そのうち 1970 年 1 月 1 日に発生した  $M 6.1$  の地震では、負傷者 5 人、住家一部破損 1,462 棟などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図



領域 b 内の M-T 図



## ○沖縄地方の地震活動

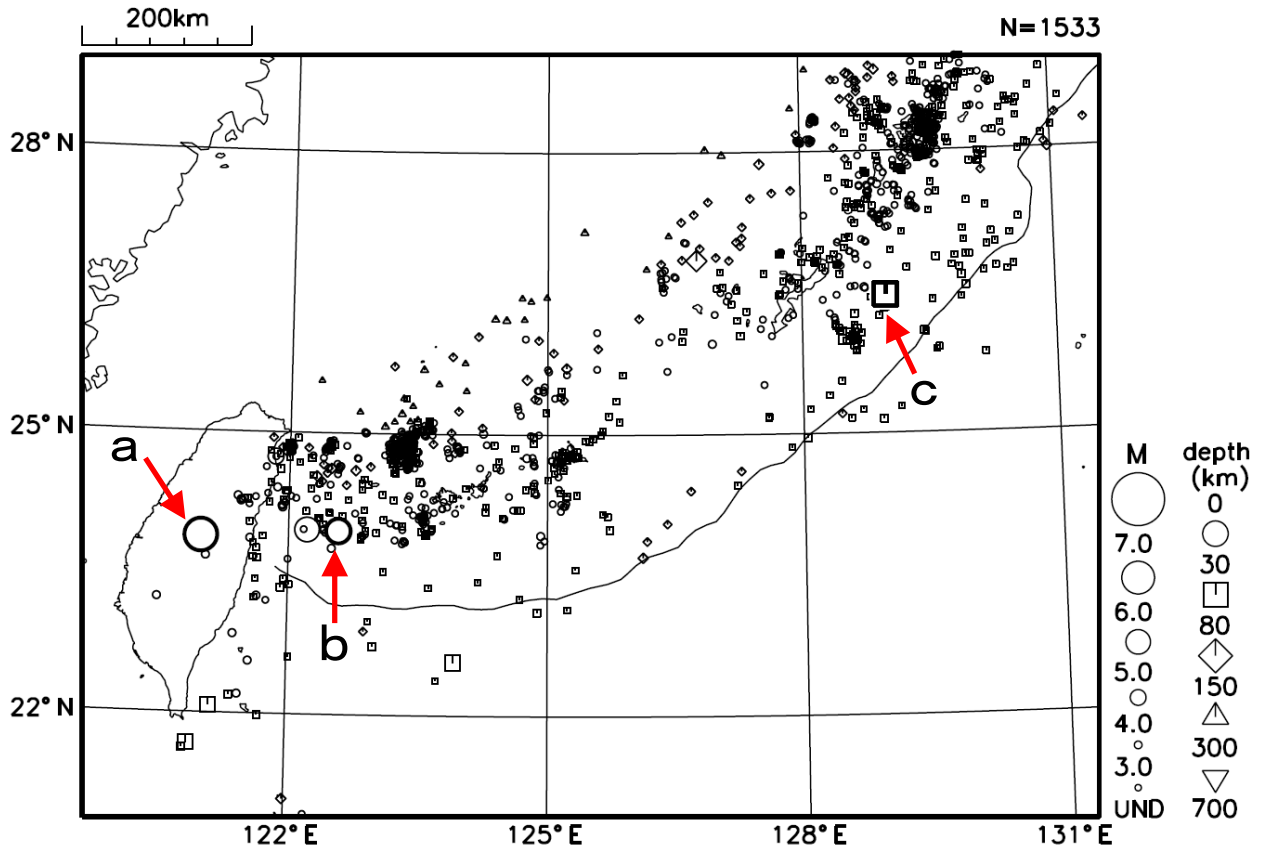


図9 沖縄地方の震央分布図（2013年6月1日～6月30日）

### [概況]

6月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は7回（5月は8回）であった。6月中の主な活動は次のとおりである。

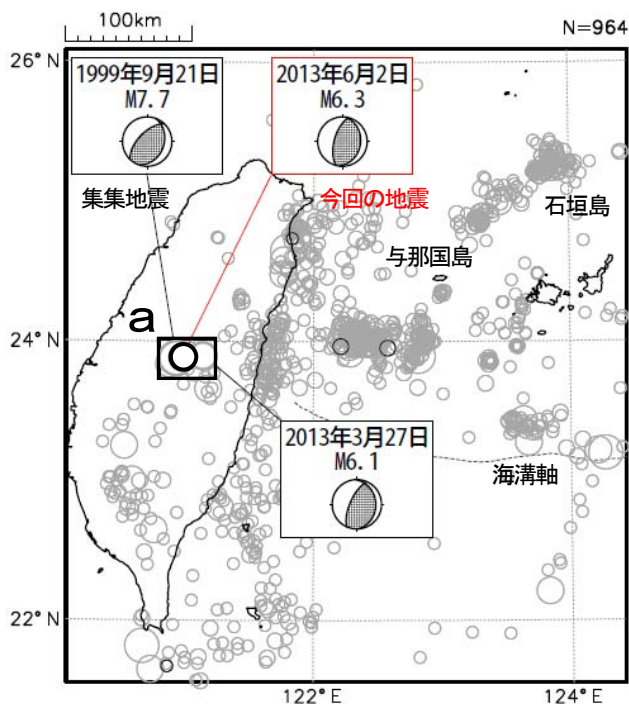
2日14時43分に台湾付近（台湾中部）でM6.3の地震（図9中のa）が発生し、沖縄県竹富町（黒島）で震度1を観測した（p. 4、24参照）。

8日01時38分に与那国島近海の深さ25kmでM5.8の地震（図9中のb）が発生し、沖縄県与那国町（与那国島）で震度3を観測したほか、八重山地方で震度1を観測した（p. 6、25参照）。

13日22時24分に沖縄本島近海でM5.8の地震（図9中のc）が発生し、鹿児島県与論町（与論島）で震度3を観測したほか、奄美群島から沖縄本島地方にかけて震度2～1を観測した（p. 6、26参照）。

## 6月2日 台湾付近の地震

震央分布図  
 (1997年10月1日～2013年6月30日、  
 深さ0～50km、 $M \geq 4.0$ )  
 2013年6月の地震を濃く表示  
 図中の発震機構はCMT解

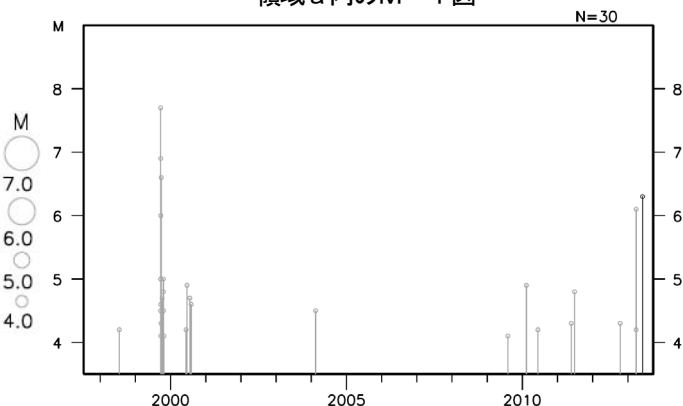


2013年6月2日14時43分に台湾付近（台湾中部）でM6.3の地震が発生した。この地震により、日本国内で最大震度1を観測した。

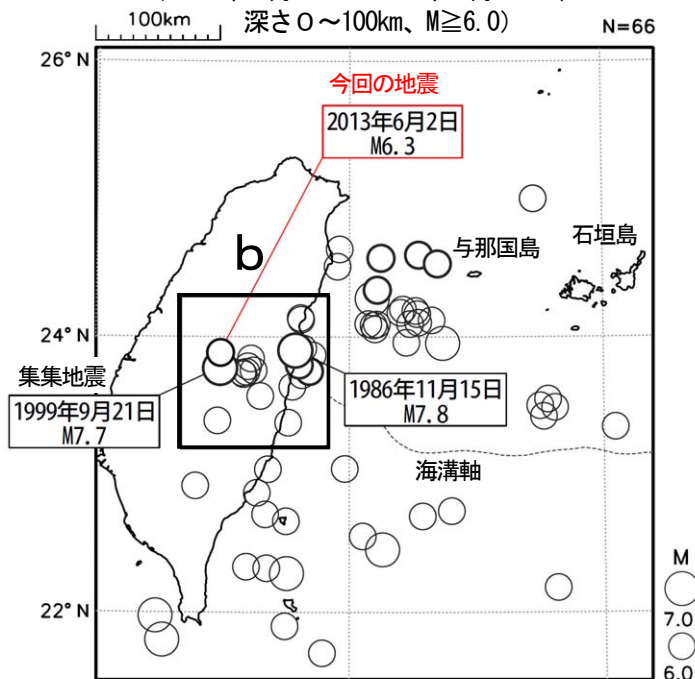
この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、台湾で死者4人、負傷者21人、建物被害90棟の被害が生じた（被害は米国地質調査所[USGS]による）。

1997年10月以降の活動を見ると、この地震の震央付近（領域a）では、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生している。また、2013年3月27日には、M6.1の地震（日本国内で震度1以上の観測なし）が発生している。

領域a内のM-T図



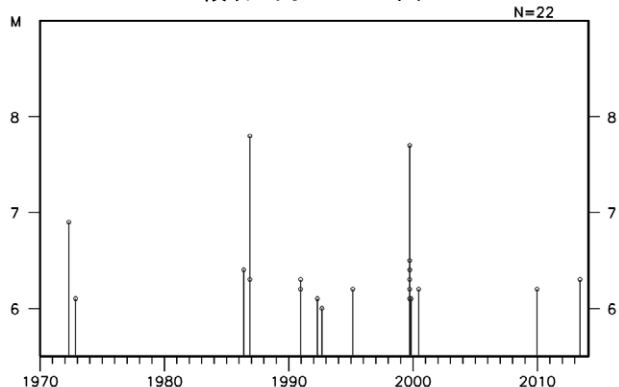
震央分布図  
 (1970年1月1日～2013年6月30日、  
 深さ0～100km、 $M \geq 6.0$ )  
 N=66



今回の地震の震源要素は気象庁による。  
 その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生し、宮古島平良で30cmの津波を観測した。この地震により、台湾で死者13人、負傷者45人の被害が生じた。また、1999年9月21日に発生したM7.7の集集地震では、台湾で死者2,413人、負傷者8,700人の被害が生じた（マグニチュードは米国地質調査所[USGS]、被害は「宇津の世界被害地震の表」による）。

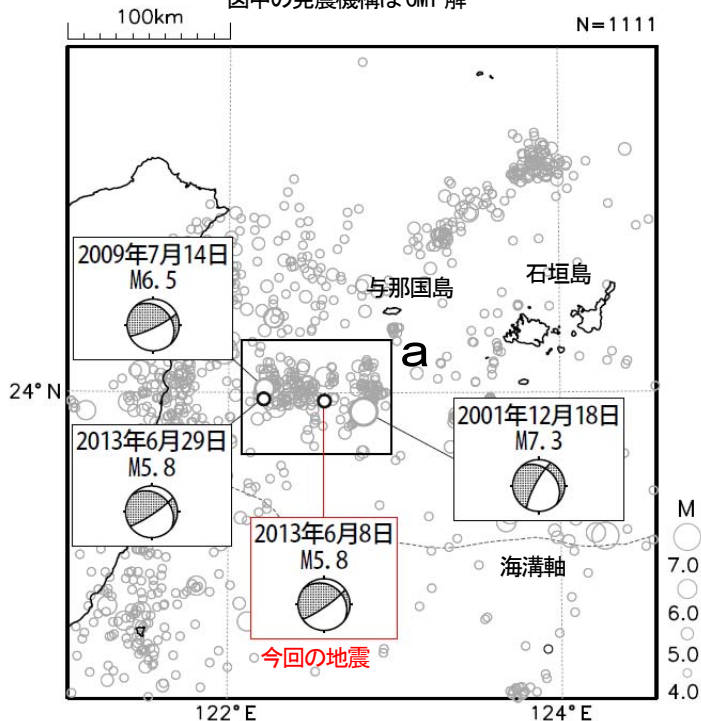
領域b内のM-T図



## 6 月 8 日 与那国島近海の地震

震央分布図

(2000 年 7 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 4.0$ )  
2013 年 6 月の地震を濃く表示  
図中の発震機構は CMT 解

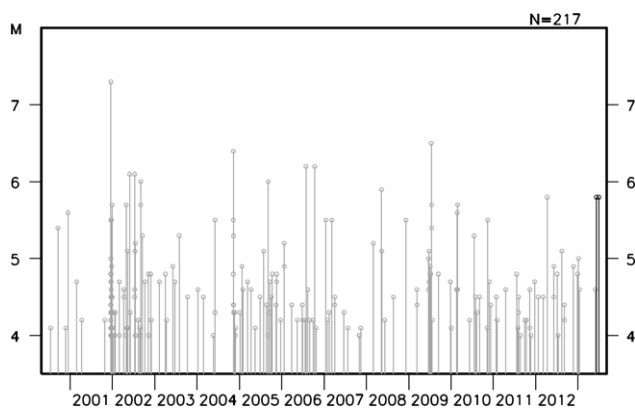


2013年 6 月 8 日 01 時 38 分に与那国島近海（与那国島の南西約 70km）の深さ 25km で  $M 5.8$  の地震（最大震度 3）が発生した。発震機構（CMT 解）は、北北西—南南東方向に圧力軸を持つ型であった。

なお、6 月 29 日にも、今回の地震の震央から西に約 40km の台湾付近で  $M 5.8$  の地震（最大震度 2）が発生している。

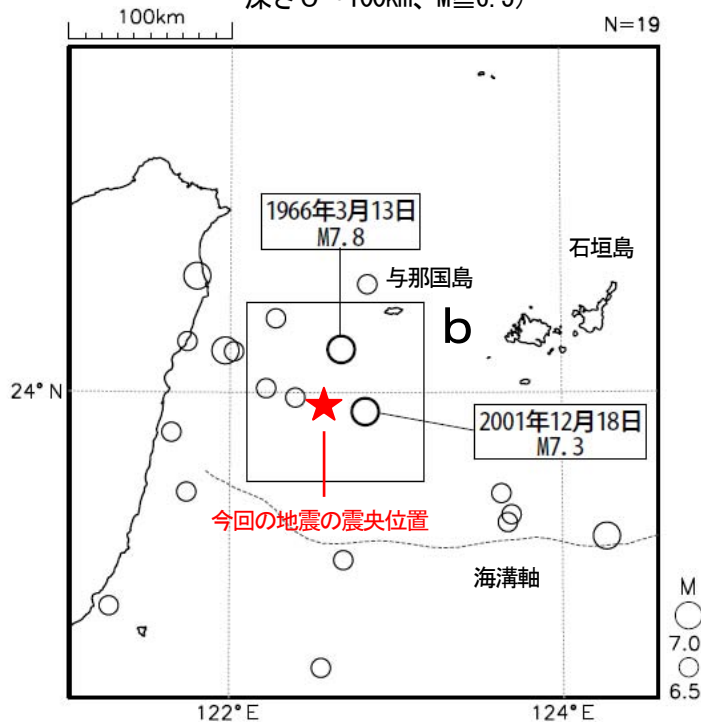
2000 年 7 月以降の地震活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、2001 年 12 月 18 日に発生した  $M 7.3$  の地震（最大震度 4）により与那国島で 12cm、石垣島で 4cm の津波を観測している。また、2009 年 7 月 14 日にも  $M 6.5$  の地震（最大震度 3）が発生している。

領域 a 内の M-T 図



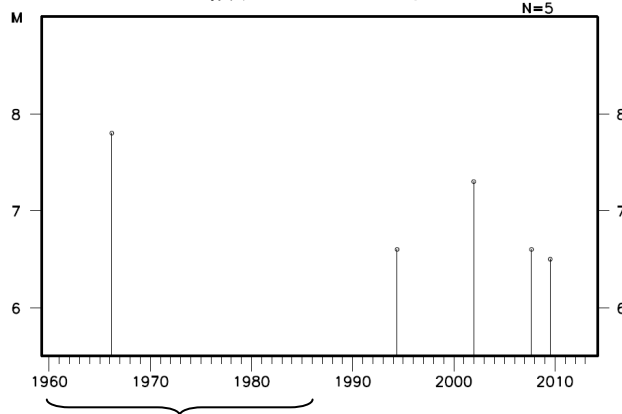
震央分布図

(1960 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 6.5$ )



1960 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、2001 年 12 月 18 日を含め  $M 7.0$  以上の地震が 2 回発生している。1966 年 3 月 13 日の  $M 7.8$  の地震（最大震度 5）では、与那国島で死者 2 名、家屋全壊 1 棟、半壊 3 棟などの被害が生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

領域 b 内の M-T 図

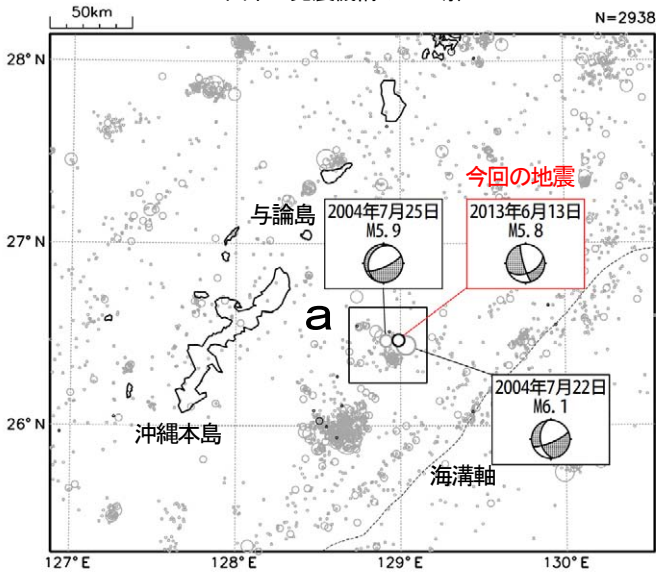


(この期間は検知能力が低い)

# 6 月 13 日 沖縄本島近海の地震

震央分布図

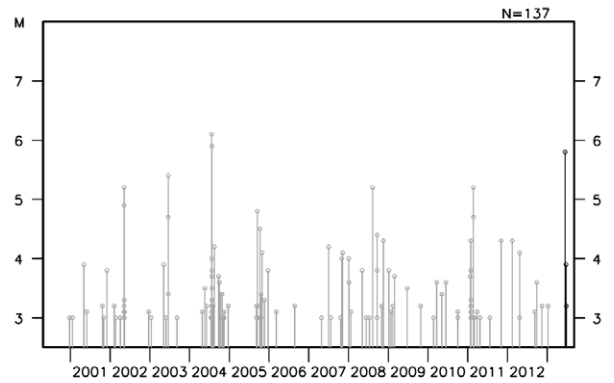
(2000 年 7 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$ )  
2013 年 6 月の地震を濃く表示  
図中の発震機構は GMT 解



2013年6月13日22時24分に沖縄本島近海（沖縄本島の東方沖）でM5.8の地震（最大震度3）が発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

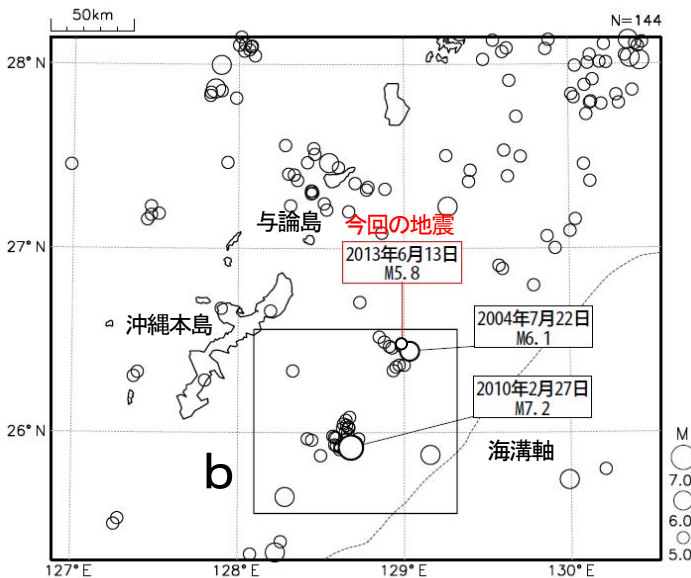
2000年7月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M5.0を超える地震が時々発生しており、2004年7月22日にM6.1（最大震度3）、7月25日にM5.9の地震（最大震度2）が発生している。

領域 a 内の M-T 図



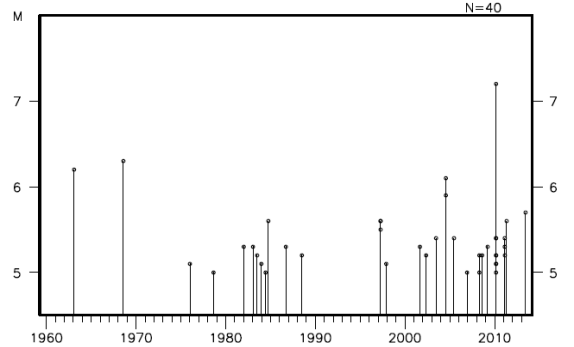
震央分布図

(1960 年 1 月 1 日～2013 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )



1960年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生している。2010年2月27日に発生したM7.2の地震（最大震度5弱）では、負傷者2人、住家の一部破損などの被害が生じた（総務省消防庁による）。また、この地震により、南城市安座真で10cm、南大東島で微弱な津波を観測した。

領域 b 内の M-T 図



（この期間は検知能力が低い）

## ○その他の地域の地震活動

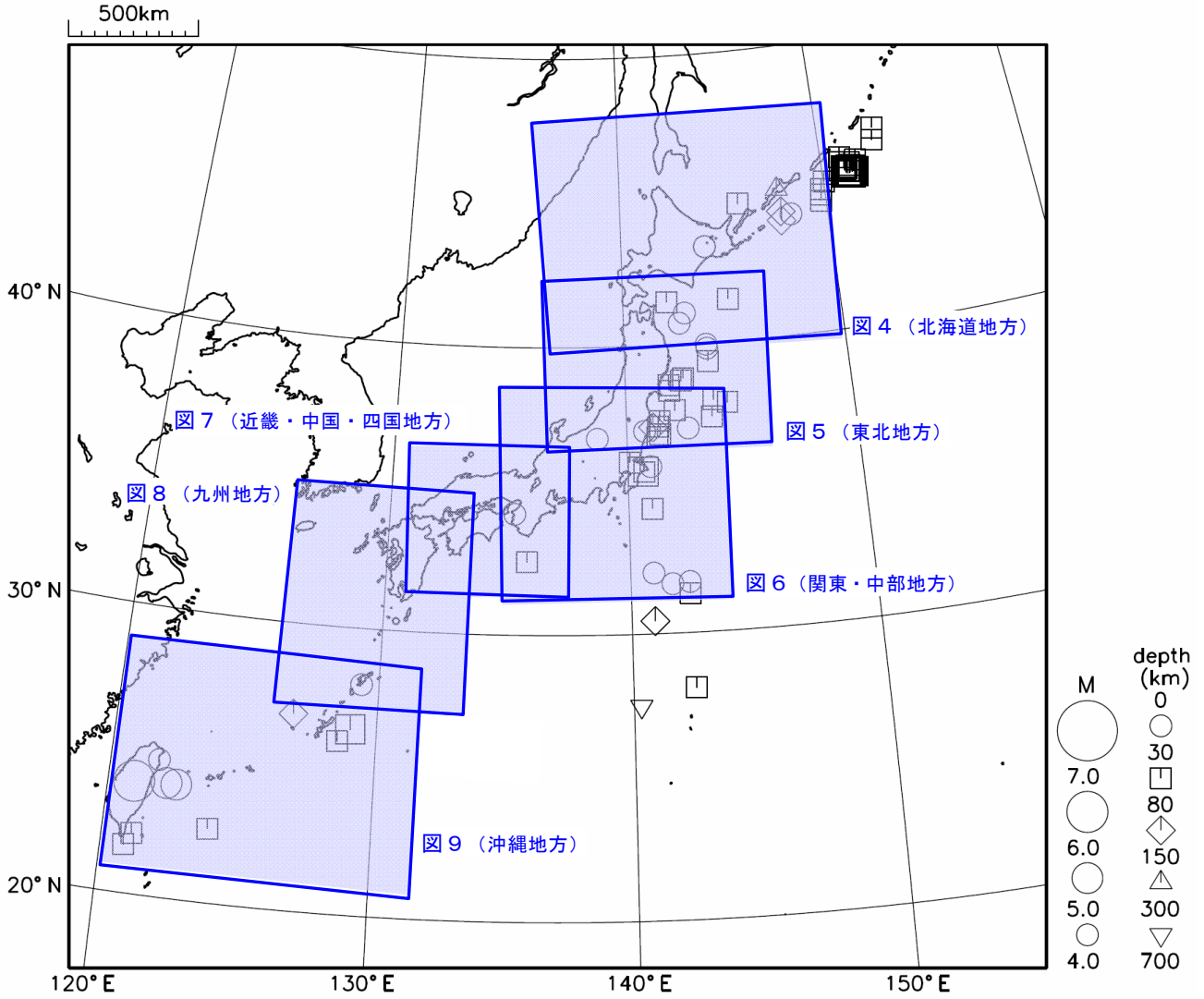


図 10 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2013 年 6 月 1 日～6 月 30 日、 $M \geq 4.0$ ）

### [概況]

6 月に日本周辺で発生した  $M6.0$  以上の地震は 1 回（5 月は 1 回）であった。  
6 月中、図 4～9 の領域外で特に目立った活動はなかった。

## ●東海地震の想定震源域及びその周辺の地震活動

### [概況]

特に目立った地震活動はなかった。

### [地震防災対策強化地域判定会検討結果]

6月24日に気象庁において第326回地震防災対策強化地域判定会(定例)を開催し、気象庁は「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」として次の調査結果を発表した(図2～図7)。

現在のところ、東海地震に直ちに結びつくと思われる変化は観測されていません。

#### 1. 地震活動の状況

静岡県中西部の地殻内では、全体的にみて、2005年中頃からやや活発な状態が続いています。浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、引き続き地震の発生頻度のやや少ない状態が続いています。

その他の領域では概ね平常レベルです。

なお、6月12日に愛知県のプレート境界付近において深部低周波地震が観測されました。

#### 2. 地殻変動の状況

全般的に注目すべき特別な変化は観測されていません。

G N S S 観測及び水準測量の結果では、御前崎の長期的な沈降傾向は継続しています。更に、傾斜計、ひずみ計等の観測結果を含めて総合的に判断すると、東海地震の想定震源域におけるフィリピン海プレートと陸のプレートとの固着状況の特段の変化を示すようなデータは、現在のところ得られていません。

なお、6月11日から12日にかけて、愛知県のプレート境界付近に生じた「短期的ゆっくりすべり」に起因するとみられる地殻変動が周辺のひずみ計で観測されました。

また、G N S S 観測の結果によると、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による余効変動が、小さくなりつつありますが東海地域においてもみられています。

(余効変動とは大きな地震が発生した後にその震源域周辺で見られるゆっくりとした地殻変動)

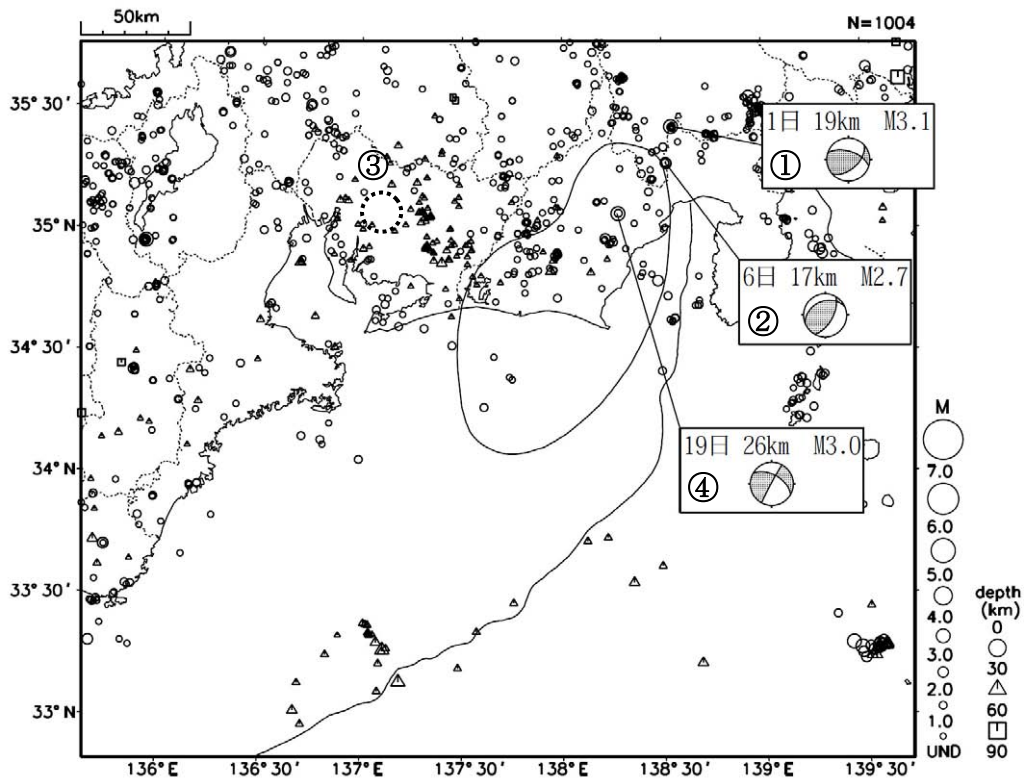


図1 震央分布図(2013年6月1日～30日:深さ0～90km、Mすべて。図中のナス型の領域は東海地震の想定震源域。)

- ① 1 日 22 時 21 分に山梨県中・西部の深さ 19km で M3.1 の地震（最大震度 1）が発生した。この地震の発震機構は、南北方向に圧力軸を持つ型である。
- ② 6 日 13 時 49 分に山梨県中・西部の深さ 17km で M2.7 の地震（最大震度 1）が発生した。この地震の発震機構は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。
- ③ 12 日に愛知県西部を震央とする深部低周波地震を観測した。
- ④ 19 日 16 時 09 分に静岡県中部の深さ 26km で M3.0 の地震（最大震度 1）が発生した。この地震の発震機構は、東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。
- 注：本文中の番号は、図 1 中の数字に対応する。

**【東海地域の地震活動の頁で使われる用語】**

・「想定震源域」（図 1）と「固着域」（図 2）

東海地震発生時には、「固着域」（プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域）あるいはその周辺の一部からゆっくりにずれ（前兆すべり）が始まり、最終的には「想定震源域」全体が破壊すると考えられている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」（図 2）

地震は時間空間的に群（クラスタ：cluster）をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。図 2 の静岡県中西部の場合、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」（図 2）

主に浜名湖周辺下のフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で、2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生していたとされているゆっくりとしたすべり。過去にも何回か同様の現象が発生していたと考えられている。

・「深部低周波地震」（図 4～図 6）

深さ約 30km～40km で発生する、長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる「深部低周波地震」の震央分布が見られる。「深部低周波地震」の活動が観測されるときは、ほぼ同時に数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されることが多い。「短期的ゆっくりすべり」は、「深部低周波地震」の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。

・「GNSS 観測」（検討結果および図 7）

GPS をはじめとする衛星測位システム全般をしめす呼称である。

なお、地震活動および地殻活動の解析には Hirose *et al.* (2008)\* によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

\*Hirose, F., J. Nakajima, and A. Hasegawa (2008), Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, *J. Geophys. Res.*, 113, B09315, doi:10.1029/2007JB005274.

大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和 53 年（1978 年）12 月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」（以下、「強化地域」という。）として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講じることとしている。強化地域は平成 14 年（2002 年）4 月に見直しが行われ、現在、静岡県全域と東京都、神奈川・山梨・長野・岐阜・愛知及び三重の各県にまたがる 157 市町村（平成 24 年 4 月現在）が強化地域に指定されている。強化地域では、マグニチュード 8 クラスと想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度 6 弱以上（一部地域では震度 5 強程度）になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

気象庁では、いつ発生してもおかしくない状態にある「東海地震」を予知すべく、東海地域の地震活動や地殻変動等の状況を監視している。また、これらの状況を定期的に評価するため、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を取りまとめたコメント「最近の東海地域とその周辺の地震・地殻活動」（前頁参照）を発表している。



# 東海地域の地震活動指数

（クラスタを除いた地震回数による）

2013年6月19日 現在

	① 静岡県中西部		② 愛知県		③ 浜名湖周辺			④ 駿河湾	
	地殻内	フィリ ピン海 プレート	地殻内	フィリ ピン海 プレート	フィリピン海プレート内 全域	西側	東側	全域	余震 除去
短期活動指数	4	4	1	5	1	3	1	7	4
短期地震回数 （平均）	5 (5.29)	5 (7.00)	6 (13.16)	17 (14.15)	1 (6.16)	1 (2.46)	0 (3.70)	10 (6.06)	4 (3.97)
中期活動指数	5	3	4	4	0	3	0	8	5
中期地震回数 （平均）	19 (15.87)	16 (21.00)	36 (39.48)	41 (42.44)	3 (12.32)	3 (4.93)	0 (7.39)	21 (12.12)	9 (7.93)

\* Mしきい値： 静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：M≥1.1、駿河湾：M≥1.4

\* クラスタ除去：震央距離がΔr以内、発生時間差がΔt以内の地震をグループ化し、最大地震で代表させる。

静岡県中西部、愛知県、浜名湖周辺：Δr=3km、Δt=7日

駿河湾：Δr=10km、Δt=10日

\* 対象期間： 静岡県中西部、愛知県：短期30日間、中期90日間

浜名湖周辺、駿河湾：短期90日間、中期180日間

\* 基準期間： おおむね長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）発生前の地震活動を基準とする。

静岡県中西部、愛知県：1997年－2001年（5年間）、

浜名湖周辺：1998年－2000年（3年間）、駿河湾：1991年－2000年（10年間）

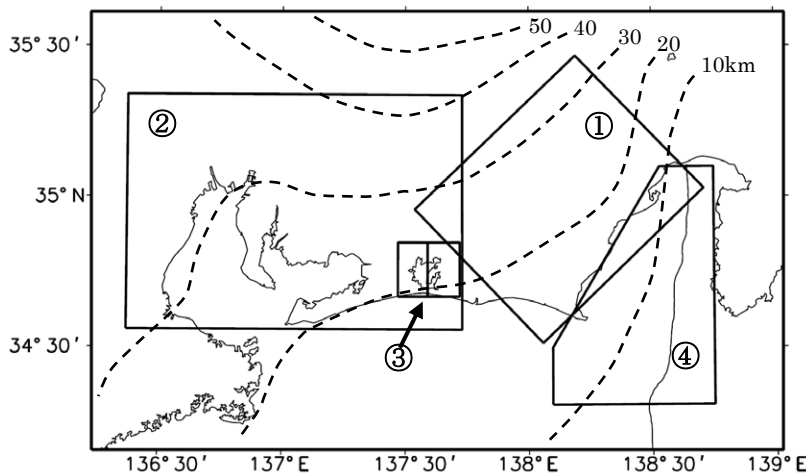
[各領域の説明] ① 静岡県中西部：プレート間が強く「くっついている」と考えられている領域（固着域）。

② 愛知県：フィリピン海プレートが沈み込んでいく先の領域。

③ 浜名湖周辺：固着域の縁。長期的スロースリップ（ゆっくり滑り）が発生する場所であり、同期して地震活動が変化すると考えられている領域。

④ 駿河湾：フィリピン海プレートが沈み込み始める領域。

余震除去：2009年8月11日の駿河湾の地震（M6.5）と2011年8月1日の駿河湾の地震（M6.2）の余震域の活動を除いて活動指数を求めた場合。



\* Hirose et al. (2008) によるプレート境界の等深線を破線で示す

指数	確率 (%)	地震数
8	1	多い
7	4	
6	10	
5	15	ほぼ平常
4	40	
3	15	やや少ない
2	10	
1	4	
0	1	少ない

図 2 東海地域の地震活動指数

## 地震活動指数の推移（中期活動指数）

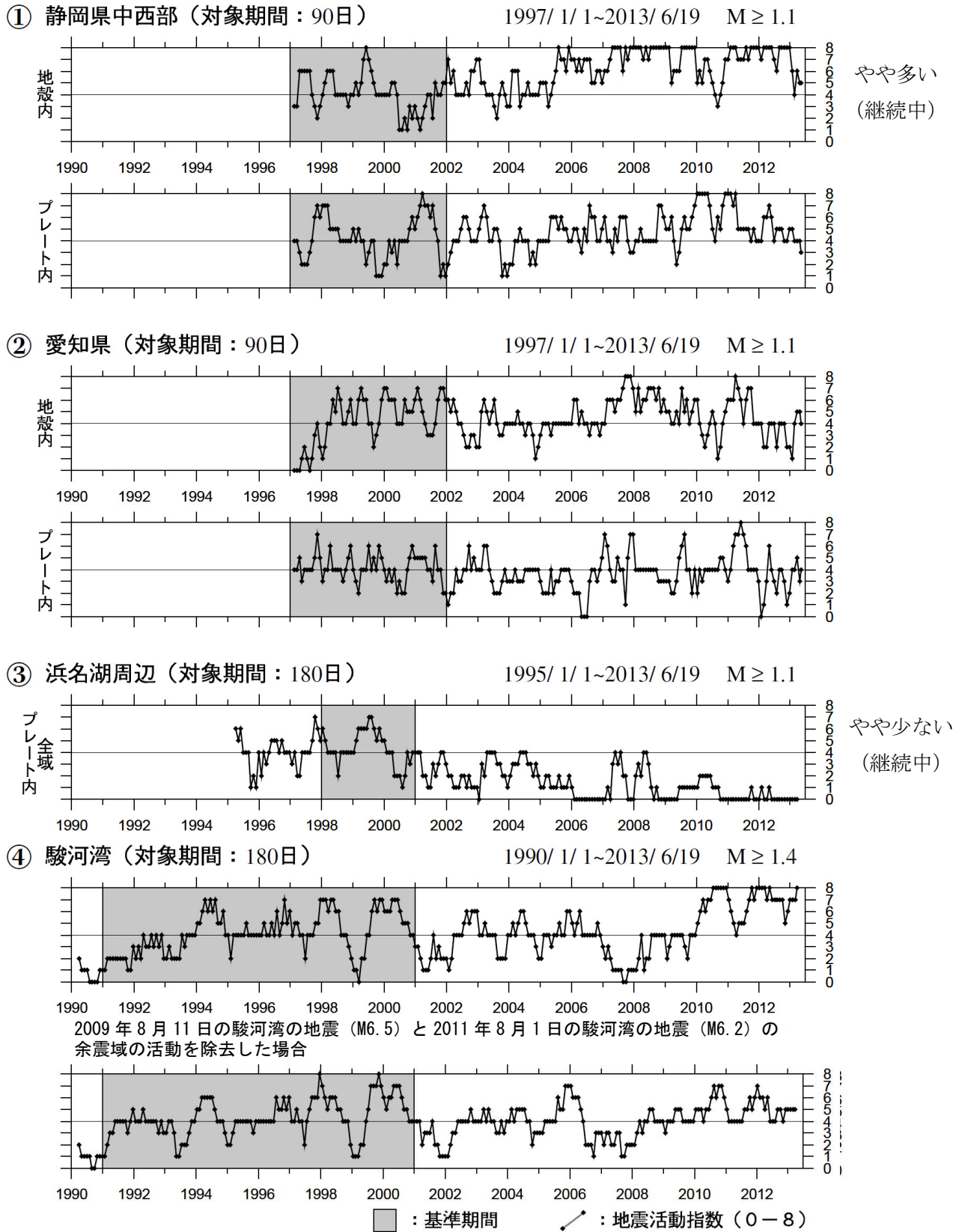


図3 東海地域の地震活動指数の推移

静岡県中西部の地殻内では、2005年中頃から地震活動がやや活発な状態が続いている。また、浜名湖周辺のフィリピン海プレート内では、地震の発生頻度がやや少ない。その他の地域では概ね平常レベルである。

深部低周波地震は、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと同期して発生している地震で、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

深部低周波地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~ 2013 年 6 月 19 日)

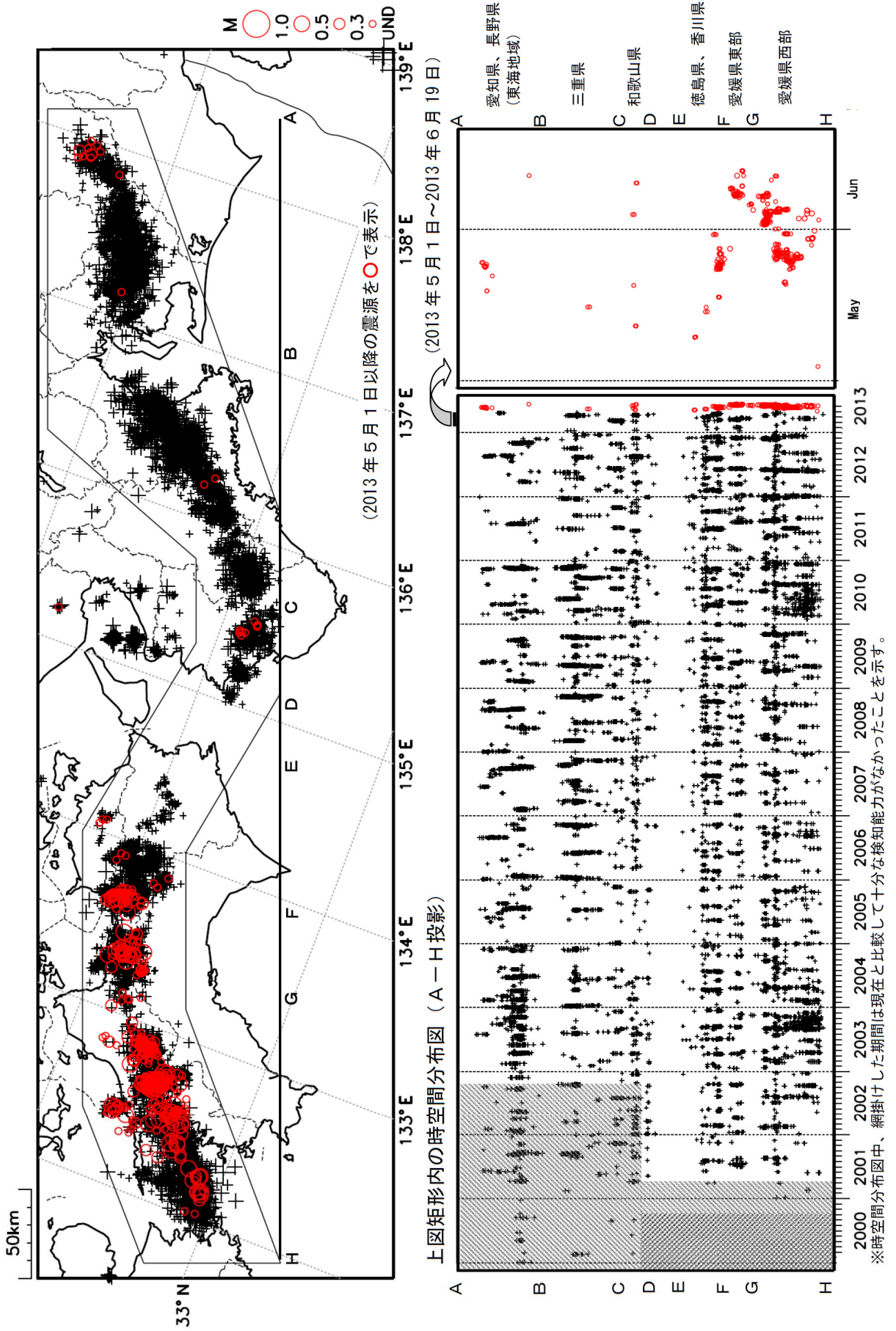
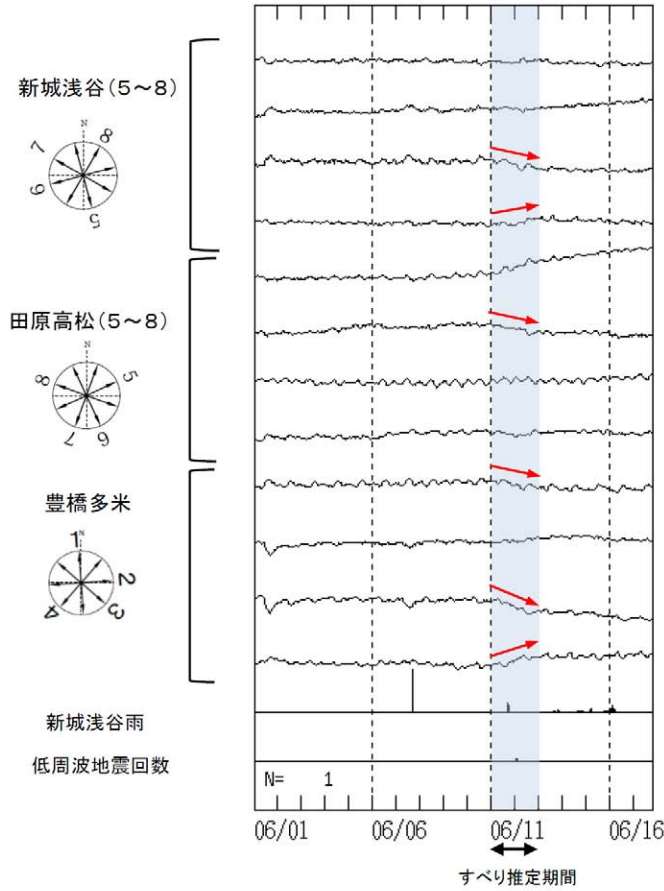


図 4 深部低周波地震活動(2000 年 1 月 1 日 ~ 2013 年 6 月 19 日)

多成分ひずみ

2013/06/01 00:00 -- 2013/06/17 19:00

EXP. | 1.E-7 strain  
20 hPa  
30 mm/1hour  
200 nT



豊橋多米は、産業技術総合研究所のひずみ計である。

図5 愛知県付近におけるひずみ変化（6月1日～17日）

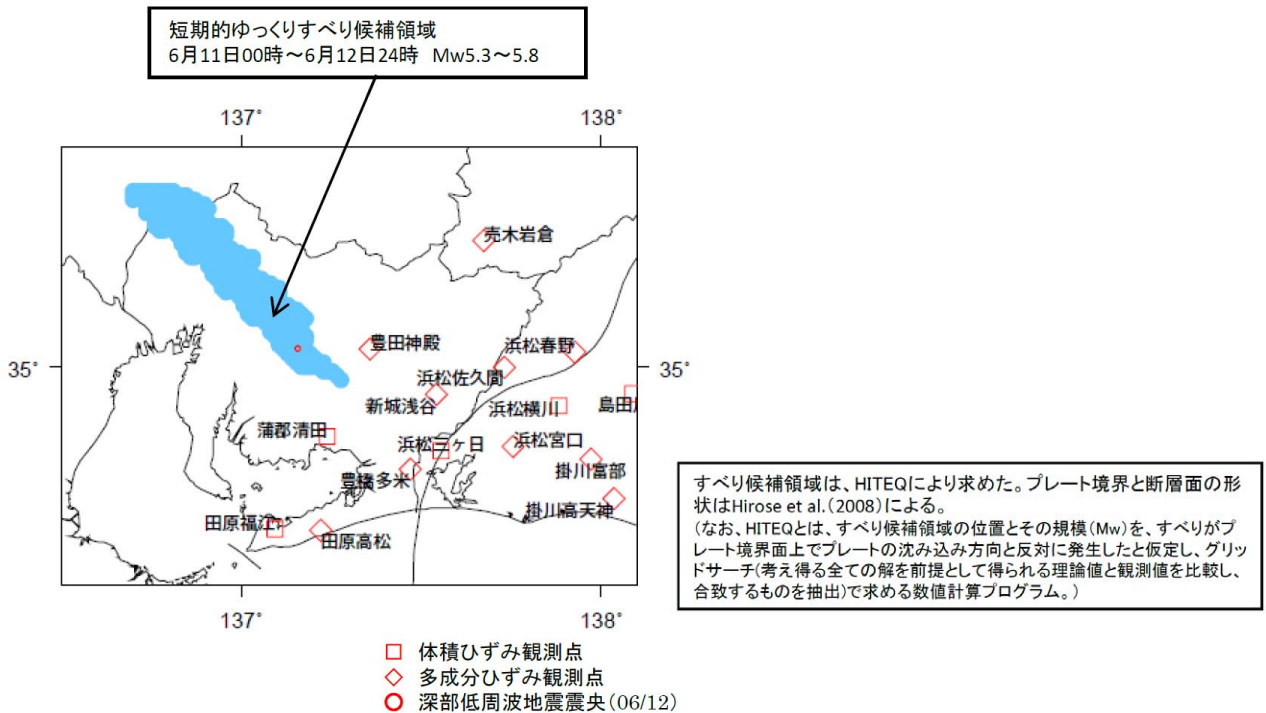
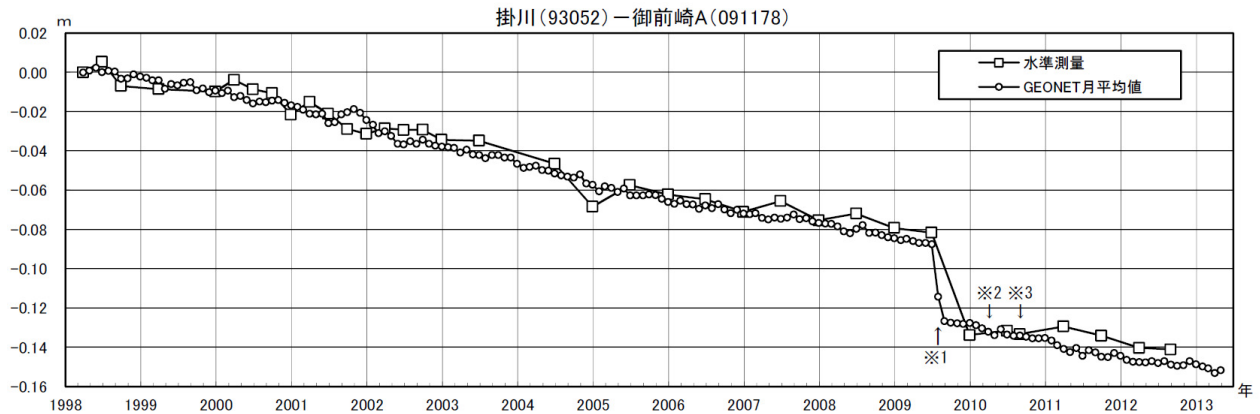


図6 ひずみ変化から推定されるすべり領域

## 御前崎 電子基準点の上下変動

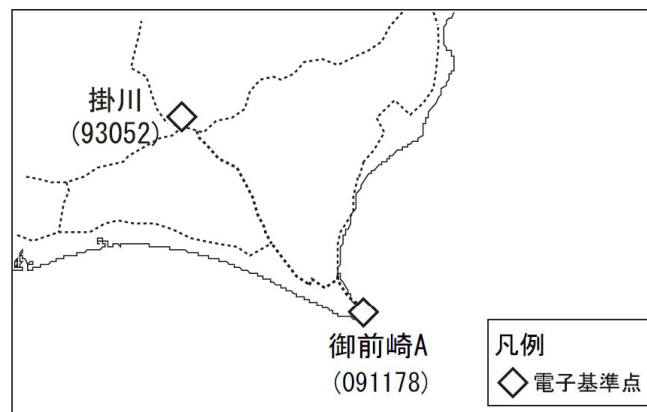
### 水準測量と G N S S 観測の比較

掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。



※1 電子基準点「御前崎」は2009年8月11日の駿河湾を震源とする地震(M6.5)に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。  
 ※2 2010年4月以降は、電子基準点「御前崎」を、より地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎A」とした。  
 上記グラフは、電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎A」のデータを接続して表示している。  
 ※3 水準測量の結果は、移転後初めて変動量が計算できる2010年9月から表示。

### 位置図



国土地理院資料

図7 国土地理院のGNSS観測結果および水準測量による御前崎の上下変動

掛川から見た御前崎の上下変動を示したものである。掛川に対して御前崎が沈降するという長期的な傾向に変化は見られない。

## ● 日本の主な火山活動

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火の発生はなかった。火山性地震は少ない状態で経過し、地殻変動観測に特段の変化はなかった。新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いている。しかし、火口には多量の溶岩が溜まっており、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できない。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しており、新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要である。

桜島では、爆発的噴火を含む噴火活動が継続した。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しており、昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要である。

薩摩硫黄島では、3 日から 5 日にかけて硫黄岳でごく小規模な噴火が時々発生した。これに伴い、4 日 09 時 50 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。6 日以降、降灰は確認されておらず、火山性地震も少ない状態で経過した。硫黄岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う大きな噴石に警戒が必要である。風下側では降灰に注意が必要である。火山周辺では、火山ガスに注意が必要である。

十勝岳では、9 日 20 時 30 分頃から 23 時 10 分頃にかけて、大正火口付近が高感度カメラで明るく見える現象が観測された。同現象は火口内での高温の火山ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定される。この現象の前後で、その他の観測データに特段の変化はなかった。火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められないが、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

八甲田山では、東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過している。また、2013 年 2 月以降、山頂付近が震源と考えられる火山性地震が散発的に発生している。山頂付近の地震活動は、4 月下旬以降、やや増加傾向となっており、今期間もやや多い状況で経過した。山体周辺の地殻変動観測では 2013 年 2 月頃以降、小さな膨張性の地殻変動がみられる。表面現象に変化はみられないが、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

6 月 30 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおり。

表 1 6 月 30 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況  
（※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中。）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（平常）	雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島
	平常	上記以外の活火山

\* 噴火警戒レベルは、その活用が地域防災計画等で予め定められており、レベル毎の防災対応がキーワードで示されている。



図 1 6 月 30 日現在、噴火警報及び火山現象に関する海上警報発表中の火山

表 2 平成 25 年 6 月の警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	噴火警報及び 噴火予報の状況	発表した火山現象に関する警報・予報・情報		概 要
		種類、号数等	発表日時	
十勝岳	噴火予報（平常）	火山活動解説資料	9 日 22 時 15 分	20 時 30 分頃から、大正火口付近 が高感度カメラで明るく見える 現象を観測したことについて
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報第 30～32 号、 34 号	3 日、10 日、17 日、 24 日 16 時 00 分	噴煙、地震回数等火山活動の状況
		解説情報第 33 号	18 日 18 時 00 分	18 日に開催された第 126 回火山 噴火予知連絡会での検討結果
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	降灰予報	13 日 09 時 25 分 13 日 13 時 50 分	13 日 08 時 58 分と 13 時 26 分に 発生した噴火に伴い、降灰が予想 される地域を発表
		解説情報第 45 号～52 号	3 日、7 日、10 日、 14 日、17 日、21 日、 24 日、28 日 16 時 00 分	噴煙、地震回数等火山活動の状況
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	火口周辺警報	4 日 09 時 50 分	4 日明け方に噴火が発生し、今後 火口周辺に影響を及ぼす噴火が 発生すると予想されたため、噴火 警戒レベルを 1（平常）から 2（火 口周辺規制）に引き上げ
		解説情報第 1， 2 号	4 日 11 時 10 分 5 日 16 時 00 分	噴火の状況、及び地震回数等火山 活動の状況
		解説情報第 3～7 号	6 日、7 日、10 日、 17 日、24 日 16 時 00 分	噴煙、地震回数等火山活動の状況
		火山活動解説資料	4 日 16 時 30 分	噴火の状況、及び第十管区海上保 安本部の協力を得て実施した上 空からの観測結果等
			17 日 18 時 50 分	13 日に、九州地方整備局が撮影 した映像を解析したところ、硫黄 岳東側斜面上部の噴気孔が拡大 しているのを確認したことにつ いて

注) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。  
三宅島においては毎日 07 時と 17 時に火山ガス予報を発表している。

## 各火山の 6 月の活動解説

### 【北海道地方】

#### 十勝岳としかちだけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

9 日 20 時 30 分頃から 23 時 10 分頃にかけて、大正火口付近が高感度カメラで明るく見える現象が観測された。この現象は高温ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定される。

ここ数年、山体浅部の膨張や大正火口の噴煙量増加及び地震増加などが観測されているほか、山麓の温泉成分にわずかな変化が認められているため、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 樽前山たるまえざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

A 火口、B 噴気孔群及び H 亀裂では高温の状態が続いているので、突発的な火山ガス等の噴出に注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

アトサヌプリ [噴火予報（平常）]

雌阿寒岳めあかんだげ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

大雪山たいせつざん [噴火予報（平常）]

倶多楽くつたら [噴火予報（平常）]

有珠山うすざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

北海道駒ヶ岳ほっかいどうこまがたけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

恵山えざん [噴火予報（平常）]

### 【東北地方】

#### 八甲田山はっこうだざん [噴火予報（平常）]

東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過している。また、2013 年 2 月以降、山頂付近が震源と考えられる火山性地震が散発的に発生し、4 月下旬以降はやや増加傾向となっている。

山体周辺の地殻変動観測では、2013 年 2 月頃以降、小さな膨張性の地殻変動がみられる。

表面現象に変化はみられないが、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 岩手山いわてざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山性地震は少ない状況となった。

地殻変動の状況等にも特段の変化は認められず、噴火の兆候は認められない。

#### 秋田駒ヶ岳あきたこまがたけ [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

女岳めだけでは噴気地熱域が引き続き認められる。

火山性地震は少ない状況で経過し、地殻変動の状況等にも特段の変化は認められない。ただちに噴火する兆候は認められないが、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 蔵王山ざおうざん [噴火予報（平常）]

4 日に火山性微動が発生したが、地震活動や地殻変動等に特段の変化はみられない。

ただちに噴火する兆候は認められないが、今後の火山活動の推移に注意が必要である。

#### 吾妻山あづまやま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

大穴火口の噴気活動はやや活発な状態が続いているが、火山性地震は観測されなかった。

ただちに噴火する兆候は認められないが、火口内では火山ガスの噴出が引き続きみられるので警戒が必要である。また、風下側では、火山ガスに注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

岩木山いわきざん [噴火予報（平常）]

秋田焼山あきたやけやま [噴火予報（平常）]

鳥海山ちょうかいざん [噴火予報（平常）]

栗駒山くりこまやま [噴火予報（平常）]

安達太良山あだたらやま [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

磐梯山ばんだいざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

### 【関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島】

#### 草津白根山くまつしらねざん [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

地震活動や地殻変動には特段の変化はみられなかったが、湯釜火口内の北壁等では引き続き熱活動がみられている。

山頂火口から概ね 500m の範囲では、火山灰の噴出等に警戒が必要である。また、ところどころで火山ガスの噴出が見られ、周辺の窪地や谷などでは滞留した火山ガスが高濃度になるこ



とがあるので、注意が必要である。

#### あさまやま 浅間山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、山頂火口から 500m を超える範囲に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。ただし、山頂火口から 500m 以内に影響する程度の噴出現象は突発的に発生する可能性があるため、火山灰の噴出や火山ガス等に警戒が必要である。

#### みだかはら 弥陀ヶ原 [噴火予報（平常）]

東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）以降、弥陀ヶ原周辺では地震活動が活発な状態となり、2011 年 10 月から 11 月には、さらに活発化した。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続している。一方、弥陀ヶ原近傍の地震は少ない状態で経過した。

立山地獄谷では以前から熱活動が活発に継続しており、この付近では火山ガスが高濃度になることがあるため、注意が必要である。

#### ふじさん 富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

2011 年 3 月 15 日に静岡県東部（富士山の南部付近）で発生したマグニチュード 6.4 の地震以降、地震活動が活発な状況となっていたが、その後、地震活動は低下してきている。その他の観測データでも浅部の異常を示すものはない。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められない。

#### いずおしま 伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

GPS による観測では、地下深部へのマグマの注入によると考えられる島全体の長期的な膨張傾向が続いているが、2011 年頃から鈍化してきている。その他の観測データには、活動状態の変化を示すデータはみられない。火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められない。

#### みやけしま 三宅島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

三宅島の火山活動に特段の変化は認められない。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるため、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に警戒が必要である。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるためと予想される地域では火山ガスに警戒が必要である。

#### いおうとう 硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報]

16 日に一時的な火山性地震の増加がみられた。その他の観測データに特段の異常は認められなかった。

国土地理院の観測によると、地殻変動は 2013 年 4 月頃からほぼ停滞していたが、5 月頃から隆起の傾向がみられている。

硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生している。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されるため、従来から小規模な噴火が発生した地点（旧噴火口等）及びその周辺では噴火に警戒が必要である。

#### ふくとくおかのぼ 福德岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報]

海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されている。

今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されるため、周辺海域では噴火に警戒が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

なすだけ 那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

にっこうしらねさん 日光白根山 [噴火予報（平常）]

にいがたやけやま 新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

やけだけ 焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

のりくらだけ 乗鞍岳 [噴火予報（平常）]

おんたけさん 御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

はくさん 白山 [噴火予報（平常）]

はこねやま 箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

いずとうぶかざんぐん 伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

にいじま 新島 [噴火予報（平常）]

こうづしま 神津島 [噴火予報（平常）]

はちじょうじま 八丈島 [噴火予報（平常）]

あおがしま 青ヶ島 [噴火予報（平常）]

## 【九州地方及び南西諸島】

### 阿蘇山<sup>あそさん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

中岳第一火口の火山活動は、わずかに高まった状態で経過していることから、今後の火山活動の推移には注意する必要があるが、今のところ噴火の兆候は認められない。

火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

### 霧島山<sup>きりしまやま</sup>（新燃岳<sup>しんもえだけ</sup>） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

新燃岳では、今期間、噴火の発生はなかった。

火山性地震は少ない状態で経過し、地殻変動観測の状況などに特段の変化はなかった。

新燃岳の北西数 km の地下深くのマグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止した状態が続いている。しかし、現在でも火口には高温の溶岩が溜まっており、引き続き、小規模な噴火が発生する可能性は否定できない。

新燃岳火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>7)</sup> に警戒が必要である。噴火時には、風下側で火山灰だけではなく小さな噴石<sup>7)</sup>（火山れき）が風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

噴火警報や霧島山上空の風情報に留意が必要である。

降雨時には泥流や土石流に警戒が必要である。降雨に関する情報に留意が必要である。

### 桜島<sup>さくらじま</sup> [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

昭和火口では、爆発的噴火が 17 回発生するなど、噴火活動が継続した。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>7)</sup> 及び火砕流に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>7)</sup>（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意が必要である。また、降雨時には土石流に注意が必要である。

### 薩摩硫黄島<sup>さつまいおうじま</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] 4 日に噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引上げ

3 日から 5 日にかけてごく小規模な噴火が

時々発生した。これに伴い、4 日 09 時 50 分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（平常）から 2（火口周辺規制）に引き上げた。噴火の発生は平成 16 年（2004 年）10 月 25 日以来。

しばらくの間、硫黄岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う大きな噴石<sup>7)</sup> に警戒が必要である。風下側では降灰に注意が必要である。火山周辺では、火山ガスに注意が必要である。

### 口永良部島<sup>くちのえらぶじま</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過している。しかし、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性がある。また、火口付近では火山ガスに注意が必要である。

### 諏訪之瀬島<sup>すわのせじま</sup> [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳<sup>おたけ</sup>火口では、今期間、噴火の発生はなかったが、長期にわたり噴火を繰り返している。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されるので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石<sup>7)</sup> に警戒が必要である。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石<sup>7)</sup> が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意が必要である。

なお、以下に挙げる火山では、火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められない。

#### 鶴見岳<sup>つるみだけ</sup>・伽藍岳<sup>がらんだけ</sup> [噴火予報（平常）]

#### 九重山<sup>くじゅうさん</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

#### 雲仙岳<sup>うんぜんだけ</sup> [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

#### 霧島山<sup>きりしまやま</sup>（御鉢<sup>おぼち</sup>） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- 1) 噴石については、大きさによる風の影響の程度の違いによって飛散範囲が大きく異なる。本文中「大きな噴石」とは、「風の影響を受けず弾道を描いて飛散する大きな噴石」のことであり、「小さな噴石」とは、それより小さく「風に流されて降る小さな噴石」のことである。
- 2) 霧島山・桜島では「火山れき」の用語が地元で定着していると考えられることから、付加表現している。

## 資料 1 全国の主な活火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成25年6月30日現在）

## (1) 主な活火山

噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成 19 年 12 月 1 日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）
	大雪山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	十勝岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	倶多楽	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	有珠山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
東北地方	恵山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩木山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	秋田焼山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常）
	鳥海山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	栗駒山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	蔵王山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	吾妻山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	安達太良山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
磐梯山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	日光白根山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	草津白根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替
	浅間山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常）
	新潟焼山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	焼岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	御嶽山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）
	白山	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	富士山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
箱根山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	
伊豆東部火山群	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常）	

	火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	新島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	神津島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	三宅島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	八丈島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	青ヶ島	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（平常）	2007年12月1日 噴火予報（平常）
	九重山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	阿蘇山	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常）
	雲仙岳	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	霧島山 （新燃岳）	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年6月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル1、平常）	2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常）
	桜島	火口周辺警報 （レベル3、入山規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替
	薩摩硫黄島	火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	口永良部島	噴火予報 （レベル1、平常）	2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日 噴火予報（レベル1、平常）

火山名	噴火警報及び噴火予報の発表状況	噴火警報及び噴火予報の発表履歴
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日 火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)

## (2) その他の活火山

以下の活火山（\*印を除く）では平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表した。また、\*印の活火山では、活火山として選定された平成23年6月7日に噴火予報（平常）を発表した。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はない（平成25年5月31日現在）。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシガタナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

## 資料 2 第 126 回火山噴火予知連絡会について

平成 25 年 6 月 18 日、第 126 回火山噴火予知連絡会が開催された。同連絡会では、現在までの全国の火山活動の評価のほか、霧島山（新燃岳）と桜島の火山活動について特に重点的に検討を行い、委員及び関係機関からの報告をもとにとりまとめた。その結果を気象庁が以下のとおり発表した。

### 第 126 回火山噴火予知連絡会 霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果

**新燃岳の火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、現在でも小規模な噴火が発生する可能性は否定できません。**

霧島山（新燃岳）では、平成 23 年 9 月 7 日の噴火以降、噴火は発生していません。

新燃岳火口直下の火山性地震は昨年 5 月頃から減少し、今年 3 月及び 4 月に一時的にやや増加しましたが、全般には少ない状態で経過しています。1 日あたりの二酸化硫黄の放出量も、昨年 7 月以降、数 10 トン未満で検出限界に近い状態となり、今年に入ってから検出されていません。火口内の溶岩の状態にも特段の変化は認められません。

GPS 観測によると、新燃岳の北西数 km の地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、平成 23 年 12 月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められていません。霧島山周辺の地震活動にも、顕著な変化は認められません。

以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマの供給は停止しており、新燃岳の火口直下の活動も大きな変化がなく、火山活動は落ち着いた状態が続いています。

しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、引き続き、小規模な噴火が発生する可能性は否定できないことから、新燃岳火口周辺では警戒してください。

なお、地下からのマグマの供給が再開すれば、本格的な噴火が再開する可能性は残っています。

今後、火口及び火口近傍の観測体制を強化し、注意深く監視していく必要があります。

降雨時の泥流や土石流にも引き続き警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

### 第 126 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動の評価

本日、第 126 回火山噴火予知連絡会（平成 25 年 3 月 12 日）以降の全国の火山活動について検討を行い、結果を以下のとおり取りまとめました。

#### ○全国の主な火山活動

今期間（平成 25 年 3 月 12 日～平成 25 年 6 月 18 日）、霧島山（新燃岳）では噴火は発生しませんが、火口内には依然として溶岩が蓄積しています。硫黄島、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島及び択捉焼山で噴火が発生しました。

霧島山（新燃岳）〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕については、別に「霧島山（新燃岳）の火山活動に関する検討結果」として取りまとめました。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3）〕昭和火口では、今期間も活発な噴火活動が継続しました。今期間の噴火による噴煙の最高高度は火口縁上 3,300m、大きな噴石が最大 3 合目まで達しました。また、火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が 2 回発生しました。

地殻変動観測では、始良カルデラ深部の膨張が引き続き観測されています。引き続き活発な噴火活動が継続すると考えられますので、火山活動の推移に注意してください。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

#### 各地方の主な活火山の火山活動評価

##### 1. 北海道地方

##### ①アトサヌプリ〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### ②雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### ③大雪山〔噴火予報（平常）〕

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### ④十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）〕

- 6 月 9 日 20 時 30 分頃から 23 時 10 分頃にかけて、大正火口付近が夜間に高感度カメラで明るく見える現象が観測されました。この現象は高温ガスの噴出や硫黄の燃焼等によるものと推定されます。
- 火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ここ数年、山体浅部の膨張、大正火口の噴煙量及び地震回数の増加などが観測されています。また、吹上温泉地区では、1988～89 年噴火の数年前から見られた温泉の Cl/SO<sub>4</sub> 比の上昇と同

様の変化が、2012 年からわずかながら認められています。今後の火山活動の推移に注意してください。

⑤樽前山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
- ・A火口、B噴気孔群及びH亀裂では高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

⑥倶多楽 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦有珠山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧北海道駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑨恵山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑩択捉焼山 [噴火予報（平常）]

- ・2013年3月29日から4月上旬に噴火が発生し、3月29日に気象衛星で海拔約2000mの高さの噴煙が観測されました。

## 2. 東北地方

①岩木山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

②八甲田山 [噴火予報（平常）]

- ・東北地方太平洋沖地震（2011年3月11日）以降、八甲田山周辺を震源とする地震が増加した状態で経過しています。
- ・今期間山頂付近が震源と考えられる火山性地震が散発的に発生しています。
- ・山体周辺のGPS観測では、2013年2月頃以降小さな膨張性の地殻変動がみられます。
- ・表面現象には変化はみられませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

③秋田焼山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

④岩手山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・2013年3月、4月及び5月に火山性地震はやや多い状況となりましたが、今期間、地殻変動や表面現象に変化はみられず、噴火の兆候は認められません。

⑤秋田駒ヶ岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・女岳<sup>めだけ</sup>では、2009年からの地熱域が引き続き認められます。
- ・地震活動、地殻変動及び噴気活動に特段の変化は認められません。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑥鳥海山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑦栗駒山 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑧蔵王山 [噴火予報（平常）]

- ・2013年4月7日、9日及び21日に火山性微動が発生し、そのうち7日及び21日のものでは直前にわずかな傾斜変化がみられました。
- ・GPS観測による地殻変動及び噴気活動に特段の変化はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意してください。

⑨吾妻山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・遠望カメラによる観測では噴気活動はやや活発な状態が続いています。
- ・火山性地震は、少ない状況で経過しました。
- ・ただちに噴火する兆候は認められませんが、火口内では火山ガスの噴出がみられるので警戒してください。また、風下側では、火山ガスに注意してください。

⑩安達太良山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

⑪磐梯山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・2013年5月に振幅の小さな火山性微動が3回発生しましたが、今期間、地殻変動や表面現象に変化はみられず、噴火の兆候は認められません。

**3. 関東・中部地方、伊豆・小笠原諸島****①那須岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**②日光白根山 [噴火予報（平常）]**

- 2013 年 2 月 25 日に山頂の北北東約 10km、深さ約 3 km を震源とする地震（マグニチュード 6.3（暫定値）、最大震度 5 強）が発生しました。それ以降、その震源の周辺で地震活動が活発な状況になりましたが、その後地震活動は低下してきています。
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**③草津白根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 振幅の小さな火山性地震の一時的な増加が時々みられました。
- 湯釜火口内北東部や北壁及び水釜火口の北から北東側にあたる斜面で、熱活動の活発な状態が継続しています。山頂火口から概ね 500m の範囲では、ごく小規模な火山灰等の噴出に警戒してください。

**④浅間山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 火山性地震は、2010 年 4 月以降やや少ない状態で推移しています。
- 二酸化硫黄の放出量は、2010 年 3 月以降やや少ない状態で推移しています。
- 山体周辺の GPS による地殻変動観測では、2009 年秋頃から縮みの傾向がみられます。
- 火山活動は 2010 年 4 月以降静穏な状態が続いていますが、山頂火口から 500m の範囲では、火山灰噴出や火山ガス等に警戒してください。

**⑤新潟焼山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑥弥陀ヶ原 [噴火予報（平常）]**

- 東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）以降、周辺で地震活動が活発な状況となりました。その後、周辺の地震活動は低下しつつも継続しています。
- 立山地獄谷では以前から熱活動が活発でしたが、2012 年 6 月以降の観測で一部の噴気の活発化や温度の上昇傾向が確認されており、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

**⑦焼岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑧乗鞍岳 [噴火予報（平常）]**

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑨御嶽山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑩白山 [噴火予報（平常）]**

- 4 月 23 日に白山付近を震源とする微小な地震が一時的に増加しました。
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑪富士山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 東北地方太平洋沖地震（2011 年 3 月 11 日）の発生直後は山体周辺の地震活動はみられませんでした。2011 年 3 月 15 日に山頂の南南西約 5 km、深さ 15 km を震源とする静岡県東部の地震（マグニチュード 6.4、最大震度 6 強）が発生しました。それ以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震活動が活発な状況となりました。その後、地震活動は低下しつつも継続しています。
- 深部低周波地震は、2013 年 4 月中旬～下旬及び 5 月 19 日に一時的に増加しましたが、その他の期間は、少ない状態で経過しました。
- その他の観測データで異常を示すものはなく、噴火の兆候は認められません。

**⑫箱根山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 箱根山では、駒ヶ岳から仙石原付近の浅部を震源とする地震が、4 月中旬に一時増加しました。
- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑬伊豆東部火山群 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

**⑭伊豆大島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- 長期的には、地下深部へのマグマ注入による考えられる島全体の膨張傾向が続いていますが、2011 年頃から鈍化してきています。
- 最近の変化をみると、GPS による観測では、2012 年 10 月頃から伸びの傾向がみられていましたが、2013 年 4 月頃から縮みの傾向がみられています。傾斜観測でも、2012 年 10 月頃から山上がり傾向がみられていましたが、2013 年 4 月



頃から山下がりの傾向がみられています。体積ひずみ計による観測では、2012 年 10 月中旬以降伸びの傾向がみられていましたが、2013 年 4 月頃からは停滞しています。

- ・他の観測データには特段の変化はなく、火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑮新島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑯神津島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑰三宅島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

- ・今期間、噴火は発生しませんでした。
- ・三宅島島内の山頂浅部を震源とする地震は、2010 年 9 月以降少ない状態でしたが、2013 年 3 月以降、ごく小規模な地震が増加しています。
- ・GPS による観測では、山体浅部の収縮を示す地殻変動は徐々に小さくなり、ほぼ停滞しています。一方、島の南北を挟む長距離の基線で 2006 年頃から伸びの傾向がみられるなど、山体深部の膨張を示す地殻変動が継続しています。
- ・二酸化硫黄の放出量は、長期的に減少傾向にあり、2013 年 2 月以降は 1 日あたり 200~400 トンのやや少量の火山ガス放出が続いています。
- ・火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生する可能性があります。火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒を引き続きしてください。風下にあたる地区では火山ガスに警戒してください。
- ・三宅島の西方沖約 10 km で 4 月 17 日 10 時過ぎから地震活動が活発化しました。同日 17 時 57 分に三宅島西方沖でマグニチュード 6.2（暫定値）の地震が発生し、三宅村で震度 5 強を観測しました。その後次第に低下しながら継続しています。

#### ⑱八丈島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑲青ヶ島 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑳硫黄島 [火口周辺警報（火口周辺危険）]

- ・島西部の旧火口（通称：ミリオンダラーホール）では、2012 年 2 月以降ごく小規模な水蒸気爆発

が度々発生しています。今期間、2 月中旬、3 月上旬にごく小規模な水蒸気爆発が発生したと推定され、4 月中旬には小規模な水蒸気爆発の発生を確認しました。

- ・地震活動は概ね静穏に経過しました。
- ・GPS による地殻変動観測では、2013 年 1 月頃からわずかに隆起の傾向がみられていましたが、4 月からはほぼ停滞しています。なお、島内南北方向の伸びの傾向は継続しています。
- ・硫黄島では火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火が発生した地点およびその周辺では警戒してください。

#### ㉑福徳岡ノ場 [噴火警報（周辺海域警戒）]

- ・変色水が確認されており、小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では警戒してください。

### 4. 九州地方・南西諸島

#### ①鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ②九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ③阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・孤立型微動が 2012 年 12 月中旬頃から増加し、3 月上旬までやや多い状態が続きました。その後は火山性地震がやや増加しています。また、3 月と 5 月に振幅の小さな継続時間の短い火山性微動が発生しました。
- ・湯だまり量は 3 月まで 9 割でしたが、その後次第に減少し、5 月中旬には 4 割となりました。湯だまりの表面温度は 4 月下旬以降ゆるやかに上昇傾向が続いています。また、噴湯現象は 3 月以降に湯だまり中央部付近で確認されています。土砂噴出は確認されませんでした。
- ・南側火口壁では、熱異常領域にやや広がりが見られました。
- ・噴煙活動や二酸化硫黄の放出量には特段の変化はありませんでした。
- ・以上のように中岳第一火口では、火山活動にわずかながら高まる傾向がみられていることから、今後の火山活動の推移には注意する必要がありますが、今のところ噴火の兆候は認められません。
- ・火口内では土砂や火山灰の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

- ・南阿蘇村吉岡の噴気活動はやや活発な状態が続いており、引き続き噴気活動に注意してください。

#### ④雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

#### ⑤霧島山

##### 新燃岳 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

- ・2011年9月7日の噴火以降、噴火は発生していません。
- ・火山性地震は、2013年3月5日から8日及び4月2日に新燃岳直下を震源とする振幅の小さなBH型地震が一時的に増加し、4月16日と5月3日に大浪池西方付近を震源とする振幅の小さなA型地震が一時的に増加しましたが、全般には少ない状態で経過しました。
- ・噴煙活動は静穏に経過しています。二酸化硫黄は、今年に入ってから検出されていません。
- ・2月13日及び5月21日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊、3月8日に鹿児島県の協力を得て実施した上空からの観測では、火口内に溜っている溶岩の形状、火口内の噴気や温度分布等に変化はありませんでした。
- ・GPS連続観測では、新燃岳の北西数kmの地下深くにあると考えられるマグマだまりの膨張は、平成23年12月以降鈍化・停滞しています。他の領域の地殻変動データにも特段の変化は認められません。
- ・以上のように、マグマだまりへの深部からのマグマ供給は停止しており、新燃岳の火口直下の活動も大きな変化がなく、火山活動は落ち着いた状態が続いています。しかし、火口には高温の溶岩が溜まっており、引き続き、小規模な噴火が発生する可能性は否定できないことから、新燃岳火口周辺では警戒してください。なお、地下からのマグマの供給が再開すれば、本格的な噴火が再開する可能性は残っています。降雨時には泥流や土石流に警戒してください。降雨に関する情報に留意してください。

##### 御鉢 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

- ・火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

##### ⑥桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

- ・昭和火口の噴火活動は、活発な状態で経過しました。
- ・爆発的噴火の発生回数は、1～3月中旬にかけて多い状態で経過しましたが、4月は一時的に

減少しました。2～5月の爆発回数は252回で、大きな噴石が3合目まで達する爆発的噴火も11回発生しました。2月及び5月には火口周辺にとどまるごく小規模な火砕流が発生しました。

- ・南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。
- ・二酸化硫黄の放出量は、1日あたり800～3,400トンと概ね多い状態が継続しています。
- ・噴火による火山灰の噴出量は、2～3月は1月あたり約60～80万トンとやや増加しました。4月は約20万トンと一時的に減少しました。
- ・島内の傾斜計及びGPSでは、2012年8月頃から山体の沈降・収縮の傾向となっていました。2013年2月頃から隆起・膨張に転じています。
- ・火山灰の放出量と地殻変動量から導いた桜島直下へのマグマの供給量は、2～3月頃にやや増加し、4月は一時的に減少しました。
- ・GPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ深部（鹿児島湾奥部）の膨張を示す伸びの傾向は、2012年11月頃から停滞していましたが、2013年2月頃から伸びに転じています。
- ・以上のように、桜島直下へのマグマの供給は継続しており、今後も活発な噴火活動が継続すると推定されます。今後の火山活動の推移に注意してください。
- ・昭和火口及び南岳山頂火口から2km程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石（火山れき）が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。爆発的噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。また、降雨時には土石流に注意してください。

##### ⑦薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）] ←平成25年6月4日に噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。

- ・薩摩硫黄島では、5月15日から26日にかけて振幅の小さな火山性地震が一時的にやや増加しました。6月3日から5日にかけて、硫黄岳でごく小規模な噴火が時々発生しました。噴火の発生は2004年10月25日以来です。これに伴い、6月4日09時50分に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（平常）から2（火口周辺規制）に引き上げました。
- ・6月6日以降、噴火は発生しておらず、地震回数も少ない状態となっています。
- ・山頂東側で、噴気孔が拡大しているのが確認され、この噴気孔から火山灰を噴出した可能性があります。
- ・しばらくの間、硫黄岳火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う大きな噴石に警戒してください。

い。風下側では降灰に注意してください。火山周辺では、火山ガスに注意してください。

**⑧口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]**

- ・ 1 月中旬頃から振幅の小さな火山性地震及び火山性微動がやや増加していましたが、3 月中旬以降、減少しています。その他のデータには特段の変化はなく、現在の火山活動は静穏な状況で、噴火の兆候は認められませんが、新岳火口内では噴気活動が続いており火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに注意してください。

**⑨諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]**

- ・ 御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした。2 月 3 日と 4 月 13 日にごく小規模な噴火が発生し、噴煙が火口縁上 700m まで上がりました。噴火活動は長期的には活発な状態で経過しています。
- ・ 諏訪之瀬島周辺を震源とする A 型地震は、2 月 19 日から 24 日にかけて一時的に増加しました。火山性微動は、ほぼ連続して発生しています。
- ・ 今後も火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

## ●世界の主な地震

平成 25 年（2013 年）6 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

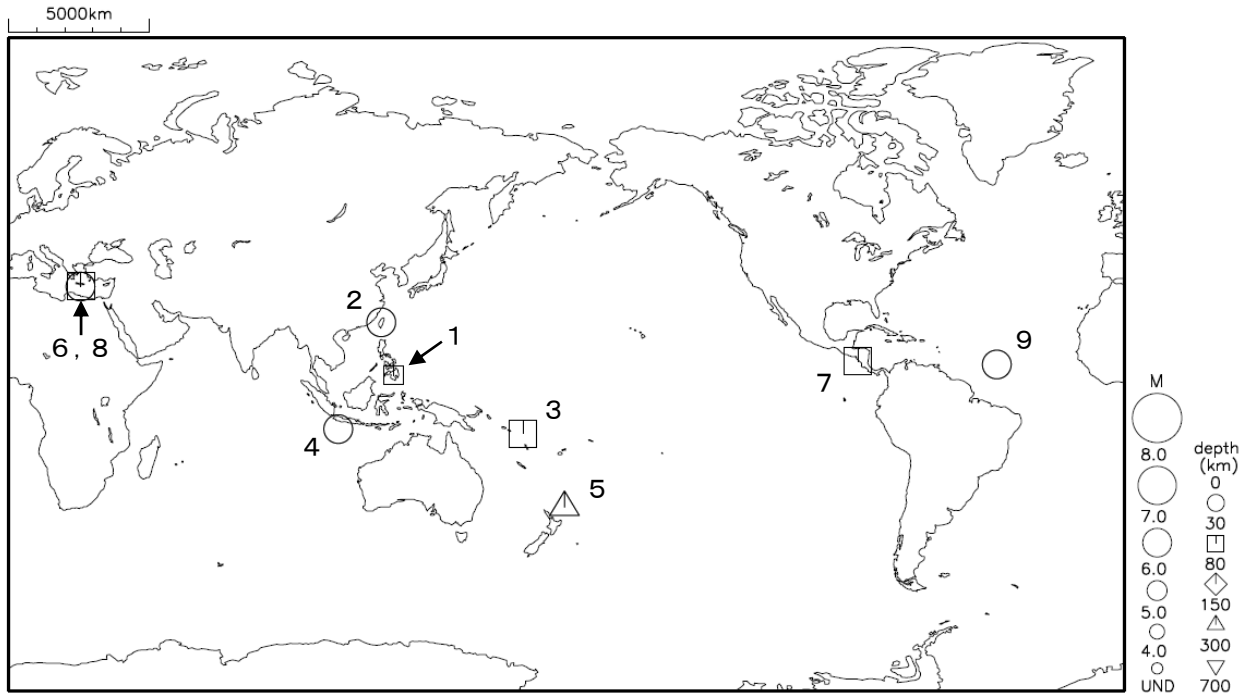


図 1 平成 25 年（2013 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

- \* : 震源要素は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。
- \*\* : 数字は、表 1 の番号に対応する。
- \*\*\*: マグニチュードは表 1 の mb（実体波マグニチュード）、Ms（表面波マグニチュード）、Mw（モーメントマグニチュード）のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 25 年（2013 年）6 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	06月01日23時10分	N 7° 15.4'	E124° 53.3'	41	5.7	5.3	5.6	フィリピン諸島、ミンダナオ	負傷者10人、家屋被害46棟、建物被害5棟		
2	06月02日14時43分	N23° 53.0'	E120° 59.0'	ごく浅い	6.1	(6.3)	(6.3)	台湾付近	死者4人、負傷者21人、建物被害90棟		
3	06月05日13時47分	S11° 24.0'	E166° 17.9'	39	5.9	5.8	6.1	サンタクルーズ諸島			
4	06月14日01時47分	S 9° 59.8'	E107° 14.5'	9	6.5	6.4	6.7	インドネシア、ジャワ南方			
5	06月15日20時20分	S33° 53.7'	E179° 27.3'	172			6.0	ケルマデック諸島南方			
6	06月16日01時11分	N34° 26.9'	E 25° 02.6'	10			6.2	ギリシャ、クレタ			
7	06月16日02時34分	N11° 46.2'	W 86° 56.1'	45	6.1	6.3	6.5	ニカラグア沿岸			
8	06月17日06時39分	N34° 29.4'	E 25° 05.2'	38			6.0	ギリシャ、クレタ			
9	06月25日07時04分	N10° 43.5'	W 42° 36.9'	10			6.6	大西洋中央海嶺北部			

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED)による（平成 25 年 7 月 1 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、マグニチュード（Ms の欄に括弧を付して記載）及び Mw の欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。また、日本国内の被害状況は総務省消防庁による。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9時間] である。
- ・ 「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（地震・火山月報（防災編）2005 年 5 月号参照）を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

## ● 世界の主な火山活動

平成 25 年（2013 年）6 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

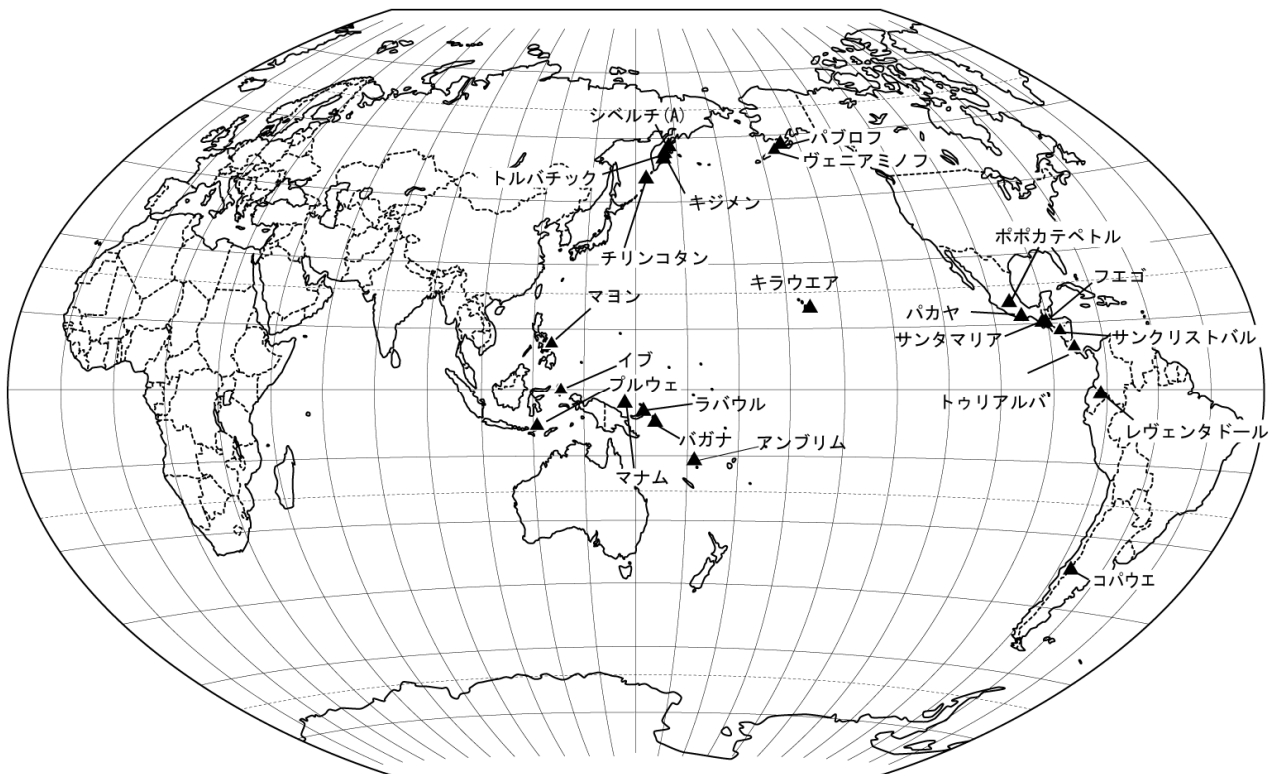
### シベルチ (Shiveluch) ロシア (図中 A)

期間内、溶岩ドームの北側山腹では、高温の雪崩や赤熱、噴気活動を伴いながら溶岩の流出が継続した。

10 日 09 時 02 分、爆発的噴火が発生し、6.5 分間継続した。噴煙はおそらく海拔 7～8 km の高度まで上昇した。また東京 VAAC の発表によると、14 日と 16 日に噴煙が海拔 4.6 km の高度に達し、東に流れた。22 日 12 時 46 分には爆発的噴火が発生し、約 4 分間継続した。同日 13 時 10 分の 2 回目の爆発的噴火では、噴煙が海拔 6 km の高度まで上昇し、北西に流れた。

27 日には、07 時 10 分から 08 時 00 分にかけて強い爆発的噴火が発生した。噴煙は海拔 10～12 km の高度まで達し、南東～南西に流れた。50 km 南西にある村で厚さ約 2 mm の降灰が観測された。28 日の 05 時 06 分と 10 時 01 分に噴火が 2 度発生し、火山灰を含む噴煙がそれぞれ海拔 7 km と 6 km の高度まで上昇した。また、東京 VAAC の発表によると、29 日から 30 日にかけて噴煙が海拔 5.5～6.4 km の高度まで上昇し、東～南東へ流れた。

(以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP (Global Volcanism Program) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。)



# ●付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 地震の震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」に掲載する。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 24 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、\* のついている地点は、地方公共団体もしくは独立行政法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に F を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

※震度3以上を観測した地震については、震源要素を**太字**で表示する。

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 54	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校*=2.3 東海村東海*=1.8 1 日立市役所*=1.4 ひたちなか市南神敷台*=1.4 常陸大宮市北町*=1.4 水戸市内原町*=1.2 小美玉市小川*=1.2 笠間市石井*=1.1 城里町石塚*=1.1 常陸太田市大中町*=1.1 那珂市瓜連*=1.0 高萩市下手綱*=1.0 日立市十王町友部*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=0.9 常陸太田市高柿町*=0.9 ひたちなか市東石川*=0.9 高萩市安良川*=0.9 小美玉市堅倉*=0.9 土浦市常名=0.9 小美玉市上玉里*=0.8 水戸市金町=0.8 鉾田市鉾田=0.8 鉾田市汲上*=0.8 常陸大宮市野口*=0.7 笠間市中央*=0.7 水戸市中央*=0.6 水戸市千波町*=0.6 茨城町小堤*=0.6 土浦市下高津*=0.6 桜川市岩瀬*=0.6 大子町池田*=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 石岡市柿岡=0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 筑西市海老ヶ島*=0.5 筑西市門井*=0.5 城里町徳蔵*=0.5 桜川市羽田*=0.5 笠間市下郷*=0.5 城里町阿波山*=0.5 福島県 1 棚倉町棚倉中居野=0.5	36° 33.4' N	140° 48.3' E	53km	M: 3.6
2	1 12 03	釧路地方中南部 北海道 2 足寄町上螺湾=2.3 釧路市阿寒町中央*=1.5 1 鶴居村鶴居東*=0.7 本別町北 2 丁目=0.5	43° 19.8' N	143° 58.2' E	9km	M: 3.9
3	1 16 49	岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏*=1.3 八戸市内丸*=1.0 青森南部町平*=0.7 八戸市湊町=0.7 1 軽米町軽米*=0.6	40° 19.4' N	142° 19.5' E	37km	M: 3.7
4	<b>1 16 54</b>	<b>釧路地方中南部</b> 北海道 3 足寄町上螺湾=2.5 2 釧路市阿寒町中央*=2.3 1 別海町西春別*=1.4 鶴居村鶴居東*=1.2 白糠町西 1 条*=1.1 陸別町陸別*=1.0 足寄町南 1 条*=1.0 本別町北 2 丁目=0.9 本別町向陽町*=0.9 十勝大樹町生花*=0.9 釧路市音別町本町*=0.7 釧路市幸町=0.7 別海町常盤=0.6	<b>43° 19.7' N</b>	<b>143° 57.7' E</b>	<b>8km</b>	<b>M: 4.1</b>
5	1 16 57	岩手県沖 青森県 岩手県 2 階上町道仏*=1.6 1 八戸市内丸*=1.3 青森南部町平*=1.2 八戸市南郷区*=1.0 八戸市湊町=1.0 青森南部町吉米地*=0.8 三戸町在府小路町*=0.7 五戸町古館=0.6 1 二戸市石切所*=0.8 軽米町軽米*=0.8 盛岡市玉山区薮川*=0.5	40° 19.5' N	142° 19.5' E	37km	M: 3.9
6	1 22 21	山梨県中・西部 山梨県 静岡県 1 中央市大鳥居*=1.1 富士河口湖町船津=0.9 富士河口湖町長浜*=0.8 甲府市古閑町*=0.6 笛吹市八代町南*=0.6 甲州市塩山上於曾*=0.6 身延町常葉*=0.5 甲州市役所*=0.5 1 富士宮市野中*=1.3 富士宮市弓沢町=1.1 富士市大淵*=1.1	35° 25.2' N	138° 32.7' E	19km	M: 3.1
7	1 23 01	茨城県北部 福島県 茨城県 1 矢祭町東館本*=1.1 1 高萩市下手綱*=0.8 常陸大宮市上小瀬*=0.5	36° 51.3' N	140° 33.4' E	9km	M: 3.2
8	2 03 05	福島県沖 宮城県 福島県 1 岩沼市桜*=0.6 1 田村市大越町*=0.8 檜葉町北田*=0.7 浪江町幾世橋=0.7 福島伊達市霊山町*=0.6	37° 43.9' N	142° 08.0' E	36km	M: 4.1
9	2 03 36	釧路地方中南部 北海道 1 足寄町上螺湾=1.4 釧路市阿寒町中央*=1.0	43° 19.9' N	143° 57.8' E	9km	M: 3.7
10	2 03 40	釧路地方中南部 北海道 2 足寄町上螺湾=1.5 1 釧路市阿寒町中央*=0.9 陸別町陸別*=0.8	43° 19.9' N	143° 57.8' E	8km	M: 3.6
11	2 07 08	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.5	38° 32.4' N	141° 43.2' E	53km	M: 3.2
12	2 14 43	台湾付近 沖縄県 1 竹富町黒島=0.8	23° 53.0' N	120° 59.0' E	0km	M: 6.3
13	2 17 19	福島県沖 宮城県 2 石巻市小瀬浜=2.0	37° 47.1' N	141° 34.1' E	48km	M: 3.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
14	2 19 48	福島県 1 石巻市桃生町*=1.1 1 田村市大越町*=1.1 南相馬市鹿島区*=0.6	29° 41.0' N	129° 48.8' E	9km	M: 3.0
15	3 00 21	トカラ列島近海 鹿児島県 1 鹿児島十島村中之島徳之尾=0.9	36° 49.3' N	138° 42.8' E	4km	M: 3.1
16	3 00 44	新潟県中越地方 群馬県 1 中之条町小雨*=1.2 長野原町長野原*=0.6 中之条町日影=0.5	36° 43.5' N	140° 39.3' E	11km	M: 2.5
17	3 05 56	茨城県北部 茨城県 1 高萩市安良川*=0.5	38° 25.3' N	142° 10.1' E	32km	M: 3.6
18	3 08 21	宮城県沖 宮城県 1 石巻市小瀬浜=0.5	35° 45.5' N	140° 54.4' E	9km	M: 2.9
19	3 14 56	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町*=0.9 銚子市川口町=0.5	35° 59.2' N	140° 04.9' E	61km	M: 4.3
		茨城県南部 茨城県 2 つくば市小莖*=2.4 筑西市門井*=2.4 取手市寺田*=2.2 筑西市舟生=2.1 下妻市本城町*=2.0 土浦市常名=2.0 つくばみらい市福田*=1.9 土浦市下高津*=1.8 常陸大宮市野口*=1.8 かすみがうら市上土田*=1.7 桜川市岩瀬*=1.7 桜川市真壁*=1.7 つくば市刈間*=1.7 石岡市柿岡=1.7 茨城古河市下大野*=1.6 常総市水海道諏訪町*=1.6 牛久市中央*=1.6 小美玉市小川*=1.6 小美玉市上玉里*=1.6 かすみがうら市大和田*=1.5 坂東市馬立*=1.5 稲敷市江戸崎甲*=1.5 笠間市石井*=1.5 下妻市鬼怒*=1.5 城里町石塚*=1.5 1 茨城町小堤*=1.4 小美玉市堅倉*=1.4 土浦市藤沢*=1.4 石岡市八郷*=1.4 取手市藤代*=1.4 筑西市海老ヶ島*=1.4 常総市新石下*=1.4 つくばみらい市加藤*=1.3 笠間市中央*=1.3 境町旭町*=1.3 笠間市下郷*=1.2 稲敷市役所*=1.2 龍ヶ崎市役所*=1.2 桜川市羽田*=1.2 取手市井野*=1.2 茨城古河市仁連*=1.2 坂東市岩井=1.1 城里町徳蔵*=1.1 水戸市内原町*=1.1 つくば市天王台*=1.1 八千代町菅谷*=1.1 常陸大宮市北町*=1.1 守谷市大柏*=1.1 石岡市石岡*=1.0 常陸大宮市上小瀬*=1.0 美浦村受領*=1.0 阿見町中央*=1.0 河内町源清田*=1.0 稲敷市柴崎*=1.0 稲敷市結佐*=1.0 常陸大宮市山方*=0.9 水戸市金町=0.9 行方市玉造*=0.8 行方市麻生*=0.8 東海村東海*=0.8 鉾田市鉾田=0.8 五霞町小福田*=0.8 大子町池田*=0.8 結城市結城*=0.7 行方市山田*=0.7 城里町阿波山*=0.7 水戸市中央*=0.7 利根町布川=0.7 筑西市下中山*=0.7 鉾田市汲上*=0.7 水戸市千波町*=0.6 常陸太田市町屋町=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.6				
		栃木県 2 真岡市石島*=2.3 茂木町茂木*=1.7 宇都宮市明保野町=1.6 栃木市旭町=1.6 鹿沼市晃望台*=1.6 鹿沼市口栗野*=1.6 栃木市大平町富田*=1.5 益子町益子=1.5 1 足利市大正町*=1.4 鹿沼市今宮町*=1.4 宇都宮市中里町*=1.3 真岡市田町*=1.3 市貝町市塙*=1.3 日光市足尾町中才*=1.2 栃木市藤岡町藤岡*=1.2 小山市神鳥谷*=1.2 岩舟町静*=1.2 日光市鬼怒川温泉大原*=1.2 真岡市荒町*=1.1 日光市足尾町松原*=1.1 下野市石橋*=1.1 下野市小金井*=1.1 佐野市亀井町*=1.0 小山市中央町*=1.0 日光市中鉢石町*=1.0 日光市今市本町*=1.0 芳賀町祖母井*=1.0 壬生町通町*=1.0 高根沢町石末*=1.0 日光市日蔭*=1.0 日光市芹沼*=0.9 日光市瀬川=0.8 下野市田中*=0.8 大田原市湯津上*=0.7 塩谷町玉生*=0.7 宇都宮市旭*=0.7 栃木市入舟町*=0.7 栃木市西方町本城*=0.7 佐野市葛生東*=0.7 日光市藤原*=0.6 上三川町しらさぎ*=0.6 日光市湯元*=0.6 栃木市都賀町家中*=0.5				
		群馬県 2 邑楽町中野*=1.6 1 群馬千代田町赤岩*=1.2 大泉町日の出*=1.2 片品村東小川=1.0 館林市城町*=0.9 板倉町板倉=0.9 桐生市黒保根町*=0.9 太田市西本町*=0.9 館林市美園町*=0.9 沼田市利根町*=0.8 沼田市白沢町*=0.7 群馬明和町新里*=0.6 桐生市元宿町*=0.6 沼田市西倉内町=0.6 伊勢崎市西久保町*=0.5				
		埼玉県 2 宮代町笠原*=1.5 1 加須市騎西*=1.3 幸手市東*=1.3 春日部市金崎*=1.2 上尾市本町*=1.2 行田市南河原*=1.1 加須市北川辺*=1.1 久喜市下早見=1.1 蕨市中央*=1.1 吉川市吉川*=1.1 杉戸町清地*=1.1 草加市高砂*=1.0 桶川市泉*=1.0 久喜市栗橋*=0.9 春日部市谷原新田*=0.9 戸田市上戸田*=0.9 行田市本丸*=0.9 八潮市中央*=0.9 さいたま浦和区高砂=0.9 加須市大利根*=0.9 三郷市幸房*=0.8 久喜市菖蒲*=0.8 さいたま大宮区大門*=0.8 白岡市千駄野*=0.8 熊谷市妻沼*=0.8 羽生市東*=0.7 さいたま北区宮原*=0.7 さいたま緑区中尾*=0.7 川口市中青木分室*=0.7 和光市広沢*=0.7 久喜市青葉*=0.6 さいたま西区指扇*=0.6 東松山市松葉町*=0.6 久喜市鷺宮*=0.5 さいたま岩槻区本町*=0.5 さいたま大宮区天沼町*=0.5 さいたま見沼区堀崎*=0.5				
		千葉県 1 成田市花崎町=1.1 柏市旭町=1.1 千葉花見川区花島町*=0.9 野田市鶴奉*=0.9 千葉栄町安食台*=0.9 野田市東宝珠花*=0.8 印西市大森*=0.8 印西市美瀬*=0.7 柏市大島田*=0.6 千葉中央区都町*=0.6				
		東京都 1 東京千代田区大手町=0.9 東京渋谷区本町*=0.9 東京北区西ヶ原*=0.8 東京足立区伊興*=0.8 東京足立区神明南*=0.7 東京江戸川区中央=0.7 調布市西つつじヶ丘*=0.7 東京中野区江古田*=0.6 東京荒川区東尾久*=0.6 東京江戸川区船堀*=0.6 東京江戸川区鹿骨*=0.6 東京江東区塩浜*=0.5 三鷹市野崎*=0.5				
20	3 15 23	沖縄本島北西沖 沖縄県 1 渡名喜村渡名喜*=0.9	26° 51.1' N	126° 45.3' E	112km	M: 4.1
21	4 00 04	福岡県筑後地方 福岡県 1 東峰村小石原*=0.7	33° 23.3' N	130° 49.8' E	12km	M: 2.5

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
22	4 05 01	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 37.0' N	141° 54.0' E	48km	M: 4.2
2 大船渡市大船渡町=1.7 陸前高田市高田町*=1.6 1 釜石市只越町=1.4 釜石市中妻町*=1.4 一関市室根町*=1.3 大船渡市猪川町=1.3 一関市千厩町*=1.3 住田町世田米*=0.7 一関市藤沢町*=0.7 宮古市田老*=0.7 大船渡市盛町*=0.6 一関市花泉町*=0.6 盛岡市玉山区薮川*=0.5 北上市相去町*=0.5 山田町大沢*=0.5 宮古市鉾ヶ崎=0.5 2 気仙沼市笹が陣*=1.9 気仙沼市唐桑町*=1.9 気仙沼市赤岩=1.7 石巻市北上町*=1.7 石巻市桃生町*=1.7 1 登米市豊里町*=1.4 石巻市小湊浜=1.4 南三陸町志津川=1.1 登米市登米町*=1.0 石巻市相野谷*=1.0 登米市中田町=0.9 涌谷町新町=0.9 登米市米山町*=0.8 南三陸町歌津*=0.8 松島町高城=0.8 女川町女川浜*=0.8 岩沼市桜*=0.7 石巻市大街道南*=0.7 栗原市若柳*=0.7 東松島市矢本*=0.7 登米市迫町*=0.7 登米市津山町*=0.7 登米市石越町*=0.6 大崎市古川三日町=0.6 石巻市泉町=0.6 大崎市古川大崎=0.5 石巻市大瓜=0.5						
23	4 06 59	千葉県東方沖 千葉県	35° 41.6' N	140° 54.3' E	12km	M: 3.3
1 銚子市若宮町*=1.0						
24	4 09 13	茨城県北部 茨城県	36° 27.3' N	140° 36.0' E	56km	M: 3.2
1 東海村東海*=1.0 常陸大宮市北町*=1.0 水戸市金町=0.7 笠間市石井*=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.5						
25	4 11 24	宮城県沖 岩手県	38° 42.1' N	141° 47.4' E	53km	M: 3.0
1 一関市室根町*=0.8						
26	4 13 09	茨城県北部 福島県 福島県 茨城県 栃木県	36° 45.5' N	140° 34.0' E	10km	M: 3.7
2 白河市表郷*=1.5 矢祭町東館館本*=1.5 1 棚倉町棚倉中居野=1.4 白河市郭内=1.3 檜葉町北田*=1.0 白河市新白河*=1.0 いわき市錦町*=0.9 白河市東*=0.9 矢祭町東館下上野内*=0.9 泉崎村泉崎*=0.8 いわき市平梅本*=0.8 浅川町浅川*=0.7 いわき市小名浜=0.7 二本松市油井*=0.7 田村市都路町*=0.6 玉川村小高*=0.5 郡山市湖南町*=0.5 鏡石町不時沼*=0.5 天栄村下松本*=0.5 2 大子町池田*=2.3 常陸太田市大中町*=2.0 高萩市下手綱*=1.9 日立市助川小学校*=1.7 高萩市安良川*=1.6 日立市十王町友部*=1.5 常陸大宮市山方*=1.5 1 常陸大宮市高部*=1.3 日立市役所*=1.2 常陸大宮市上小瀬*=1.2 常陸大宮市野口*=1.1 常陸大宮市北町*=1.0 北茨城市磯原町*=0.9 笠間市石井*=0.9 常陸太田市町田町*=0.8 常陸太田市高柿町*=0.7 笠間市中央*=0.7 土浦市常名=0.6 城里町阿波山*=0.6 桜川市岩瀬*=0.5 桜川市羽田*=0.5 城里町石塚*=0.5 常陸太田市町屋町=0.5 東海村東海*=0.5 筑西市門井*=0.5 1 那須町寺子*=1.1 宇都宮市明保野町=1.1 大田原市湯津上*=1.0 栃木那珂珂川町馬頭*=1.0 栃木那珂珂川町小川*=0.9 宇都宮市中里町*=0.8 芳賀町祖母井*=0.7 那須烏山市中央=0.7 日光市中鉢石町*=0.5 鹿沼市今宮町*=0.5						
27	4 16 45	千葉県東方沖 千葉県 茨城県	35° 41.6' N	140° 54.0' E	12km	M: 3.7
2 銚子市若宮町*=1.5 1 銚子市川口町=1.0 旭市高生*=0.9 旭市菰園*=0.7 銚子市天王台=0.5 1 神栖市波崎*=1.3 銚田市汲上*=0.6						
28	4 17 33	福島県沖 福島県 福島県 宮城県	37° 10.8' N	141° 22.7' E	48km	M: 4.7
4 檜葉町北田*=4.1 3 福島広野町下北迫大谷地原*=3.4 富岡町本岡*=3.4 浪江町幾世橋=2.9 いわき市三和町=2.8 相馬市中村*=2.7 田村市大越町*=2.7 平田村永田*=2.6 いわき市平四ツ波*=2.6 川内村上川内早渡*=2.6 いわき市小名浜=2.6 南相馬市小高区*=2.5 2 田村市都路町*=2.4 福島広野町下北迫苗代替*=2.4 古殿町松川新桑原*=2.3 白河市新白河*=2.3 大熊町野上*=2.3 玉川村小高*=2.2 田村市滝根町*=2.2 いわき市錦町*=2.2 いわき市平梅本*=2.2 中島村滑津*=2.2 田村市常葉町*=2.2 葛尾村落合落合*=2.1 南相馬市鹿島区*=2.1 川内村上川内小山平*=2.0 須賀川市八幡山*=2.0 南相馬市原町区高見町*=2.0 須賀川市岩瀬支所*=2.0 郡山市湖南町*=1.9 川俣町樋ノ口*=1.9 天栄村下松本*=1.9 小野町小野新町*=1.9 二本松市針道*=1.8 浅川町浅川*=1.8 新地町谷地小屋*=1.8 南相馬市原町区三島町=1.8 小野町中通*=1.8 白河市表郷*=1.8 川内村下川内=1.8 二本松市油井*=1.8 福島伊達市霊山町*=1.7 鏡石町不時沼*=1.7 田村市船引町=1.7 飯館村伊丹沢*=1.7 福島伊達市梁川町*=1.7 本宮市本宮*=1.6 本宮市白岩*=1.6 国見町藤田*=1.6 西郷村熊倉*=1.6 石川町下泉*=1.6 南相馬市原町区本町*=1.6 白河市東*=1.5 白河市大信*=1.5 郡山市朝日=1.5 郡山市開成*=1.5 棚倉町棚倉中居野=1.5 白河市郭内=1.5 1 二本松市金色*=1.4 桑折町東大隅*=1.4 泉崎村泉崎*=1.4 福島伊達市前川原*=1.4 矢祭町東館館本*=1.3 古殿町松川横川=1.3 福島市五老内町*=1.3 白河市八幡小路*=1.3 須賀川市牛袋町*=1.3 須賀川市長沼支所*=1.2 福島市松木町=1.2 福島市飯野町*=1.2 福島伊達市保原町*=1.2 福島伊達市月館町*=1.2 猪苗代町千代田*=1.1 大玉村玉井*=1.1 福島市桜木町*=1.1 矢吹町一本木*=1.1 矢祭町東館下上野内*=1.0 塙町塙*=0.8 大玉村曲藤=0.8 天栄村湯本支所*=0.8 三春町大町*=0.7 猪苗代町城南=0.7 鮫川村赤坂中野*=0.7 二本松市小浜*=0.5 棚倉町棚倉館ヶ丘*=0.5 2 岩沼市桜*=2.3 山元町浅生原*=2.0 大河原町新南*=1.8 宮城川崎町前川*=1.7 名取市増田*=1.6 蔵王町円田*=1.6 角田市角田*=1.5 石巻市桃生町*=1.5 亶理町下小路*=1.5 1 丸森町鳥屋*=1.4 宮城加美町中新田*=1.3 仙台青葉区作並*=1.3 石巻市小湊浜=1.3 大崎市松山*=1.3 仙台空港=1.3 七ヶ宿町関*=1.2 仙台若林区遠見塚*=1.2 仙台泉区将監*=1.2 柴田町船岡=1.2 白石市亶理町*=1.2 登米市迫町*=1.1 仙台太白区山田*=1.1 大崎市古川三日町=1.1 色麻町四竈*=1.1 大衡村大衡*=1.1 大崎市田尻*=1.1 栗原市金成*=1.1 登米市中田町=1.0						



地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		村田町村田*=1.0 宮城美里町木間塚*=1.0 丸森町上滝=1.0 石巻市大街道南*=1.0 利府町利府*=1.0 登米市米山町*=1.0 大崎市古川大崎=1.0 仙台青葉区落合*=1.0 仙台宮城野区五輪=1.0 仙台宮城野区苦竹*=0.9 仙台青葉区雨宮*=0.9 東松島市矢本*=0.9 松島町高城=0.9 大崎市鹿島台*=0.9 涌谷町新町=0.9 女川町女川浜*=0.8 登米市南方町*=0.8 南三陸町志津川=0.8 栗原市築館*=0.8 大崎市古川北町*=0.7 大崎市三本木*=0.7 仙台青葉区大倉=0.6 気仙沼市赤岩=0.5 2 北茨城市磯原町*=2.0 日立市十王町友部*=1.9 高萩市下手綱*=1.9 日立市役所*=1.7 大子町池田*=1.7 常陸大宮市野口*=1.7 常陸大宮市山方*=1.6 日立市助川小学校*=1.6 常陸太田市高柿町*=1.5 笠間市石井*=1.5 東海村東海*=1.5 常陸大宮市上小瀬*=1.5 1 常陸太田市大中町*=1.4 高萩市安良川*=1.4 那珂市瓜連*=1.4 常陸太田市金井町*=1.3 笠間市中央*=1.3 城里町石塚*=1.3 水戸市内原町*=1.2 常陸大宮市北町*=1.2 那珂市福田*=1.2 土浦市常名=1.2 筑西市門井*=1.2 桜川市岩瀬*=1.2 鉾田市汲上*=1.2 ひたちなか市南神敷台*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.1 小美玉市堅倉*=1.1 石岡市柿岡=1.1 稲敷市役所*=1.1 筑西市舟生=1.1 水戸市金町=1.1 桜川市羽田*=1.1 水戸市千波町*=1.1 水戸市中央*=1.1 常陸太田市町屋町=1.0 土浦市下高津*=1.0 常陸太田市町田町*=1.0 つくば市蒔岡*=1.0 桜川市真壁*=1.0 笠間市下郷*=1.0 城里町阿波山*=1.0 小美玉市上玉里*=1.0 美浦村受領*=0.9 坂東市山*=0.9 小美玉市小川*=0.9 常陸大宮市高部*=0.9 茨城町小堤*=0.8 土浦市藤沢*=0.8 常陸大宮市中富町=0.8 取手市寺田*=0.8 稲敷市江戸崎甲*=0.8 かすみがうら市上土田*=0.8 行方市麻生*=0.7 つくば市天王台*=0.7 つくば市小茎*=0.7 鉾田市鉾田=0.7 茨城鹿嶋市鉢形=0.7 石岡市八郷*=0.7 かすみがうら市大和田*=0.7 鉾田市造谷*=0.6 城里町徳蔵*=0.6 筑西市海老ヶ島*=0.6 栃木県 2 那須町寺子*=1.8 大田原市湯津上*=1.7 那須烏山市中央=1.7 1 市貝町市塙*=1.4 高根沢町石末*=1.4 栃木那珂川町馬頭*=1.4 益子町益子=1.3 栃木那珂川町小川*=1.3 宇都宮市明保野町=1.2 真岡市石島*=1.1 芳賀町祖母井*=1.1 大田原市本町*=1.0 宇都宮市中里町*=1.0 茂木町茂木*=1.0 大田原市黒羽田町=0.9 那須烏山市役所*=0.9 日光市今市本町*=0.9 那須塩原市鍋掛*=0.8 鹿沼市今宮町*=0.8 小山市神鳥谷*=0.8 真岡市田町*=0.8 栃木さくら市喜連川*=0.8 日光市中鉢石町*=0.7 日光市鬼怒川温泉大原*=0.6 日光市芹沼*=0.6 那須塩原市中塩原*=0.6 日光市瀬川=0.5 宇都宮市塙田*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=0.7 岩手県 1 一関市室根町*=0.8 一関市千厩町*=0.8 一関市藤沢町*=0.6 釜石市中妻町*=0.6 山形県 1 米沢市林泉寺*=1.2 白鷹町荒砥*=0.8 米沢市アルカディア=0.7 河北町谷地=0.6 上山市河崎*=0.6 高島町高島*=0.5 米沢市駅前=0.5 中山町長崎*=0.5 南陽市三間通*=0.5 群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.8 邑楽町中野*=0.8 沼田市白沢町*=0.7 前橋市富士見町*=0.7 沼田市利根町*=0.6 渋川市赤城町*=0.5 埼玉県 1 宮代町笠原*=0.8 久喜市下早見=0.7 春日部市金崎*=0.6 熊谷市大里*=0.5 加須市大利根*=0.5 東松山市松葉町*=0.5 千葉県 1 成田市花崎町=0.8 香取市佐原平田=0.5 29 4 18 45 天草灘 鹿児島県 1 薩摩川内市上甕町*=1.1 薩摩川内市鹿島町*=0.8 30 4 19 52 千葉県北西部 東京都 2 小平市小川町*=1.8 1 八王子市堀之内*=1.0 東京江戸川区中央=0.9 東京練馬区豊玉北*=0.9 調布市西つじヶ丘*=0.9 東京千代田区大手町=0.8 東京江戸川区船堀*=0.8 東京渋谷区本町*=0.7 国分寺市戸倉=0.7 東大和市中央*=0.7 東京新宿区上落合*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京中野区中野*=0.6 西東京市中町*=0.5 町田市中町*=0.5 日野市神明*=0.5 東京江東区塩浜*=0.5 茨城県 1 坂東市岩井=0.6 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6 群馬県 1 桐生市黒保根町*=0.5 埼玉県 1 和光市広沢*=0.7 春日部市金崎*=0.5 千葉県 1 千葉花見川区花島町*=0.6 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺*=1.2 横浜神奈川区広台太田町*=1.1 横浜瀬谷区中屋敷*=1.0 横浜青葉区市ヶ尾町*=1.0 横浜緑区十日市場町*=0.9 横浜鶴見区末広町*=0.9 大和市下鶴間*=0.9 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=0.8 横浜戸塚区平戸町*=0.7 横浜旭区川井宿町*=0.7 横浜旭区今宿東町*=0.5 相模原中央区上溝*=0.5 31 5 02 09 宮城県沖 岩手県 2 一関市千厩町*=1.5 1 一関市室根町*=1.0 一関市藤沢町*=0.7 宮城県 2 石巻市小瀬浜=1.8 1 気仙沼市笹が陣*=1.0 気仙沼市赤岩=0.8 女川町女川浜*=0.7 石巻市北上町*=0.5 32 5 04 24 埼玉県南部 埼玉県 2 加須市大利根*=1.7 1 行田市南河原*=1.0 行田市本丸*=0.9 久喜市下早見=0.8 川島町平沼*=0.7 久喜市青葉*=0.6 宮代町笠原*=0.6 滑川町福田*=0.5 熊谷市妻沼*=0.5 茨城県 1 笠間市石井*=0.8 筑西市門井*=0.6 結城市結城*=0.6 桜川市羽田*=0.5 筑西市舟生=0.5 栃木県 1 宇都宮市明保野町=1.0 岩舟町静*=0.9 栃木市藤岡町藤岡*=0.8 足利市大正町*=0.7 佐野市亀井町*=0.6 佐野市中町*=0.5 栃木市旭町=0.5 群馬県 1 桐生市黒保根町*=1.0 邑楽町中野*=0.7 板倉町板倉=0.6 群馬千代田町赤岩*=0.6 館林市美園町*=0.6 渋川市吹屋*=0.6 桐生市元宿町*=0.5				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
33	5 07 59	房総半島南方沖 東京都 1 三宅村神着=0.6 御蔵島村西川=0.5	34° 20.9' N	140° 59.5' E	40km	M: 4.2
34	5 08 48	釧路地方中南部 北海道 1 足寄町上螺湾=1.2 釧路市阿寒町中央*=1.0 陸別町陸別*=0.5	43° 19.9' N	143° 58.2' E	8km	M: 3.6
35	5 09 36	<b>福島県浜通り</b> 福島県 3 いわき市平梅本*=2.5 川内村上川内早渡*=2.5 2 檜葉町北田*=2.4 いわき市三和町=2.3 田村市都路町*=2.1 いわき市平四ツ波*=2.1 福島広野町下北迫大谷地原*=2.1 田村市滝根町*=2.1 川内村上川内小山平*=2.0 葛尾村落合落合*=1.8 大熊町野上*=1.7 富岡町本岡*=1.7 福島広野町下北迫苗代替*=1.6 田村市常葉町*=1.6 浪江町幾世橋=1.5 田村市大越町*=1.5 飯館村伊丹沢*=1.5 1 平田村永田*=1.4 いわき市小名浜=1.4 二本松市油井*=1.3 小野町中通*=1.3 小野町小野新町*=1.3 川内村下川内=1.3 福島伊達市霊山町*=1.2 古殿町松川新桑原*=1.2 相馬市中村*=1.2 田村市船引町=1.1 川俣町樋ノ口*=1.1 二本松市針道*=1.0 浅川町浅川*=1.0 福島伊達市前川原*=0.9 桑折町東大隅*=0.9 福島市五老内町*=0.9 新地町谷地小屋*=0.9 南相馬市原町区高見町*=0.9 南相馬市小高区*=0.9 古殿町松川横川=0.8 白河市新白河*=0.8 二本松市金色*=0.8 玉川村小高*=0.8 南相馬市鹿島区*=0.8 福島伊達市梁川町*=0.8 福島市飯野町*=0.7 本宮市本宮*=0.7 鏡石町不時沼*=0.6 天栄村下松本*=0.6 福島市松木町=0.6 南相馬市原町区三島町=0.6 福島伊達市月館町*=0.6 須賀川市八幡山*=0.5 須賀川市岩瀬支所*=0.5 棚倉町棚倉中居野=0.5 郡山市朝日=0.5 郡山市湖南町*=0.5 宮城県 2 岩沼市桜*=1.8 1 名取市増田*=1.3 蔵王町円田*=1.3 宮城川崎町前川*=1.2 大崎市田尻*=1.2 仙台青葉区作並*=1.1 石巻市桃生町*=1.1 角田市角田*=1.1 山元町浅生原*=1.0 丸森町上滝=1.0 柴田町船岡=0.9 大河原町新南*=0.9 仙台青葉区大倉=0.8 大崎市古川三日町=0.8 白石市互理町*=0.7 互理町下小路*=0.7 村田町村田*=0.7 丸森町鳥屋*=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.5 宮城加美町中新田*=0.5 山形県 1 白鷹町荒砥*=0.7 山辺町緑ヶ丘*=0.6 上市市河崎*=0.5	37° 02.8' N	140° 46.2' E	11km	M: 4.4
36	5 10 12	宮城県沖 岩手県 1 釜石市中妻町*=1.0 釜石市只越町=0.8 大船渡市大船渡町=0.7 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣*=0.8 気仙沼市唐桑町*=0.7	38° 44.6' N	142° 28.4' E	41km	M: 4.2
37	5 15 22	福島県沖 宮城県 1 石巻市桃生町*=1.0 岩沼市桜*=1.0 互理町下小路*=1.0 石巻市小湊浜=1.0 山元町浅生原*=0.8 角田市角田*=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 名取市増田*=0.7 柴田町船岡=0.5 福島県 1 田村市大越町*=1.4 飯館村伊丹沢*=1.3 南相馬市鹿島区*=1.1 相馬市中村*=1.0 檜葉町北田*=1.0 新地町谷地小屋*=1.0 富岡町本岡*=0.8 川内村下川内=0.6 田村市船引町=0.6 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5	37° 46.4' N	141° 31.5' E	48km	M: 3.9
38	5 17 50	石川県西方沖 石川県 2 小松市小馬出町=1.7 1 小松市向本折町*=1.1 加賀市大聖寺南町*=1.1 能美市寺井町*=0.8 加賀市直下町=0.6	36° 23.3' N	136° 19.9' E	11km	M: 2.8
39	6 02 29	岩手県沖 岩手県 2 山田町大沢*=1.5 1 宮古市鍛ヶ崎=1.4 宮古市五月町*=1.2 宮古市田老*=1.2 山田町八幡町=1.2 宮古市川井*=0.9 宮古市茂市*=0.7 釜石市只越町=0.7 釜石市中妻町*=0.7 宮古市区界*=0.5 花巻市大迫町=0.5	39° 38.2' N	142° 06.8' E	49km	M: 3.8
40	6 02 49	福島県浜通り 福島県 2 白河市新白河*=2.4 田村市大越町*=2.2 いわき市三和町=2.2 田村市都路町*=2.1 檜葉町北田*=2.0 二本松市油井*=1.9 浪江町幾世橋=1.9 川内村上川内早渡*=1.8 二本松市金色*=1.8 中島村滑津*=1.7 玉川村小高*=1.7 浅川町浅川*=1.7 鏡石町不時沼*=1.6 小野町中通*=1.6 葛尾村落合落合*=1.6 南相馬市鹿島区*=1.6 南相馬市原町区高見町*=1.5 飯館村伊丹沢*=1.5 1 白河市郭内=1.4 白河市表郷*=1.4 棚倉町棚倉中居野=1.4 平田村永田*=1.4 小野町小野新町*=1.4 田村市滝根町*=1.4 福島伊達市霊山町*=1.4 新地町谷地小屋*=1.4 田村市常葉町*=1.3 福島広野町下北迫大谷地原*=1.3 石川町下泉*=1.3 南相馬市原町区三島町=1.3 須賀川市岩瀬支所*=1.2 二本松市針道*=1.2 泉崎村泉崎*=1.2 矢吹町一本木*=1.2 本宮市本宮*=1.2 福島市五老内町*=1.2 猪苗代町千代田*=1.2 白河市大信*=1.1 福島伊達市梁川町*=1.1 須賀川市八幡山*=1.1 白河市東*=1.1 本宮市白岩*=1.1 相馬市中村*=1.1 須賀川市牛袋町*=1.1 福島広野町下北迫苗代替*=1.1 川内村下川内=1.1 古殿町松川新桑原*=1.1 川俣町樋ノ口*=1.1 天栄村下松本*=1.1 郡山市湖南町*=1.0 福島市松木町*=1.0 南相馬市原町区本町*=1.0 大玉村玉井*=1.0 川内村上川内小山平*=1.0 矢祭町東館館本*=0.9 大熊町野上*=0.9 田村市船引町=0.9 福島伊達市月館町*=0.9 三春町大町*=0.8 郡山市朝日=0.8 福島市松木町=0.8 白河市八幡小路*=0.8 福島市飯野町*=0.8 富岡町本岡*=0.7 大玉村曲藤=0.7 古殿町松川横川=0.5 天栄村湯本支所*=0.5 いわき市平四ツ波*=0.5 宮城県 1 柴田町船岡=1.4 岩沼市桜*=1.2 山元町浅生原*=1.2 宮城川崎町前川*=1.1 石巻市小湊浜=0.8 石巻市桃生町*=0.8 名取市増田*=0.8 南三陸町志津川=0.7 東松島市矢本*=0.7 東松島市小野*=0.7 仙台空港=0.7 角田市角田*=0.5 丸森町上滝=0.5 茨城県 1 常陸大宮市野口*=1.2 東海村東海*=1.0 笠間市石井*=0.9 常陸大宮市山方*=0.6 石岡市柿岡=0.6 土浦市常名=0.5 栃木県 1 那須町寺子*=0.6 宇都宮市明保野町=0.6 宇都宮市中里町*=0.6 栃木那珂川町馬頭*=0.6	37° 19.0' N	140° 57.1' E	73km	M: 3.9

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
41	6 12 28	<p>芳賀町祖母井* = 0.5 那須烏山市中央 = 0.5</p> <p><b>千葉県東方沖</b> 茨城県</p> <p>3 稲敷市結佐* = 2.9 潮来市辻* = 2.7 神栖市溝口* = 2.7 稲敷市役所* = 2.5 稲敷市須賀津* = 2.5                      2 茨城鹿嶋市鉢形 = 2.4 潮来市堀之内 = 2.4 河内町源清田* = 2.4 茨城鹿嶋市宮中* = 2.1 行方市麻生* = 2.1                      稲敷市江戸崎甲* = 2.0 稲敷市柴崎* = 1.9 神栖市波崎* = 1.8 行方市山田* = 1.8 小美玉市上玉里* = 1.8                      鉦田市汲上* = 1.8 取手市藤代* = 1.8 笠間市中央* = 1.7 常総市水海道諏訪町* = 1.7                      土浦市下高津* = 1.7 つくばみらい市加藤* = 1.6 石岡市柿岡 = 1.6 龍ヶ崎市役所* = 1.6                      取手市井野* = 1.6 土浦市常名 = 1.6 笠間市石井* = 1.6 水戸市中央* = 1.5 取手市寺田* = 1.5                      かすみがうら市上土田* = 1.5 かすみがうら市大和田* = 1.5 ひたちなか市南神敷台* = 1.5                      東海村東海* = 1.5 土浦市藤沢* = 1.5 小美玉市小川* = 1.5 常総市新石下* = 1.5 石岡市石岡* = 1.5                      美浦村受領* = 1.5 石岡市八郷* = 1.5 利根町布川 = 1.5</p> <p>1 笠間市下郷* = 1.4 茨城町小堤* = 1.4 小美玉市堅倉* = 1.4 行方市玉造* = 1.4                      つくばみらい市福田* = 1.4 鉦田市造谷* = 1.3 つくば市天王台* = 1.3 つくば市蒔間* = 1.3                      筑西市舟生 = 1.3 日立市役所* = 1.3 桜川市真壁* = 1.3 鉦田市鉦田 = 1.2 つくば市小茎* = 1.2                      阿見町中央* = 1.2 牛久市中央* = 1.2 筑西市門井* = 1.2 高萩市下手綱* = 1.2 水戸市内原町* = 1.2                      坂東市岩井 = 1.1 那珂市福田* = 1.0 日立市十王町友部* = 1.0 水戸市千波町* = 0.9 桜川市岩瀬* = 0.9                      高萩市安良川* = 0.8 那珂市瓜連* = 0.8 ひたちなか市山ノ上町 = 0.8 水戸市金町 = 0.8 大子町池田* = 0.7                      常陸大宮市山方* = 0.7 桜川市羽田* = 0.6 常陸大宮市北町* = 0.5</p> <p>千葉県</p> <p>3 旭市南堀之内* = 3.3 成田市花崎町 = 3.2 香取市仁良* = 3.1 香取市役所* = 3.1 匝瑳市八日市場* = 3.0                      香取市佐原平田 = 2.8 旭市ニ* = 2.8 旭市萩園* = 2.7 山武市松尾町富士見台 = 2.7 山武市蓮沼* = 2.7                      香取市羽根川* = 2.6 匝瑳市今泉* = 2.6 多古町多古 = 2.6 香取市佐原諏訪台* = 2.6 旭市高生* = 2.6                      香取市岩部* = 2.5 横芝光町宮川* = 2.5 東金市日吉台* = 2.5</p> <p>2 千葉一宮町一宮 = 2.4 成田国際空港 = 2.3 成田市中台* = 2.3 東金市東新宿 = 2.2 千葉中央区都町* = 2.0                      市原市姉崎* = 2.0 銚子市若宮町* = 1.9 銚子市川口町 = 1.8 千葉中央区中央港 = 1.7                      千葉花見川区花島町* = 1.7 千葉緑区おゆみ野* = 1.7 長柄町大津倉 = 1.7 千葉中央区千葉市役所* = 1.6                      千葉稲毛区園生町* = 1.6 千葉若葉区小倉台* = 1.6</p> <p>1 君津市久留里市場* = 1.4 勝浦市墨名 = 1.3 千葉美浜区稲毛海岸* = 1.2 勝浦市新官* = 1.2 柏市旭町 = 1.1                      鴨川市八色 = 1.0 鴨川市横渚* = 1.0 館山市長須賀 = 0.9 銚子市天王台 = 0.8 木更津市太田 = 0.8</p> <p>埼玉県</p> <p>2 宮代町笠原* = 1.6 春日部市谷原新田* = 1.5</p> <p>1 草加市高砂* = 1.4 川口市中青木分室* = 1.3 川口市青木* = 1.3 川口市三ツ和* = 1.3                      さいたま緑区中尾* = 1.3 蕨市中央* = 1.2 戸田市上戸田* = 1.2 八潮市中央* = 1.2 三郷市幸房* = 1.2                      吉川市吉川* = 1.2 春日部市金崎* = 1.1 さいたま中央区下落合* = 1.1 加須市大根* = 1.1                      幸手市東* = 1.0 志木市中宗岡* = 0.9 白岡市千駄野* = 0.9 久喜市下早見 = 0.9 久喜市青葉* = 0.9                      杉戸町清地* = 0.9 加須市下三俣* = 0.9 さいたま浦和区高砂 = 0.9 さいたま見沼区堀崎* = 0.8                      越谷市越ヶ谷* = 0.8 さいたま桜区道場* = 0.8 久喜市葛蒲* = 0.8 加須市騎西* = 0.8 鴻巣市中央* = 0.8                      さいたま大宮区天沼町* = 0.8 富士見市鶴馬* = 0.7 久喜市鷲宮* = 0.7 和光市広沢* = 0.7                      さいたま浦和区常盤* = 0.7 松伏町松伏* = 0.7 さいたま岩槻区本町* = 0.6 狭山市入間川* = 0.6                      さいたま西区指扇* = 0.6 上尾市本町* = 0.5 桶川市泉* = 0.5 さいたま北区宮原* = 0.5</p> <p>福島県</p> <p>1 玉川村小高* = 1.0 須賀川市八幡山* = 0.6 棚倉町棚倉中居野 = 0.5</p> <p>栃木県</p> <p>1 高根沢町石末* = 1.4 真岡市石島* = 1.2 市貝町市塙* = 1.2 真岡市荒町* = 1.1 真岡市田町* = 1.1                      芳賀町祖母井* = 1.1 益子町益子 = 0.8 宇都宮市明保野町 = 0.6 岩舟町静* = 0.5 那須烏山市中央 = 0.5</p> <p>群馬県</p> <p>1 邑楽町中野* = 0.6 沼田市西倉内町 = 0.5</p> <p>東京都</p> <p>1 東京足立区神明南* = 1.4 東京荒川区東尾久* = 1.3 東京足立区伊興* = 1.3 東京墨田区東向島* = 1.2                      東京江東区越中島* = 1.2 東京足立区千住中居町* = 1.2 東京葛飾区金町* = 1.2 東京江戸川区中央 = 1.2                      東京江東区森下* = 1.1 東京江東区亀戸* = 1.1 東京江東区塩浜* = 1.1 東京北区赤羽南* = 1.1                      東京荒川区荒川* = 1.1 東京江戸川区船堀* = 1.1 町田市中町* = 1.1 東京千代田区大手町 = 1.1                      東京台東区千束* = 1.1 東京板橋区高島平* = 1.0 東京葛飾区立石* = 1.0 東京墨田区吾妻橋* = 0.9                      東京江戸川区鹿骨* = 0.9 東京大田区多摩川* = 0.9 東京大田区本羽田* = 0.9 東京北区西ヶ原* = 0.9                      東京中央区勝どき* = 0.8 東京新宿区上落合* = 0.8 調布市西つつじヶ丘* = 0.8 東京国際空港 = 0.8                      東京文京区大塚* = 0.7 東京世田谷区成城* = 0.7 東京渋谷区本町* = 0.7 八王子市堀之内* = 0.7                      東京杉並区桃井* = 0.7 東京板橋区板橋* = 0.7 東京中央区日本橋兜町* = 0.7 東京品川区北品川* = 0.7                      東京文京区スポーツセンター* = 0.7 東京千代田区富士見* = 0.6 東京中野区江古田* = 0.6                      東京新宿区百人町* = 0.6 東京品川区平塚* = 0.6 東京渋谷区宇田川町* = 0.5 町田市忠生* = 0.5                      国分寺市戸倉 = 0.5 西東京市中町* = 0.5</p> <p>神奈川県</p> <p>1 横浜神奈川区神大寺* = 1.3 横浜中区山手町 = 1.3 横浜保土ヶ谷区上菅田町* = 1.1 三浦市城山町* = 1.1                      川崎幸区戸手本町* = 1.0 川崎川崎区千鳥町* = 0.8 横須賀市光の丘 = 0.8 平塚市浅間町* = 0.8                      湯河原町中央 = 0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎 = 0.7</p> <p>新潟県</p> <p>1 南魚沼市六日町 = 0.7</p> <p>静岡県</p> <p>1 東伊豆町奈良本* = 0.8 伊豆の国市四日町* = 0.6 富士市吉永* = 0.6</p>	<p>35° 38.6' N 140° 39.3' E 50km M: 5.0</p>			
42	6 13 25	<p><b>千葉県東方沖</b> 千葉県</p> <p>3 旭市南堀之内* = 2.5                      2 成田市花崎町 = 2.0 多古町多古 = 1.9 東金市日吉台* = 1.6 香取市佐原諏訪台* = 1.6                      山武市松尾町富士見台 = 1.5 香取市佐原平田 = 1.5</p> <p>1 成田国際空港 = 1.3 東金市東新宿 = 1.2 銚子市若宮町* = 1.1 市原市姉崎* = 1.1 千葉一宮町一宮 = 1.0                      千葉中央区都町* = 0.9 千葉若葉区小倉台* = 0.8 千葉中央区中央港 = 0.7 銚子市川口町 = 0.6                      千葉花見川区花島町* = 0.6</p> <p>茨城県</p> <p>2 茨城鹿嶋市鉢形 = 2.0 稲敷市役所* = 1.9 神栖市溝口* = 1.8 稲敷市結佐* = 1.7 潮来市辻* = 1.7                      潮来市堀之内 = 1.6 稲敷市須賀津* = 1.6</p> <p>1 稲敷市江戸崎甲* = 1.2 鉦田市汲上* = 1.2 茨城鹿嶋市宮中* = 1.2 稲敷市柴崎* = 1.1 神栖市波崎* = 1.1                      行方市麻生* = 1.1 かすみがうら市上土田* = 0.8 石岡市柿岡 = 0.8 東海村東海* = 0.8 土浦市常名 = 0.8                      土浦市下高津* = 0.8 筑西市舟生 = 0.7 取手市寺田* = 0.6</p>	<p>35° 38.3' N 140° 41.5' E 51km M: 4.3</p>			

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
43	6 13 49	山梨県中・西部 山梨県 静岡県	35° 16.3' N	138° 31.1' E	17km	M: 2.7 山梨南部町栄小学校*=0.9 山梨南部町富士*=0.7 山梨南部町内船*=0.6 富士宮市野中*=1.2 富士市大淵*=1.1
44	7 00 59	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 31.3' N	142° 13.6' E	42km	M: 3.9 一関市室根町*=0.7 一関市藤沢町*=0.6 釜石市中妻町*=0.5 一関市千厩町*=0.5 石巻市小瀬浜=1.1 気仙沼市笹が陣*=0.8 大崎市田尻*=0.5 石巻市桃生町*=0.5
45	7 01 15	釧路地方中南部 北海道	43° 20.2' N	143° 57.8' E	9km	M: 4.0 釧路市阿寒町中央*=1.8 足寄町上螺湾=1.5 釧路市阿寒町阿寒湖温泉*=1.2 鶴居村鶴居東*=1.0 別海町西春別*=0.9 陸別町陸別*=0.7 別海町常盤=0.6 白糠町西1条*=0.6
46	7 04 39	三宅島近海 東京都	34° 03.8' N	139° 22.2' E	14km	M: 2.7 三宅村役場臨時庁舎=0.6
47	7 09 43	福島県沖 福島県	37° 05.4' N	141° 06.6' E	50km	M: 3.1 川内村下川内=1.2 楡葉町北田*=0.8
48	7 14 11	釧路地方中南部 北海道	43° 20.6' N	143° 58.3' E	8km	M: 3.1 釧路市阿寒町中央*=0.6
49	<b>7 22 29</b>	<b>新潟県上中越沖</b> 新潟県	<b>37° 10.3' N</b>	<b>138° 10.6' E</b>	<b>11km</b>	<b>M: 3.8</b> 上越市木田*=3.6 上越市大手町=2.5 上越市安塚区安塚*=2.5 上越市中ノ俣=2.4 上越市頸城区百間町*=2.3 上越市名立区名立大町*=2.3 上越市浦川原区釜淵*=2.0 上越市吉川区原之町*=2.0 上越市大潟区土底浜*=2.0 上越市三和区井ノ口*=1.9 上越市牧区柳島*=1.8 上越市柿崎区柿崎*=1.4 妙高市田町*=1.4 上越市清里区荒牧*=1.3 上越市板倉区針*=1.2 上越市中郷区藤沢*=1.1 長岡市小島谷*=1.1 上越市大島区岡*=1.0 出雲崎町米田=1.0 糸魚川市能生*=0.9 長岡市寺泊教ヶ曾根*=0.9 妙高市栄町*=0.9 十日町市松代*=0.8 長岡市東川口*=0.7 出雲崎町川西*=0.7 妙高市関山*=0.6 魚沼市今泉*=0.6 新潟西蒲区巻甲*=0.6 燕市分水桜町*=0.5 新潟西蒲区役所=0.5 石川県 珠洲市正院町*=0.6
50	7 22 31	新潟県上中越沖 新潟県	37° 10.3' N	138° 10.5' E	9km	M: 2.8 上越市木田*=1.7 上越市中ノ俣=1.5 上越市大手町=1.3 妙高市田町*=0.5
51	7 22 38	新潟県上中越沖 新潟県	37° 11.4' N	138° 11.1' E	9km	M: 2.0 上越市木田*=0.7
52	<b>8 01 38</b>	<b>与那国島近海</b> 沖縄県	<b>23° 57.2' N</b>	<b>122° 34.6' E</b>	<b>25km</b>	<b>M: 5.8</b> 与那国町役場*=2.6 与那国町久部良=2.5 与那国町祖納=2.2 竹富町船浮=1.3 竹富町黒島=1.1 石垣市新栄町*=1.1 竹富町上原*=1.0 石垣市平久保=0.9 竹富町波照間=0.9 石垣市登野城=0.9 竹富町大原=0.9
53	8 02 18	福島県会津 福島県	37° 03.5' N	139° 21.0' E	8km	M: 2.0 檜枝岐村上河原*=1.2
54	8 04 16	福島県会津 福島県 栃木県 群馬県	36° 55.4' N	139° 23.4' E	4km	M: 2.7 檜枝岐村上河原*=0.9 日光市湯元*=0.8 片品村東小川=0.5
55	8 04 49	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 45.4' N	140° 59.9' E	14km	M: 3.9 銚田市銚田=0.6 稲敷市須賀津*=0.6 神栖市波崎*=0.6 銚子市川口町=0.9 銚子市若宮町*=0.9
56	8 06 22	奄美大島近海 鹿児島県	27° 38.5' N	128° 55.0' E	17km	M: 3.0 徳之島町亀津*=1.4 伊仙町伊仙*=1.1
57	8 07 29	茨城県沖 茨城県	36° 40.1' N	141° 11.9' E	49km	M: 3.8 日立市助川小学校*=1.3 水戸市千波町*=1.0 日立市十王町友部*=1.0 笠間市石井*=1.0 東海村東海*=1.0 ひたちなか市南神敷台*=0.8 小美玉市堅倉*=0.8 日立市役所*=0.7 常陸大宮市上小瀬*=0.7 水戸市金町=0.7 城里町石塚*=0.6 土浦市常名=0.6 水戸市中央*=0.5 ひたちなか市東石川*=0.5 小美玉市小川*=0.5 水戸市内原町*=0.5 常陸大宮市北町*=0.5 土浦市下高津*=0.5 桜川市岩瀬*=0.5
58	8 14 52	奄美大島近海 鹿児島県	27° 48.8' N	128° 56.8' E	16km	M: 2.5 伊仙町伊仙*=0.6

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
59	8 15 18	滋賀県南部 滋賀県  京都府	34° 56.8' N	135° 55.3' E	11km	M: 3.3 2 大津市南郷*=2.3 甲賀市信楽町*=1.6 大津市国分*=1.6 1 湖南省中央森林公園*=1.3 湖南省石部中央西庁舎*=1.3 湖南省中央東庁舎*=1.3 草津市草津*=1.2 栗東市安養寺*=1.0 東近江市市子川原町*=0.8 甲賀市甲賀町相模*=0.8 甲賀市甲南町*=0.6 甲賀市甲賀町大久保*=0.6 滋賀日野町河原*=0.5 2 宇治田原町荒木*=1.9 1 京都伏見区醍醐*=1.3 宇治市折居台*=1.3 宇治市宇治琵琶=1.2 久御山町田井*=1.1 城陽市寺田*=1.0 京都伏見区向島*=0.9 京都山科区安朱川向町*=0.9 木津川市加茂町里*=0.9 京都山科区西野*=0.8 京都東山区清水*=0.6 笠置町笠置*=0.5 精華町南福八妻*=0.5 八幡市八幡*=0.5
60	8 16 09	和歌山県北部 和歌山県  大阪府	34° 12.5' N	135° 12.3' E	4km	M: 3.3 3 和歌山市男野芝丁=2.8 和歌山市一番丁*=2.7 1 海南市日方*=1.4 有田市初島町*=1.3 紀の川市貴志川町神戸*=1.2 海南市下津*=1.1 紀美野町下佐々*=0.9 紀の川市桃山町元*=0.8 岩出市西野*=0.8 紀の川市粉河=0.7 1 大阪岬町深日*=1.4
61	8 16 17	和歌山県北部 和歌山県  大阪府  兵庫県 奈良県 徳島県	34° 12.4' N	135° 12.4' E	4km	M: 4.0 4 和歌山市男野芝丁=3.7 和歌山市一番丁*=3.5 3 有田市初島町*=2.8 海南市日方*=2.5 2 紀の川市貴志川町神戸*=2.4 海南市下津*=2.1 紀美野町下佐々*=2.1 岩出市西野*=1.9 紀の川市桃山町元*=1.8 有田川町下津野*=1.7 紀の川市粉河=1.6 かつらぎ町丁ノ町*=1.5 湯浅町湯浅*=1.5 1 有田市箕島=1.4 和歌山広川町広*=1.4 日高川町川原河*=1.4 和歌山日高町高家*=1.3 高野町高野山中学校=1.2 御坊市菌=1.1 紀の川市西大井*=1.1 紀の川市那賀総合センター*=1.0 橋本市東家*=1.0 有田川町中井原*=1.0 由良町里*=0.9 日高川町高津尾*=0.8 日高川町土生*=0.8 紀美野町神野市場*=0.7 みなべ町芝*=0.6 田辺市中辺路町近露=0.5 2 大阪岬町深日*=2.1 1 泉佐野市市場*=0.9 泉南市男里*=0.9 泉南市消防本部*=0.8 阪南市尾崎町*=0.8 熊取町野田*=0.6 田尻町嘉祥寺*=0.5 1 洲本市小路谷=0.8 南あわじ市福良=0.8 1 三郷町勢野西*=0.9 五條市本町*=0.8 高取町観音寺*=0.5 1 徳島市大和町=0.6
62	8 16 47	和歌山県北部 和歌山県  大阪府  兵庫県 奈良県	34° 12.6' N	135° 12.5' E	4km	M: 3.8 3 和歌山市一番丁*=3.2 和歌山市男野芝丁=3.0 2 海南市下津*=2.2 有田市初島町*=2.2 海南市日方*=1.7 紀の川市貴志川町神戸*=1.7 1 紀の川市桃山町元*=1.4 岩出市西野*=1.3 紀美野町下佐々*=1.2 紀の川市粉河=1.0 有田川町下津野*=1.0 有田市箕島=1.0 日高川町川原河*=0.9 高野町高野山中学校=0.8 湯浅町湯浅*=0.8 かつらぎ町丁ノ町*=0.7 和歌山広川町広*=0.7 2 大阪岬町深日*=1.7 1 阪南市尾崎町*=0.9 泉南市男里*=0.9 泉佐野市市場*=0.7 泉南市消防本部*=0.6 田尻町嘉祥寺*=0.5 1 南あわじ市福良=0.5 1 三郷町勢野西*=0.5
63	8 16 58	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.6' N	135° 12.7' E	4km	M: 2.3 2 和歌山市一番丁*=1.6 1 和歌山市男野芝丁=1.1
64	8 18 38	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.2' N	135° 11.9' E	5km	M: 2.0 1 和歌山市一番丁*=0.7 和歌山市男野芝丁=0.6
65	8 19 18	茨城県北部 茨城県	36° 43.2' N	140° 39.7' E	11km	M: 2.8 1 高萩市安良川*=0.8
66	8 20 13	千葉県北東部 千葉県	35° 52.1' N	140° 28.9' E	37km	M: 3.2 1 山武市松尾町富士見台=0.8 成田市花崎町=0.8 千葉栄町安食台*=0.7
67	8 20 39	和歌山県北部 和歌山県  大阪府	34° 12.5' N	135° 12.6' E	4km	M: 3.9 4 和歌山市男野芝丁=3.8 和歌山市一番丁*=3.5 3 海南市下津*=2.9 有田市初島町*=2.6 海南市日方*=2.5 紀の川市貴志川町神戸*=2.5 2 紀美野町下佐々*=2.4 岩出市西野*=2.1 日高川町川原河*=1.8 紀の川市桃山町元*=1.8 有田市箕島=1.6 高野町高野山中学校=1.6 紀の川市粉河=1.5 湯浅町湯浅*=1.5 1 和歌山広川町広*=1.4 有田川町下津野*=1.4 かつらぎ町丁ノ町*=1.3 紀美野町神野市場*=1.2 紀の川市西大井*=1.1 有田川町中井原*=1.1 和歌山日高町高家*=1.0 由良町里*=1.0 有田川町清水*=0.9 紀の川市那賀総合センター*=0.8 御坊市菌=0.7 橋本市東家*=0.7 日高川町高津尾*=0.7 新宮市熊野川町日足*=0.7 田辺市中辺路町近露=0.6 日高川町土生*=0.6 高野町役場*=0.5 古座川町高池=0.5 2 大阪岬町深日*=2.0 1 泉佐野市市場*=1.3 泉南市男里*=1.3 泉南市消防本部*=1.2 田尻町嘉祥寺*=1.1 阪南市尾崎町*=1.1 熊取町野田*=1.0 泉大津市東雲町*=0.9 岸和田市畑町*=0.7

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
68	8 20 47	奈良県 1 三郷町勢野西* 2 和歌山県北部 和歌山県 1 和歌山市一番丁* 1 和歌山市男野芝丁	34° 12.5' N	135° 12.4' E	4km	M: 2.3
69	8 21 02	千葉県東方沖 千葉県 1 銚子市若宮町* 1 銚子市川口町	35° 41.4' N	140° 55.5' E	12km	M: 3.4
70	9 00 16	新潟県中越地方 群馬県 2 中之条町小雨* 1 長野原町長野原* 1 みなかみ町鹿野沢* 群馬上野村川和* 片品村東小川* 新潟県 2 津南町下船渡* 1 南魚沼市六日町* 長野県 2 山ノ内町消防署* 1 柴村北信* 茨城県 1 鹿沼市今宮町* 栃木県 1 秩父市中津川* 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*	36° 49.2' N	138° 42.8' E	4km	M: 4.5
71	9 00 20	新潟県中越地方 群馬県 2 中之条町小雨* 1 中之条町日影* 新潟県 1 津南町下船渡* 長野県 1 飯山市飯山福寿町*	36° 48.9' N	138° 42.7' E	5km	M: 3.5
72	9 06 20	岩手県沖 岩手県 1 大船渡市大船渡町* 1 釜石市中妻町*	39° 06.6' N	142° 06.9' E	45km	M: 3.3
73	9 08 33	群馬県北部 福島県 1 檜枝岐村上河原*	36° 54.9' N	139° 23.7' E	4km	M: 2.5
74	9 09 04	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原* 栃木県 1 日光市湯元* 群馬県 1 みなかみ町鹿野沢*	36° 55.4' N	139° 23.4' E	4km	M: 2.9
75	9 11 28	福島県会津 福島県 1 檜枝岐村上河原*	36° 55.5' N	139° 23.5' E	4km	M: 2.1
76	9 16 43	岩手県沖 岩手県 1 宮古市五月町* 1 葛巻町葛巻元木* 1 花巻市大迫総合支所*	39° 37.8' N	142° 06.4' E	48km	M: 3.8
77	10 00 50	釧路地方中南部 北海道 1 釧路市阿寒町中央*	43° 20.2' N	143° 58.5' E	7km	M: 3.3
78	10 05 59	群馬県北部 福島県 1 檜枝岐村上河原*	36° 54.3' N	139° 23.9' E	4km	M: 2.0
79	10 07 04	和歌山県北部 和歌山県 2 和歌山市男野芝丁* 1 海南市日方* 1 紀美野町下佐々*	34° 12.3' N	135° 11.9' E	5km	M: 2.7
80	10 07 05	宮城県沖 宮城県 2 石巻市小湊浜* 1 石巻市小湊浜	38° 23.2' N	141° 54.1' E	59km	M: 3.6

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
81	10 10 06	岩手県 1 一関市千厩町* = 0.7 新潟県中越地方 群馬県 1 中之条町小雨* = 0.6	36° 49.3' N	138° 42.0' E	4km	M: 2.8
82	10 10 10	八丈島近海 東京都 1 八丈町榎立 = 0.7 八丈町富士グランド* = 0.6 八丈町三根 = 0.5	33° 16.4' N	139° 28.0' E	15km	M: 3.8
83	11 00 28	長野県北部 群馬県 1 中之条町小雨* = 1.4 長野原町長野原* = 0.8 草津町草津* = 0.8 中之条町日影 = 0.7 新潟県 1 津南町下船渡* = 0.6 十日町市上山* = 0.5 長野県 1 飯山市飯山福寿町* = 0.8	36° 49.4' N	138° 41.5' E	4km	M: 3.1
84	11 04 57	留萌地方南部 北海道 2 小平町達布* = 2.0 1 留萌市幸町* = 0.8	44° 02.5' N	141° 46.9' E	8km	M: 3.0
85	11 05 09	長野県北部 群馬県 2 中之条町小雨* = 2.0 中之条町日影 = 1.5 長野原町長野原* = 1.5 1 草津町草津* = 1.4 東吾妻町本宿* = 1.3 中之条町中之条町* = 1.2 みなかみ町鹿野沢* = 1.0 東吾妻町原町 = 0.9 東吾妻町奥田* = 0.7 沼田市西倉内町 = 0.5 沼田市下久屋町* = 0.5 新潟県 1 津南町下船渡* = 1.0 湯沢町神立* = 0.9 十日町市上山* = 0.6 長野県 1 山ノ内町消防署* = 1.3 長野市豊野町豊野* = 0.9 栄村北信* = 0.9 中野市豊津* = 0.8 千曲市杭瀬下* = 0.8 小川村高府* = 0.7 飯山市飯山福寿町* = 0.6 長野高山村高井* = 0.5 山ノ内町平穏 = 0.5	36° 49.9' N	138° 41.3' E	6km	M: 3.6
86	11 05 14	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校* = 0.6 常陸大宮市北町* = 0.5	36° 31.6' N	140° 53.6' E	49km	M: 3.3
87	11 07 06	福島県沖 福島県 2 檜葉町北田* = 2.3 富岡町本岡* = 1.7 川内村上川内早渡* = 1.7 田村市都路町* = 1.5 浪江町幾世橋 = 1.5 1 大熊町野上* = 1.4 白河市新白河* = 1.3 南相馬市原町区高見町* = 1.3 田村市大越町* = 1.2 福島広野町下北迫大谷地原* = 1.2 玉川村小高* = 1.2 小野町小野新町* = 1.2 いわき市三和町 = 1.1 葛尾村落合落合* = 1.1 川内村上川内小山平* = 1.1 川内村下川内 = 1.0 田村市滝根町* = 1.0 飯館村伊丹沢* = 1.0 相馬市中村* = 0.9 田村市常葉町* = 0.9 新地町谷地小屋* = 0.9 川俣町樋ノ口* = 0.9 田村市船引町 = 0.8 南相馬市原町区三島町 = 0.8 須賀川市岩瀬支所* = 0.8 南相馬市鹿島区* = 0.8 いわき市平四ツ波* = 0.7 天栄村下松本* = 0.7 棚倉町棚倉中居野 = 0.7 浅川町浅川* = 0.7 本宮市本宮* = 0.7 鏡石町不時沼* = 0.6 平田村永田* = 0.6 白河市郭内 = 0.6 小野町中通* = 0.6 須賀川市八幡山* = 0.6 福島広野町下北迫苗代替* = 0.5 大玉村玉井* = 0.5 石川町下泉* = 0.5 宮城県 1 石巻市桃生町* = 0.9 岩沼市桜* = 0.8 石巻市小湊浜 = 0.7 山元町浅生原* = 0.7 大崎市松山* = 0.5 大崎市古川三日町 = 0.5 茨城県 1 大子町池田* = 1.1 常陸大宮市野口* = 1.1 日立市助川小学校* = 1.0 笠間市石井* = 1.0 東海村東海* = 0.9 高萩市下手綱* = 0.8 土浦市常名 = 0.8 鉾田市汲上* = 0.8 日立市十王町友部* = 0.7 常陸太田市高柿町* = 0.7 高萩市安良川* = 0.7 常陸大宮市山方* = 0.7 城里町石塚* = 0.7 常陸大宮市北町* = 0.6 常陸大宮市上小瀬* = 0.6 北茨城市磯原町* = 0.6 筑西市門井* = 0.6 桜川市岩瀬* = 0.6 笠間市中央* = 0.6 日立市役所* = 0.6 石岡市柿岡 = 0.5 桜川市羽田* = 0.5 水戸市千波町* = 0.5 笠間市下郷* = 0.5 ひたちなか市東石川* = 0.5 栃木県 1 大田原市湯津上* = 0.7 那須町寺子* = 0.7 栃木那珂川町馬頭* = 0.7 宇都宮市明保野町 = 0.6 那須烏山市中央 = 0.6	37° 23.4' N	141° 25.8' E	32km	M: 4.2
88	11 09 19	茨城県北部 茨城県 2 日立市十王町友部* = 1.5 1 日立市役所* = 1.4 高萩市安良川* = 1.4 高萩市下手綱* = 1.4 日立市助川小学校* = 1.0 常陸太田市大中町* = 0.9 常陸太田市町屋町 = 0.8 常陸大宮市北町* = 0.7 常陸大宮市上小瀬* = 0.7 常陸大宮市山方* = 0.6	36° 42.9' N	140° 37.2' E	8km	M: 3.4
89	11 11 48	宮城県沖 宮城県 1 石巻市小湊浜 = 0.6	38° 31.8' N	142° 04.6' E	31km	M: 3.2
90	11 17 10	岩手県沿岸北部 岩手県 2 釜石市只越町 = 1.8 釜石市中妻町* = 1.8 1 花巻市大迫町 = 1.3 山田町大沢* = 1.2 宮古市区界* = 1.2 花巻市大迫総合支所* = 1.2 宮古市川井* = 1.1 宮古市茂市* = 1.0 山田町八幡町 = 0.9 大槌町小釜* = 0.9 大船渡市大船渡町 = 0.8 宮古市五月町* = 0.8 遠野市青笹町* = 0.8 遠野市宮守町* = 0.8 一関市室根町* = 0.8 盛岡市玉山区洪民* = 0.7 盛岡市玉山区蕨川* = 0.7 大船渡市猪川町 = 0.6 宮古市鍛ヶ崎 = 0.6 矢巾町南矢幅* = 0.6 一関市東山町* = 0.5 北上市相去町* = 0.5 一関市千厩町* = 0.5 宮城県 1 気仙沼市唐桑町* = 0.7	39° 29.2' N	142° 03.7' E	46km	M: 3.9
91	11 17 19	岩手県沖 青森県 岩手県 1 階上町道仏* = 1.1 八戸市湊町 = 0.7 1 盛岡市玉山区洪民* = 0.6 宮古市田老* = 0.5	40° 04.0' N	142° 12.5' E	44km	M: 3.7

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
92	12 04 27	青森県東方沖 北海道 青森県 岩手県	41° 04.8' N	142° 48.7' E	25km	M: 4.1
		1 函館市泊町*0.6 函館市新浜町*0.5 1 野辺地町田沢*1.0 五戸町古館*1.0 青森南部町平*0.9 野辺地町野辺地*0.8 七戸町森ノ上*0.7 八戸市湊町*0.7 八戸市内丸*0.7 青森南部町苔米地*0.7 階上町道仏*0.7 東通村砂子又沢内*0.7 東通村小田野沢*0.6				
		1 軽米町軽米*0.7 盛岡市玉山区薮川*0.6 二戸市石切所*0.5				
93	12 08 08	山口県北西沖 山口県 島根県	34° 34.0' N	131° 23.8' E	14km	M: 3.5
		2 萩市土原*1.8 阿武町奈古*1.5 1 萩市江向*1.4 萩市須佐*1.4 萩市吉部*1.2 萩市下田万*1.2 萩市福井*0.9 山口市阿東生雲*0.9 長門市三隅*0.8 萩市川上*0.7 長門市新別名*0.5 岩国市美川町高ヶ原*0.5 萩市見島*0.5				
		1 津和野町後田*1.0 吉賀町柿木村柿木*0.5				
94	12 11 29	十勝沖 北海道	41° 43.1' N	143° 29.5' E	43km	M: 3.6
		1 えりも町えりも岬*0.6				
95	12 12 25	福島県中通り 福島県	37° 02.1' N	140° 32.6' E	9km	M: 3.4
		2 古殿町松川横川*2.2 古殿町松川新桑原*2.1 平田村永田*1.6 浅川町浅川*1.6 1 鮫川村赤坂中野*1.4 玉川村小高*1.2 石川町下泉*1.1 棚倉町棚倉中居野*1.1 郡山市開成*0.9 白河市新白河*0.7 田村市船引町*0.7 小野町中通*0.6 天栄村下松本*0.6 須賀川市八幡山*0.5				
96	12 13 15	熊本県阿蘇地方 熊本県	33° 05.5' N	131° 03.9' E	10km	M: 2.3
		1 熊本小国町宮原*0.7				
97	13 00 11	福島県中通り 福島県	36° 57.7' N	140° 35.1' E	9km	M: 3.2
		1 白河市新白河*0.5 棚倉町棚倉中居野*0.5 浅川町浅川*0.5 古殿町松川横川*0.5				
98	13 01 52	新潟県上越地方 新潟県	37° 09.8' N	138° 10.9' E	9km	M: 2.8
		2 上越市木田*2.0 1 上越市大手町*0.8 上越市中ノ俣*0.8 上越市安塚区安塚*0.8 上越市牧区柳島*0.6				
99	13 03 45	宮城県沖 宮城県 岩手県	38° 17.9' N	141° 51.0' E	47km	M: 3.8
		2 石巻市小浜*1.9 1 石巻市北上町*1.2 石巻市泉町*0.6 石巻市鮎川浜*0.6 気仙沼市笹が陣*0.6 気仙沼市赤岩*0.5				
		1 一関市室根町*0.9 一関市千厩町*0.9				
100	13 12 19	千葉県東方沖 茨城県 千葉県	35° 48.7' N	140° 59.0' E	17km	M: 4.0
		1 神栖市波崎*1.4 稲敷市江戸崎甲*1.3 稲敷市須賀津*1.3 行方市山田*1.1 鉾田市波上*1.1 行方市麻生*1.0 土浦市常名*1.0 潮来市辻*1.0 稲敷市役所*0.9 潮来市堀之内*0.9 神栖市溝口*0.9 茨城鹿嶋市鉢形*0.9 美浦村受領*0.9 茨城鹿嶋市宮中*0.9 稲敷市柴崎*0.8 行方市玉造*0.8 稲敷市結佐*0.8 土浦市下高津*0.7 石岡市柿岡*0.7 かずみがうら市大和田*0.7 小美玉市上玉里*0.6 鉾田市鉾田*0.6 小美玉市小川*0.6 つくば市小茎*0.6 つくば市期間*0.5 つくば市天王台*0.5				
		1 銚子市若宮町*1.4 銚子市川口町*1.3 旭市二*1.1 成田市花崎町*1.1 香取市役所*1.0 旭市高生*0.9 旭市萩園*0.9 香取市佐原諏訪台*0.9 香取市仁良*0.9 山武市埴谷*0.9 匝瑳市今泉*0.8 東金市日吉台*0.8 旭市南堀之内*0.8 横芝光町宮川*0.8 山武市蓮沼ハ*0.8 芝山町小池*0.7 匝瑳市八日市場ハ*0.7 横芝光町横芝*0.7 香取市佐原平田*0.7 成田市松子*0.7 山武市松尾町富士見台*0.6 東金市東新宿*0.6 多古町多古*0.5				
101	13 15 28	山形県置賜地方 山形県	37° 48.1' N	140° 00.2' E	8km	M: 3.2
		1 飯豊町上原*1.0 米沢市アルカディア*0.6 米沢市林泉寺*0.5				
102	13 19 43	熊本県阿蘇地方 熊本県	33° 05.5' N	131° 04.2' E	10km	M: 2.5
		1 熊本小国町宮原*1.0 南小国町赤馬場*0.7				
103	13 22 24	沖縄本島近海 鹿児島県 沖縄県	26° 28.2' N	128° 59.2' E	37km	M: 5.8
		3 与論町茶花*2.5 2 与論町麦屋*1.6 伊仙町伊仙*1.5 知名町瀬利寛*1.5 1 和泊町国頭*1.4 天城町平土野*1.2 知名町知名*1.0 奄美市名瀬港*0.8				
		2 国頭村辺土名*2.0 今帰仁村仲宗根*2.0 恩納村恩納*2.0 南城市佐敷*1.9 名護市港*1.8 南城市玉城富里*1.8 本部町役場*1.8 八重瀬町東風平*1.7 南城市知念久手堅*1.7 中城村当間*1.7 座間味村座間味*1.7 沖縄市美里*1.6 国頭村奥*1.6 うるま市与那城平安座*1.6 大宜味村大兼久*1.5 うるま市みどり町*1.5 うるま市石川石崎*1.5 那覇市港町*1.5 うるま市与那城饒辺*1.5 南城市玉城宇玉城*1.5 西原町嘉手苜*1.5 与那原町上与那原*1.5 南城市大里仲間*1.5				
		1 東村平良*1.4 金武町金武*1.4 浦添市安波茶*1.4 糸満市潮崎町*1.4 読谷村喜味*1.4 北中城村喜舎場*1.4 名護市豊原*1.3 宜野湾市野嵩*1.3 北谷町桑江*1.3 宜野座村宜野座*1.3 豊見城市翁長*1.3 渡嘉敷村渡嘉敷*1.3 八重瀬町具志頭*1.3 北大東村中野*1.2 南風原町兼城*1.1 伊平屋村役場*1.1 嘉手納町嘉手納*1.0 伊是名村仲田*1.0 那覇市樋川*1.0 那覇空港*1.0 名護市宮里*1.0 粟国村浜*1.0 粟国村役場*1.0 伊平屋村我喜屋*0.9 久米島町謝名堂*0.8				



地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
104	13 22 35	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 55.0' N	141° 56.4' E	52km	M: 3.7 2 一関市室根町*=1.9 一関市千厩町*=1.6 大船渡市大船渡町=1.5 1 陸前高田市高田町*=1.4 一関市藤沢町*=1.3 大船渡市猪川町=1.3 釜石市中妻町*=1.1 遠野市青笹町*=1.0 一関市東山町*=0.9 遠野市宮守町*=0.8 一関市大東町=0.8 北上市相去町*=0.8 花巻市大迫町=0.8 平泉町平泉*=0.6 一関市花泉町*=0.6 奥州市胆沢区*=0.5 大船渡市盛町*=0.5 2 気仙沼市赤岩=1.5 1 気仙沼市笹か陣*=1.4 気仙沼市唐桑町*=1.3 登米市東和町*=1.3 南三陸町志津川=1.2 気仙沼市本吉町津谷*=0.7 登米市石越町*=0.6 大崎市田尻*=0.6 石巻市桃生町*=0.6 栗原市栗駒=0.5
105	14 02 42	高知県東部 徳島県	33° 32.5' N	134° 11.4' E	34km	M: 3.0 1 美波町西の地*=1.2
106	14 03 17	岩手県沖 青森県 岩手県	39° 42.6' N	142° 13.9' E	40km	M: 3.6 1 階上町道仏*=1.2 八戸市湊町=0.8 八戸市内丸*=0.8 青森南部町苦米地*=0.7 五戸町古館=0.6 1 宮古市田老*=1.0 宮古市鍛ヶ崎=0.8 宮古市五月町*=0.6
107	14 08 38	千葉県北東部 千葉県	35° 44.9' N	140° 45.3' E	13km	M: 3.3 1 旭市南堀之内*=1.0 香取市仁良*=1.0 旭市高生*=0.8 旭市ニ*=0.8
108	14 08 59	宮城県沖 宮城県 福島県	38° 11.4' N	141° 40.9' E	51km	M: 3.9 1 石巻市小湊浜=1.2 石巻市桃生町*=1.1 大崎市鹿島台*=1.0 松島町高城=0.9 仙台泉区将監*=0.9 女川町女川浜*=0.8 岩沼市桜*=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 石巻市大街道南*=0.6 仙台宮城野区苦竹*=0.5 1 福島伊達市霊山町*=1.0 相馬市中村*=1.0 飯館村伊丹沢*=1.0 田村市船引町=0.5
109	14 14 17	宮城県沖 宮城県 岩手県	38° 23.8' N	141° 45.9' E	57km	M: 3.5 2 石巻市小湊浜=1.5 1 石巻市北上町*=0.5 1 一関市千厩町*=0.5
110	14 14 22	福島県沖 福島県 宮城県	37° 45.9' N	141° 36.9' E	47km	M: 3.9 2 南相馬市原町区高見町*=1.5 1 飯館村伊丹沢*=1.3 南相馬市鹿島区*=1.3 相馬市中村*=1.1 南相馬市原町区三島町=1.0 二本松市油井*=0.9 檜葉町北田*=0.9 新地町谷地小屋*=0.9 田村市船引町=0.7 浪江町幾世橋=0.7 田村市常葉町*=0.7 福島伊達市霊山町*=0.7 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 川内村下川内=0.6 田村市都路町*=0.6 浅川町浅川*=0.5 白河市新白河*=0.5 1 石巻市小湊浜=1.4 石巻市桃生町*=1.0 東松島市矢本*=0.7
111	14 14 46	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 24.2' N	141° 46.9' E	57km	M: 3.7 1 一関市東山町*=0.8 一関市千厩町*=0.6 一関市室根町*=0.5 1 石巻市小湊浜=1.4 石巻市桃生町*=0.8 大崎市田尻*=0.6
112	14 15 43	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.3' N	135° 12.8' E	4km	M: 3.1 2 和歌山市男野芝丁=2.4 和歌山市一番丁*=2.2 1 紀美野町下佐々*=0.9 紀の川市貴志川町神戸*=0.8 有田市初島町*=0.8 海南市下津*=0.6 岩出市西野*=0.6
113	14 16 59	栃木県北部 福島県	36° 54.9' N	139° 24.0' E	4km	M: 2.1 1 檜枝岐村上河原*=0.8
114	15 01 03	茨城県南部 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県	35° 58.8' N	140° 08.6' E	61km	M: 3.4 1 土浦市下高津*=1.4 取手市寺田*=1.3 つくば市小荊*=1.2 石岡市柿岡=1.1 つくばみらい市福田*=1.1 土浦市常名=1.0 小美玉市上玉里*=1.0 稲敷市江戸崎甲*=0.9 かすみがうら市大和田*=0.9 阿見町中央*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.8 小美玉市小川*=0.8 筑西市門井*=0.7 龍ヶ崎市役所*=0.7 美浦村受領*=0.7 牛久市中央*=0.7 つくば市荻間*=0.7 稲敷市役所*=0.7 つくば市天王台*=0.6 桜川市真壁*=0.6 稲敷市結佐*=0.6 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 1 真岡市石島*=0.8 益子町益子=0.7 栃木市旭町=0.5 1 邑楽町中野*=0.6 1 行田市南河原*=0.5 1 成田市花崎町=0.9
115	15 12 32	東京都23区 東京都 神奈川県	35° 36.6' N	139° 41.5' E	64km	M: 3.1 1 東京千代田区大手町=0.8 八王子市堀之内*=0.5 1 横浜港北区日吉本町*=1.0 横浜鶴見区末広町*=0.8 川崎幸区戸手本町*=0.6
116	15 22 49	宮城県沖 宮城県	38° 25.1' N	141° 56.1' E	63km	M: 4.0 2 石巻市小湊浜=1.8 仙台宮城野区苦竹*=1.5 1 石巻市桃生町*=1.4 女川町女川浜*=1.4 大崎市田尻*=1.3 南三陸町歌津*=1.3 大崎市古川三日町=1.2 東松島市矢本*=1.2 石巻市大街道南*=1.1 登米市豊里町*=1.1 大崎市古川北町*=1.1 涌谷町新町=1.1 石巻市北上町*=1.0 南三陸町志津川=1.0 松島町高城=1.0 気仙沼市唐桑町*=1.0 登米市中田町=0.9 大崎市古川大崎=0.9 名取市増田*=0.9 登米市迫町*=0.8 登米市東和町*=0.7 大崎市松山*=0.7 大崎市鹿島台*=0.7 登米市米山町*=0.7 石巻市泉町=0.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		登米市南方町*0.7 栗原市金成*0.7 宮城美里町北浦*0.7 栗原市瀬峰*0.7 東松島市小野*0.6 仙台宮城野区五輪=0.6 気仙沼市笹が陣*0.6 岩沼市桜*0.5 登米市津山町*0.5 石巻市鮎川浜*0.5 栗原市築館*0.5 岩手県 1 一関市千厩町*1.4 一関市藤沢町*1.3 一関市室根町*1.2 陸前高田市高田町*1.0 釜石市中妻町*0.8 大船渡市猪川町*0.7 一関市花泉町*0.7 釜石市只越町*0.7 一関市東山町*0.7 住田町世田米*0.5 一関市大東町=0.5				
117	16 02 07	伊予灘 愛媛県 高知県 大分県	33° 24.3' N	131° 39.5' E	91km	M: 3.3
		1 松野町松丸*0.5 1 宿毛市桜町*0.8 1 臼杵市臼杵*1.1 佐伯市春日町*0.6				
118	16 03 42	長野県北部 長野県	36° 48.5' N	138° 05.8' E	10km	M: 2.4
		1 信濃町柏原東裏*1.3 長野市戸隠*0.7				
119	16 13 52	長野県北部 群馬県 新潟県 長野県	36° 50.0' N	138° 34.0' E	1km	M: 3.1
		1 中之条町日影=0.9 中之条町小雨*0.7 1 上越市安塚区安塚*0.7 十日町市松代*0.6 1 栄村北信*1.1 飯山市飯山福寿町*0.7				
120	16 19 45	福島県中通り 福島県	37° 06.4' N	140° 28.8' E	6km	M: 3.1
		2 浅川町浅川*1.5 1 石川町下泉*1.2 古殿町松川新桑原*1.2 古殿町松川横川=0.8 玉川村小高*0.8				
121	17 00 52	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 49.4' N	142° 34.7' E	32km	M: 4.2
		1 釜石市中妻町*0.7 一関市千厩町*0.6 1 石巻市小湊浜=0.5				
122	17 11 59	熊本県熊本地方 熊本県	32° 37.9' N	130° 44.3' E	15km	M: 2.7
		1 熊本西区春日=1.0				
123	17 18 20	内浦湾 北海道	41° 55.3' N	141° 04.9' E	9km	M: 2.4
		1 函館市尾札部町=1.1 函館市川汲町*0.5				
124	19 02 03	新潟県中越地方 新潟県	37° 07.3' N	138° 40.3' E	9km	M: 2.2
		1 十日町市松代*0.8				
125	19 06 18	滋賀県南部 滋賀県 京都府	34° 56.8' N	135° 55.0' E	11km	M: 2.6
		1 大津市南郷*0.9 1 宇治田原町荒木*1.0 京都山科区安朱川向町*0.5				
126	19 16 09	静岡県中部 静岡県	35° 03.8' N	138° 16.7' E	26km	M: 3.0
		1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.1				
127	19 20 29	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 51.3' N	142° 02.9' E	46km	M: 3.6
		1 一関市室根町*1.1 大船渡市猪川町=1.0 一関市千厩町*0.9 大船渡市大船渡町=0.6 一関市藤沢町*0.5 釜石市只越町=0.5 1 気仙沼市笹が陣*1.1 気仙沼市唐桑町*1.0 南三陸町志津川=0.6				
128	20 01 00	奈良県 奈良県	34° 25.0' N	135° 52.2' E	10km	M: 2.0
		1 吉野町上市*0.5				
129	20 07 13	宮城県沖 宮城県	38° 20.0' N	141° 51.5' E	46km	M: 3.1
		1 石巻市小湊浜=0.5				
130	20 09 50	福島県中通り 福島県	36° 59.8' N	140° 32.6' E	6km	M: 3.4
		2 古殿町松川横川=1.7 古殿町松川新桑原*1.5 1 棚倉町棚倉中居野=1.1 鮫川村赤坂中野*1.0 小野町中通*0.6 浅川町浅川*0.5				
131	20 10 49	<b>青森県東方沖</b> 岩手県	<b>40° 44.3' N</b>	<b>142° 32.6' E</b>	<b>29km</b>	<b>M: 4.9</b>
		3 盛岡市玉山区薮川*2.6 2 盛岡市山王町=2.0 二戸市浄法寺町*2.0 軽米町軽米*1.9 二戸市石切所*1.8 矢巾町南矢幅*1.7 盛岡市玉山区洪民*1.6 滝沢村鶴飼*1.6 九戸村伊保内*1.6 八幡平市野駄*1.5 岩手洋野町種市=1.5 1 岩手町五日市*1.4 八幡平市田頭*1.4 二戸市福岡=1.3 一戸町高善寺*1.3 八幡平市叭田*1.3 盛岡市馬場町*1.2 宮古市田老*1.2 普代村銅屋*1.2 花巻市石鳥谷町*1.2 久慈市枝成沢=0.9 北上市相去町*0.9 遠野市青笹町*0.8 一関市千厩町*0.8 八幡平市大更=0.8 釜石市中妻町*0.7 花巻市大迫町=0.7 久慈市川崎町=0.7 北上市柳原町=0.7 岩手洋野町大野*0.7 宮古市五月町*0.6 宮古市川井*0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 雫石町千刈田=0.5 宮古市区界*0.5 北海道 2 函館市泊町*2.3 函館市新浜町*1.5 1 函館市日ノ浜町*0.8 千歳市若草*0.6 厚真町鹿沼=0.5 新ひだか町静内山手町=0.5 青森県 2 青森南部町平*2.4 階上町道仏*2.1 八戸市南郷区*2.0 五戸町古館=2.0 東通村小野沢*2.0 野辺地町野辺地*1.9 青森南部町沖田面*1.8 東北町上北南*1.8 青森南部町苔米地*1.8				

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
132	20 22 19	宮城県 秋田県 福島県沖 福島県 宮城県 茨城県 栃木県 群馬県	37° 10.3' N	141° 08.7' E	86km	M: 4.0
133	21 03 02	釧路沖 北海道	42° 59.1' N	145° 24.2' E	48km	M: 3.7
134	21 04 28	茨城県沖 茨城県 千葉県	35° 54.5' N	140° 48.3' E	16km	M: 3.6
135	21 16 31	奄美大島近海 鹿児島県	28° 03.1' N	129° 19.0' E	22km	M: 4.6
136	22 01 20	熊本県熊本地方 熊本県	32° 55.3' N	130° 53.0' E	8km	M: 1.9
137	22 04 15	沖縄本島近海 沖縄県	26° 32.9' N	128° 44.1' E	22km	M: 3.9
138	22 19 48	福島県会津 福島県	36° 55.2' N	139° 24.2' E	5km	M: 1.9
139	23 06 43	千葉県北西部 千葉県 東京都 神奈川県	35° 41.7' N	139° 55.1' E	56km	M: 3.3
140	23 07 03	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 30.6' N	136° 44.7' E	7km	M: 2.6
141	23 07 09	秋田県内陸南部 岩手県	39° 32.9' N	140° 43.1' E	8km	M: 2.5
142	23 09 07	福岡県北西沖 福岡県	33° 39.9' N	130° 19.0' E	14km	M: 2.7

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
143	23 17 49	大分県中部 大分県	33° 17.0' N	131° 22.0' E	11km	M: 2.7 1 別府市天間=1.4 由布市湯布院町川上*=1.3 由布市庄内町*=1.0 宇佐市内町*=0.6
144	23 21 57	茨城県北部 茨城県	36° 43.4' N	140° 39.7' E	10km	M: 2.8 1 高萩市安良川*=0.8
145	24 08 05	長野県南部 長野県	35° 54.4' N	137° 38.9' E	7km	M: 2.6 1 木曾町新開*=1.0 木曾町開田高原西野*=0.8 木曾町三岳*=0.8
146	24 08 48	茨城県北部 茨城県	36° 43.3' N	140° 39.8' E	10km	M: 2.7 1 高萩市安良川*=1.0 日立市十王町友部*=0.8 日立市助川小学校*=0.5
147	24 11 49	徳島県南部 徳島県	33° 45.6' N	134° 19.6' E	10km	M: 2.8 1 那賀町延野*=0.6 那賀町上那賀*=0.5
148	24 17 30	茨城県沖 茨城県	36° 14.3' N	140° 58.9' E	36km	M: 3.2 1 日立市助川小学校*=0.8
149	24 18 37	茨城県沖 茨城県	36° 35.3' N	140° 57.4' E	18km	M: 3.6 1 日立市助川小学校*=0.5 高萩市安良川*=0.5
150	25 02 21	熊本県熊本地方 熊本県	33° 00.2' N	130° 45.9' E	10km	M: 2.9 1 山鹿市老人福祉センター*=1.2 山鹿市菊鹿町*=1.0 山鹿市鹿央町*=0.9 菊池市旭志*=0.9 山鹿市鹿本町*=0.8 熊本北区植木町*=0.7 山鹿市山鹿*=0.6 菊池市隈府*=0.5
151	25 07 16	熊本県熊本地方 熊本県	33° 00.2' N	130° 45.9' E	10km	M: 2.4 1 山鹿市菊鹿町*=0.6
152	25 08 12	青森県東方沖 北海道 青森県	41° 29.2' N	142° 00.4' E	65km	M: 4.2 2 函館市泊町*=1.8 1 函館市新浜町*=1.1 函館市日ノ浜町*=0.7 千歳市北栄=0.6 2 東通村砂子又沢内*=1.9 東通村小田野沢*=1.7 1 東通村砂子又蒲谷地=1.3 野辺地町田狭沢*=1.1 階上町道仏*=1.1 むつ市金曲=1.0 六ヶ所村尾駈=1.0 むつ市金谷*=0.9 野辺地町野辺地*=0.9 外ヶ浜町蟹田*=0.8 大間町大間*=0.7
153	25 10 09	福島県会津 福島県 栃木県	36° 55.4' N	139° 23.4' E	4km	M: 2.8 2 檜枝岐村上河原*=2.0 1 日光市湯元*=0.5
154	25 18 57	奄美大島近海 鹿児島県	28° 17.1' N	129° 00.6' E	54km	M: 3.7 1 瀬戸内町与路島*=1.3 伊仙町伊仙*=1.1 瀬戸内町西古見=1.0 天城町平土野*=0.9 瀬戸内町加計呂麻島*=0.8 瀬戸内町請島*=0.8 奄美市住用町西仲間*=0.7 宇検村湯湾*=0.6
155	25 19 13	茨城県北部 茨城県 福島県	36° 43.3' N	140° 39.7' E	10km	M: 3.5 2 高萩市下手綱*=1.5 1 高萩市安良川*=1.2 日立市助川小学校*=1.1 日立市十王町友部*=1.0 常陸大宮市北町*=0.8 常陸太田市町田町*=0.7 常陸太田市大中町*=0.7 1 白河市郭内=1.0 白河市新白河*=1.0 棚倉町棚倉中居野=0.8
156	25 21 11	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 38.3' N	141° 54.1' E	49km	M: 3.7 2 一関市千厩町*=1.7 1 陸前高田市高田町*=1.2 大船渡市猪川町=0.9 大船渡市大船渡町=0.9 一関市室根町*=0.9 一関市東山町*=0.7 住田町世田米*=0.6 一関市大東町=0.5 2 石巻市小湊浜=1.6 1 気仙沼市唐桑町*=1.4 石巻市桃生町*=1.3 気仙沼市赤岩=1.1 登米市豊里町*=1.1 石巻市北上町*=1.1 気仙沼市笹が陣*=1.1 石巻市大街道南*=0.9 女川町女川浜*=0.9 石巻市泉町=0.8 南三陸町志津川=0.7 南三陸町歌津*=0.7 石巻市雄勝町*=0.7 登米市東和町*=0.7 石巻市鮎川浜*=0.6 気仙沼市本吉町西川内=0.6 登米市中田町=0.5 涌谷町新町=0.5
157	26 03 23	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 53.3' N	141° 58.5' E	50km	M: 3.7 2 大船渡市猪川町=1.5 1 釜石市中妻町*=1.0 一関市千厩町*=1.0 一関市室根町*=1.0 大船渡市大船渡町=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 釜石市只越町=0.8 一関市藤沢町*=0.6 2 気仙沼市笹が陣*=1.6 1 気仙沼市赤岩=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.0 登米市東和町*=1.0 石巻市北上町*=0.5
158	26 05 16	岐阜県飛騨地方 岐阜県	35° 59.8' N	137° 33.1' E	6km	M: 2.5 2 高山市高根町*=1.8
159	26 07 43	釧路沖 北海道	42° 59.3' N	144° 48.8' E	60km	M: 2.9 1 浜中町湯沸=0.7

地震 番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
160	26 10 23	福島県会津 福島県 1 北塩原村北山* 1.0	37° 39.8' N	139° 55.8' E	9km	M: 2.3
161	26 20 24	福島県会津 福島県 1 北塩原村北山* 1.0	37° 39.7' N	139° 55.7' E	8km	M: 2.3
162	27 02 12	三陸沖 岩手県 1 盛岡市玉山区藪川* 0.8	39° 48.8' N	143° 43.0' E	27km	M: 4.8
163	27 07 54	国後島付近 北海道 2 羅臼町岬町* 1.6 斜里町ウトロ香川* 1.5 1 羅臼町緑町* 1.1 標津町北2条* 0.7	44° 42.9' N	145° 43.0' E	31km	M: 4.3
164	27 09 11	青森県東方沖 青森県 2 階上町道仏* 1.5 1 東通村砂子又沢内* 1.4 八戸市湊町=1.1 野辺地町田狭沢* 1.0 八戸市内丸* 0.9 八戸市南郷区* 0.8 五戸町倉石中市* 0.8 東通村小田野沢* 0.8 横浜町林ノ脇* 0.7 野辺地町野辺地* 0.6 青森南部町苦米地* 0.6 むつ市川内町* 0.6 三沢市桜町* 0.6 北海道 1 函館市泊町* 1.4 岩手県 1 岩手野野町種市* 0.9 軽米町軽米* 0.9 一戸町高善寺* 0.8 岩手野野町大野* 0.6 二戸市石切所* 0.5	40° 57.8' N	141° 39.9' E	85km	M: 3.8
165	27 16 13	栃木県北部 栃木県 4 那須塩原市塩原庁舎* 3.8 3 那須塩原市中塩原* 2.8 2 那須塩原市藁沼=2.0 那須町寺子* 1.7 1 塩谷町玉生* 1.3 那須塩原市共懇社* 1.2 那須塩原市あたご町* 1.2 日光市鬼怒川温泉大原* 1.1 宇都宮市中里町* 1.1 日光市日蔭* 1.0 矢板市本町* 0.9 日光市芹沼* 0.9 日光市今市本町* 0.9 宇都宮市明保野町=0.8 日光市中鉢石町* 0.7 那須塩原市鍋掛* 0.6 日光市藤原* 0.6 福島県 2 南会津町滝原* 1.9 白河市新白河* 1.6 南会津町田島=1.5 南会津町松戸原* 1.5 1 檜枝岐村上河原* 1.3 白河市郭内=1.2 下郷町塩生* 1.2 天栄村湯本支所* 1.1 棚倉町棚倉中居野=1.1 浅川町浅川* 1.0 白河市東* 0.9 福島昭和村下中津川* 0.9 下郷町高崎* 0.8 泉崎村泉崎* 0.8 檜葉町北田* 0.7 南会津町界* 0.7 三島町宮下* 0.6 玉川村小高* 0.6 田村市都路町* 0.5 新潟県 1 長岡市小島谷* 0.9 魚沼市須原* 0.6 魚沼市穴沢* 0.5	36° 58.5' N	139° 46.6' E	7km	M: 3.9
166	28 03 12	沖縄本島近海 沖縄県 1 国頭村辺土名* 0.6 名護市港* 0.5 うるま市みどり町* 0.5	26° 01.6' N	128° 30.5' E	44km	M: 4.9
167	28 06 45	長野県南部 長野県 1 木曾町新開* 0.5	35° 54.7' N	137° 42.3' E	6km	M: 2.1
168	28 13 36	茨城県沖 福島県 2 白河市新白河* 1.8 1 田村市滝根町* 1.4 檜葉町北田* 1.4 猪苗代町千代田* 1.4 天栄村下松本* 1.3 川内村上川内早渡* 1.2 いわき市三和町=1.2 いわき市平梅本* 1.1 郡山市湖南町* 1.0 田村市大越町* 1.0 福島広野町下北迫大谷地原* 1.0 田村市都路町* 1.0 二本松市油井* 1.0 猪苗代町城南=1.0 いわき市小名浜=1.0 川俣町樋ノ口* 0.9 いわき市錦町* 0.9 本宮市本宮* 0.9 須賀川市岩瀬支所* 0.9 玉川村小高* 0.8 二本松市金色* 0.8 いわき市平四ツ波* 0.8 田村市常葉町* 0.8 本宮市白岩* 0.8 二本松市針道* 0.7 富岡町本岡* 0.7 川内村上川内小山平* 0.7 郡山市朝日=0.6 田村市船引町=0.6 棚倉町棚倉中居野=0.6 浪江町幾世橋=0.6 葛尾村落合落合* 0.6 大玉村玉井* 0.5 福島広野町下北迫苗代替* 0.5 浅川町浅川* 0.5 宮城県 1 石巻市桃生町* 0.7 岩沼市桜* 0.7 茨城県 1 日立市役所* 0.8 東海村東海* 0.8 高萩市下手綱* 0.7 日立市十王町友部* 0.6 北茨城市磯原町* 0.6 笠間市石井* 0.5	36° 49.3' N	141° 18.9' E	43km	M: 4.2
169	29 06 06	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.5	37° 01.1' N	141° 08.8' E	51km	M: 3.0
170	29 08 51	台湾付近 沖縄県 2 与那国町役場* 1.9 与那国町久部良=1.8 与那国町祖納=1.5 1 竹富町船浮=1.0 竹富町黒島=0.7 石垣市新栄町* 0.7 竹富町上原* 0.7 竹富町波照間=0.6 石垣市登野城=0.5	23° 57.8' N	122° 12.7' E	26km	M: 5.8
171	29 17 40	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校* 1.4 笠間市石井* 1.0 ひたちなか市南神敷台* 1.0 東海村東海* 1.0 常陸大宮市野口* 1.0 常陸大宮市上小瀬* 1.0 常陸大宮市山方* 0.9 常陸大宮市北町* 0.8 水戸市金町=0.7 高萩市下手綱* 0.7 ひたちなか市東石川* 0.7 笠間市中央* 0.7 土浦市常名=0.7 日立市役所* 0.6 水戸市内原町* 0.6 水戸市千波町* 0.6 鉾田市汲上* 0.6 小美玉市堅倉* 0.5 水戸市中央* 0.5 常陸太田市町屋町=0.5	36° 26.9' N	141° 05.9' E	46km	M: 3.9

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度（計測震度）	緯度	経度	深さ	規模
172	29 19 30	栃木県北部 栃木県 2 日光市足尾町松原*=1.6 1 日光市足尾町中才*=1.0 日光市中鉢石町*=0.7	36° 38.3' N	139° 30.6' E	7km	M: 3.0
173	30 02 33	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=0.5	38° 41.9' N	141° 47.7' E	53km	M: 2.8
174	30 06 55	熊本県熊本地方 熊本県 1 宇土市浦田町*=1.3 宇城市不知火町*=0.7 宇城市松橋町=0.6 熊本西区春日=0.6	32° 42.5' N	130° 37.2' E	9km	M: 2.6
175	30 08 10	熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡*=1.0 芦北町芦北=0.7 水俣市陣内*=0.6 水俣市牧ノ内*=0.5 鹿児島県 1 伊佐市大口鳥巢*=1.2 伊佐市大口山野=0.9 さつま町宮之城保健センタ*=0.5	32° 10.7' N	130° 31.4' E	8km	M: 3.0
176	30 10 56	石川県加賀地方 福井県 2 永平寺町栗住波*=1.5 1 あわら市国影*=0.9 あわら市市姫*=0.8 福井坂井市三国町中央=0.8 石川県 1 加賀市直下町=1.3 白山市別宮町*=0.8 加賀市山中温泉湯の出町*=0.8 加賀市大聖寺南町*=0.5	36° 14.3' N	136° 24.8' E	13km	M: 3.0
177	30 14 01	福島県沖 福島県 2 いわき市三和町=1.8 1 川内村上川内早渡*=1.1 檜葉町北田*=1.0 いわき市錦町*=0.9 川内村上川内小山平*=0.8 田村市滝根町*=0.8 いわき市小名浜=0.8 福島広野町下北迫大谷地原*=0.7 白河市新白河*=0.5 郡山市開成*=0.5 茨城県 1 高萩市下手綱*=0.9 北茨城市磯原町*=0.8	36° 54.8' N	141° 26.7' E	35km	M: 4.4
178	30 19 12	福島県沖 福島県 1 いわき市三和町=0.7	36° 54.5' N	141° 25.2' E	34km	M: 3.4
179	30 23 57	福島県沖 福島県 1 川内村下川内=0.6	36° 56.9' N	141° 05.3' E	51km	M: 3.1

## ●付録2. 過去1年間に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数 ＜平成24年（2012年）7月～平成25年（2013年）6月＞

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成25年（2013年）											
6月	108	56	9	6						179	
5月	134	52	17	2		1				206	18日 福島県沖（震度5強）
4月	183	62	18	6	1	1	1			272	13日 淡路島付近（震度6弱） 三宅島近海の地震活動 （震度5強：1回、震度3：7回、震度2：11回、震度1：34回） 与那国島近海の地震活動 （震度1：12回） 17日 宮城県沖（震度5弱）
3月	95	50	14	3						162	
2月	171	62	26	4		2				265	2日 十勝地方南部（震度5強） 栃木県北部の地震活動 （震度5強：1回、震度4：2回、震度3：6回、震度2：17回、震度1：37回）
1月	124	45	12	5	2					188	28日 茨城県北部（震度5弱） 31日 茨城県北部（震度5弱）
平成25年計	815	327	96	26	3	4	1	0	0	1272	
平成24年（2012年）											
12月	136	48	16	6	1					207	7日 三陸沖（震度5弱）
11月	124	44	11	6						185	
10月	169	71	27	5	1					273	25日 宮城県沖（震度5弱）
9月	129	46	9	1						185	
8月	150	82	15	5	1	1				254	トカラ列島近海の地震活動 （震度2：7回、震度1：8回） 25日 十勝地方南部（震度5弱） 30日 宮城県沖（震度5強）
7月	166	62	22	8	1					259	10日 長野県北部（震度5弱） 上川地方北部の地震活動 （震度4：3回、震度3：1回、震度2：1回、震度1：5回）
過去1年計	1689	680	196	57	7	5	1	0	0	2635	（平成24年7月～平成25年6月）

### （参考）昨年同月の最大震度別地震回数

6月	154	66	19	5						244
----	-----	----	----	---	--	--	--	--	--	-----

注）「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または震度1以上を10回以上観測した地震活動について記載した。

●付録3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード(M)別の月別地震回数  
 <平成24年(2012年)7月～平成25年(2013年)6月>

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成25年(2013年)								
6月	442	64	14	1		521	79	2日 台湾付近 (M6.3)
5月	472	72	11	1		556	84	18日 福島県沖 (M6.0)
4月	628	118	26	7	1	780	152	2日 三陸沖 (M6.2) 5日 ウラジオストク付近 (M6.3) 11日 台湾付近 (M6.3) 13日 淡路島付近 (M6.3) 17日 三宅島近海 (M6.2) 18日 石垣島北西沖 (M6.1) 19日 千島列島 (M7.0) 21日 鳥島近海 (M6.4)
3月	439	62	9	1		511	72	27日 台湾付近 (M6.1)
2月	503	101	12	2		618	115	2日 十勝地方南部 (M6.5) 25日 栃木県北部 (M6.3)
1月	544	81	14			639	95	
平成25年計	3028	498	86	12	1	3625	597	
平成24年(2012年)								
12月	1123	216	21	1	1	1362	239	7日 三陸沖 (M7.3、M6.6)
11月	540	84	12			636	96	
10月	586	99	12	1		698	112	2日 三陸沖 (M6.3)
9月	485	77	9			571	86	
8月	557	81	13	1		652	95	25日 十勝地方南部 (M6.1)
7月	611	120	18	1		750	139	8日 千島列島 (M6.2)
過去1年計	6930	1175	171	16	2	8294	1364	(平成24年7月～平成25年6月)
(参考) 昨年同月のM別地震回数								
6月	649	102	7	3		761	112	6日 千葉県東方沖 (M6.3) 10日 台湾付近 (M6.0) 18日 宮城県沖 (M6.2)

注) 日本及びその周辺：原則、北緯20～49度、東経120～154度の範囲。「記事」欄には主にM6.0以上の地震について記載した。



## ● 付録 4. 緊急地震速報の提供状況

平成 25 年 6 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった（平成 25 年 5 月もなし）。また、緊急地震速報（予報）を発表した地震の回数は 83 回（平成 25 年 5 月は 91 回）であった。

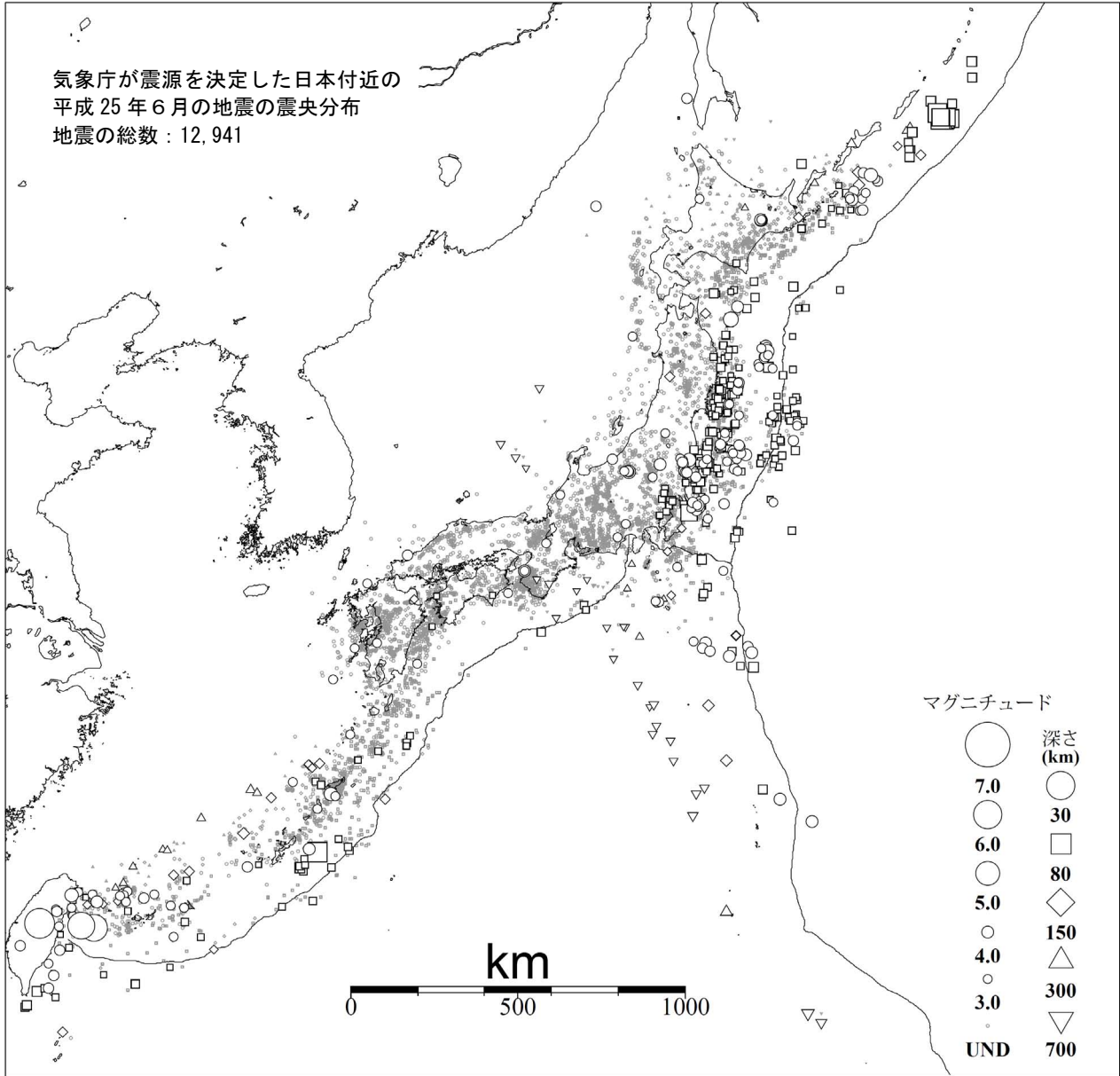
平成 19 年 10 月～平成 25 年 6 月に緊急地震速報を発表した地震の月別回数

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成19年 (2007年)	/	/	/	/	/	/	/	/	/	0(48)	0(33)	0(39)	0(120)
平成20年 (2008年)	0(35)	0(41)	0(48)	1(42)	1(70)	3(75)	2(63)	0(47)	1(58)	0(46)	1(40)	0(57)	9(622)
平成21年 (2009年)	0(44)	0(39)	0(34)	0(34)	0(24)	0(54)	0(36)	2(65)	0(47)	1(44)	0(39)	0(47)	3(507)
平成22年 (2010年)	0(53)	1(44)	1(50)	0(36)	0(27)	0(35)	0(47)	0(51)	1(40)	1(50)	0(40)	1(34)	5(507)
平成23年 (2011年)	0(50)	0(74)	45(1191)	26(770)	5(425)	5(304)	5(248)	3(239)	4(188)	1(163)	2(135)	1(136)	97(3923)
平成24年 (2012年)	2(149)	3(141)	3(142)	2(128)	1(129)	3(118)	0(102)	1(107)	0(70)	0(109)	0(77)	1(134)	16(1406)
平成25年 (2013年)	0(81)	2(99)	0(53)	3(103)	0(91)	0(83)	/	/	/	/	/	/	5(510)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、( )内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す

緊急地震速報（予報及び警報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、(独)防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。

気象庁が震源を決定した日本付近の  
平成 25 年 6 月の地震の震央分布  
地震の総数 : 12,941



(M3.0以上の地震については白抜きで示す)